桶川市新庁舎建設工事

■ 1000 建　築（総合）
□ 2000 建　築（構造）
□ 3000 電　気　設　備
□ 4000 空調換気設備
□ 5000 給排水衛生設備
□ 6000 解　　体

２０１６年　３月

NIHON SEKKEI 日本設計

通し番号	図面番号	図 面 名 称			図 面 名 称	通し番号	図面番号	図 面 名 称	通し番号	図面番号	図 面 名 称
1	1000	表紙	45	1201	室詳細図1	76	1801	外構平面図			
2	1001	図面リスト	46	1202	室詳細図2	77	1802	外構平面詳細図1			
3	1002	工事概要書	47	1203	室詳細図3	78	1803	外構平面詳細図2			
4	1003	特記仕様書1				79	1804	植栽平面図			
5	1004	特記仕様書2	48	1311	外部部分詳細図1(屋上)	80	1805	屋上植栽図			
6	1005	特記仕様書3	49	1312	外部部分詳細図2(床、壁)	81	1806	外構詳細図1			
7	1006	特記仕様書4	50	1313	外部部分詳細図3(木造部・窓廻り)	82	1807	外構詳細図2			
8	1007	特記仕様書5	51	1314	外部部分詳細図4(窓廻り)	83	1808	外構詳細図3			
9	1008	特記仕様書6	52	1315	外部部分詳細図5(木造屋根・コンクリート)	84	1809	外構詳細図4			
10	1009	特記仕様書7									
			53	1321	内部部分詳細図1(床・幅木・壁)	85	1901	仮設計画図			
11	1021	外部仕上表	54	1322	内部部分詳細図2(壁・天井)						
12	1022	内部仕上表1	55	1323	内部部分詳細図3(ピット・雑)	86	1951	1階防火区画図			
13	1023	内部仕上表2	56	1324	内部部分詳細図4(雑)	87	1952	免震ピット防火区画図			
14	1024	内部仕上表3	57	1325	内部部分詳細図5(階段)	88	1953	2階防火区画図			
			58	1326	内部部分詳細図6(便所)	89	1954	3階防火区画図			
15	1031	現況高低測量図	59	1327	内部部分詳細図7(カウンター・移動間仕切・段床)	90	1955	4階防火区画図			
16	1032	敷地求積図	60	1328	内部部分詳細図8(EV1)	91	1956	5階防火区画図			
17	1033	建物求積図1	61	1329	内部部分詳細図9(EV2)	92	1957	PH階防火区画図			
18	1034	建物求積図2	62	1330	内部部分詳細図10(ESC)						
19	1035	平均地盤面算定図	63	1331	内部部分詳細図11(Exp.j/EV、ESC)						
20	1101	配置図	64	1341	間仕切壁リスト1						
21	1102	地下ピット平面図	65	1342	間仕切壁リスト2						
22	1103	1階平面図									
23	1104	免震ピット平面図	66	1411	建具共通仕様書						
24	1105	2階平面図	67	1412	建具表1						
25	1106	3階平面図	68	1413	建具表2						
26	1107	4階平面図	69	1414	建具表3						
27	1108	5階平面図	70	1415	建具詳細図						
28	1109	PH階平面図									
29	1110	屋根伏図	71	1501	サイン符号図1						
30	1111	東・南立面図	72	1502	サイン符号図2						
31	1112	西・北立面図	73	1503	サイン詳細図1						
			74	1504	サイン詳細図2						
32	1121	断面図1	75	1505	サイン詳細図3						
33	1122	断面図2									
34	1123	断面図3									
35	1124	断面図4									
36	1125	断面図5									
37	1126	断面図6									
38	1127	断面図7									
39	1128	断面図8									
40	1141	1階天井伏図									
41	1142	2階天井伏図									
42	1143	3階天井伏図									
43	1144	4階天井伏図									
44	1145	5階天井伏図									

16.02.25

NIHON SEKKEI 日本設計

/16.02.16
検図 /16.02.12
製図 /16.02.05

竣工図 保管 / . . 承認 / . .
確認 / . .
作成(構造者) / . .

訂正 . . . . . .

特記

設計	1級建築士登録第206250号	大坪 泰 印
設計	1級建築士登録第286712号	篠崎康志 印
設計	1級建築士登録第354901号	長友直子 印

桶川市新庁舎建設工事

図面名称 図面リスト

縮尺 －

LST.DWG

／ 枚ノ内 図面番号 1001

区分 建築(総合)

1. 建築概要

工事名称	桶川市新庁舎建設工事
工事場所	埼玉県桶川市泉一丁目3番28号
建築主住所氏名	桶川市長 小野克典
都市計画区域及び準都市計画区域の内外の別等	⊙ 都市計画区域内 （ ⊙ 市街化区域 ・ 市街化調整区域 ・ 区域区分非設定 ） ・ 準都市計画区域内 ・ 都市計画区域及び準都市計画区域外
用途地域	・ 第種低層住居専用 ・ 第*種中高層住居専用 ⊙ 第一種住居 ⊙ 準住居 ・ 近隣商業 ・ 商業 ・ 準工業 ・ 工業 ・ 工業専用 ・ 無指定
防火地域	・ 防火地域 ・ 準防火地域 ⊙ 指定なし
法定容積率	200 %
法定建ぺい率	70 % （60%+10%角地）
その他の区域、地域、地区又は街区	指定なし
法的な技術対応	
主要用途	庁舎
工事種別	⊙ 新築 ・ 増築 ・ 改築 ・ 移転 ・ 用途変更 ・ 大規模の修繕 ・ 大規模の模様替え
主体構造	⊙ S造 ⊙ SRC造 ⊙ RC造 ⊙ W造
階数	地上5階 塔屋1階
耐火・準耐火建築物	⊙ 耐火建築物 ⊙ 準耐火建築物 ・ 指定無し
防火対象物の用途区分	消防法施行令 別表第一 第16項イ
基礎地業	既製杭 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭.外殻鋼管付きコンクリート杭
主たる外部仕上	屋根 フッ素ガルバリウム鋼板、アスファルト防水絶縁断熱工法 外壁 ALC複層仕上塗材、コンクリート化粧打放しフッ素樹脂塗装 軒裏 硬質木片セメント板
工事着手予定年月日	2016 年 6 月
工事完了予定年月日	2018 年 2 月

	（申請部分）	（申請以外の部分）	（合計）
敷地面積	4,184.14 ㎡	㎡	4,184.14 ㎡
建築面積	2,270.33 ㎡	㎡	2,270.42 ㎡
建ぺい率	54.3 %		
延べ面積（建築物全体）	9,543.18 ㎡	㎡	9,543.18 ㎡
昇降路の部分	121.66 ㎡	㎡	121.66 ㎡
備蓄倉庫の部分	19.63 ㎡	㎡	19.63 ㎡
自動車車庫等の部分	1,217.79 ㎡	㎡	1,217.79 ㎡
住宅の部分	㎡	㎡	㎡
延べ面積（容積対象）	8,184.10 ㎡		
容積率	195.6 %		
駐車台数	60 台	台	台
建築物の数	申請に係る建築物の数 1	同一敷地内の他の建築物の数 0	
最高の高さ	25.54 m（平均地盤面より）		
最高の軒の高さ	25.01 m（平均地盤面より）		
平均地盤面の高さ	21.0 m		
設計地盤面	TP+21.0 m（設計GLの高さ）		
基準階	階高 3.8 m 天井高 - m 面積 1,784.83 ㎡		
主なスパン	9.6 × 9.6 m		
基礎下端	設計GL-2.06 m		
その他	・ 客室数 室 ・ ベッド数 床 ・ 住戸数 戸 ・収容人数 人 ・ 座席数 席		
特例の適用の有無	建築基準法第５６条第７項の規定による特例の適用の有無 ・ 有 ⊙ 無		
特例の区分	適用があるときは、特例の区分 ・ 道路高さ制限不適用 ・ 隣地高さ制限不適用 ・ 北側高さ制限不適用		
許可・認定等	都市計画法第29条		

2. 電気設備概要

電力	引込	架空引込 方式 1 回線 6.6 KV
電源設備	変圧器	7 台 1,550 KVA
	発電機	1 台 210 V 300 KVA
幹線	照明	単相 3 線式 210/105 V
	動力	三相 3 線式 210 V
負荷	設備容量	1,538 KW
	基準部照明	750 Lux 光源種別 LED
	その他	
監視制御	方式	⊙ 集中 ⊙ 個別 ⊙ 遠方 ⊙ 手元
防災	発電機	1 台 210 V 300 KVA
	火災報知機	786 回線
	非常照明	・ 電池別置 ⊙ 電池内蔵 ・ 発電機直入
	非常放送	360 W ・ 専用 ⊙ 兼用

3. 空気調和設備概要

熱源	エネルギー	・ 重油 ・ 灯油 ⊙ ガス ⊙ 電気 ・ DHC（ ・ 高温水 ・ 蒸気 ・ 冷水） ・ 太陽熱 ⊙ 井水 ⊙ 地中熱
	装置	冷凍機（ ⊙ 空気熱源ヒートポンプ 1 台、 ⊙ 地中熱源ヒートポンプ 1 台 ） ・ 直焚冷温水機 台、 ・ ボイラー 台、 ・ 蓄熱槽 ㎥ 、 ・ コレクター ㎡ ⊙ GHP 8 台、 ⊙ EHP 21 台
	総容量	冷熱源 1,379.8 KW 温熱源 1,424.3 KW
空調方式	インテリア	・ 中央式 ⊙ 個別式 外気処理機+ビル用マルチパッケージ空調機、直膨コイル付全熱交換器+ビル用マルチパッケージ空調機 など
	ペリメーター	・ 中央式 ・ 個別式
制御	空調	⊙ 電気式 ・ 空気式 ⊙ 電子式
	防煙ダンパー	⊙ 電気式 ・ 空気式
換気		⊙ 中央式（ ・1種 ・2種 ⊙3種） ⊙ 個別式（ ⊙1種 ・2種 ⊙3種）
排煙	方式	⊙ 自然排煙方式 ・ 機械排煙方式（排煙機 台）
	制御	・ 電気式 ・ 空気式

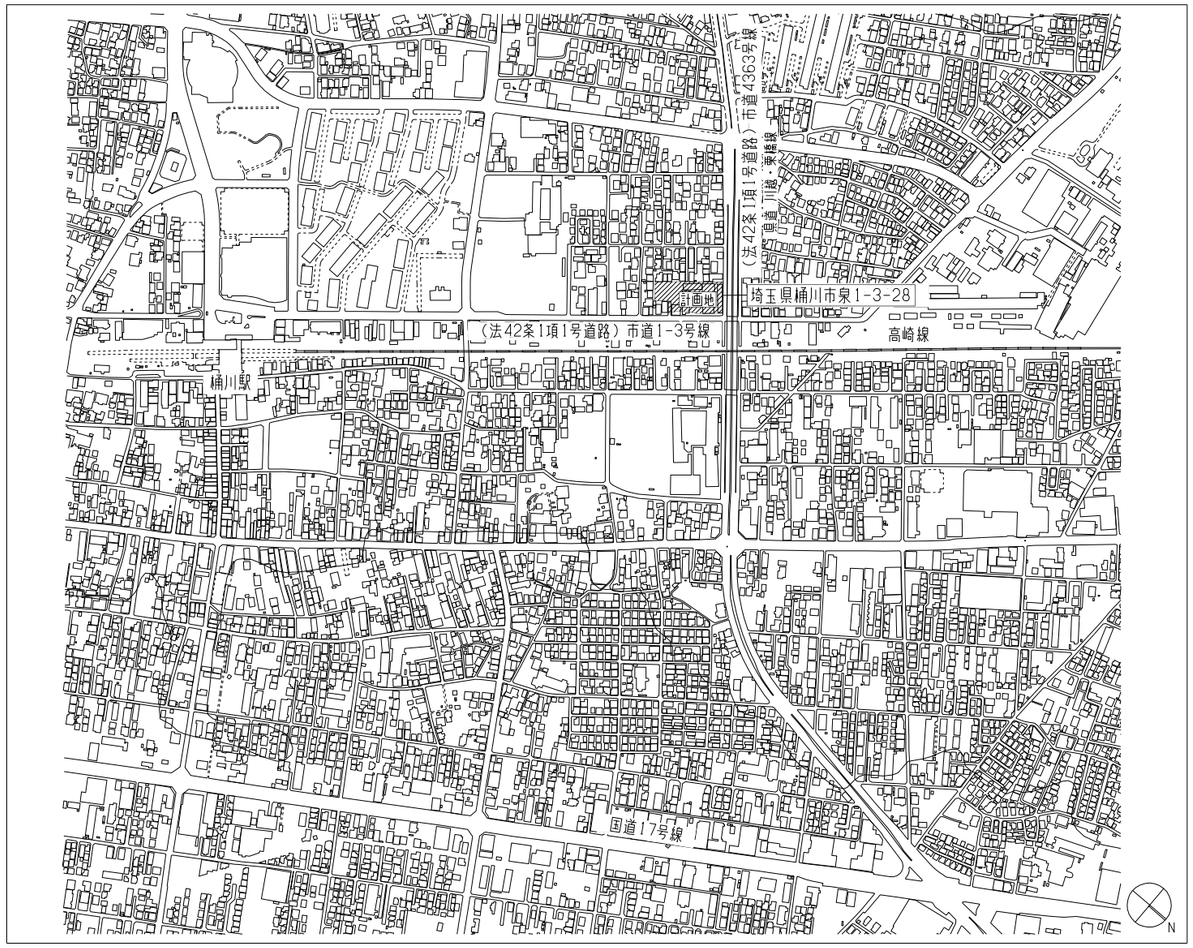
4. 給排水衛生設備概要

給水	水源	上水 雑用水 引込口径 40 mm ・ 直結給水 ⊙ ポンプ圧送 ・ 重力給水
	受水槽	上水 4.7 ㎥ × 1 基 ・ 雑用水 31.2 ㎥ × 1 基
	高置水槽	上水 ㎥ × 基 ・ 雑用水 ㎥ × 基
給湯	・中央式	熱源（ ・ 重油 ・ 灯油 ・ ガス ・ 電気 ・ 蒸気 ・ ソーラー）、貯湯槽（ ㎥ × 基）
	⊙個別式	熱源（ ・ 重油 ・ 灯油 ・ ガス ⊙ 電気 ・ 蒸気 ・ ソーラー）、 ⊙ 貯湯式 ⊙ 瞬間式 ・ 循環式
排水	屋内排水	・ 合流（ ・ 地上階 ・ 地下階）、 ⊙ 分流（ ⊙ 地上階 ・ 地下階）、 ・ 再利用装置（ ⊙有 ・無）
	屋外排水	⊙ 下水道放流（ ⊙ 汚水 ⊙ 雑用水 ・ 雨水）、 ・ 浄化槽（ ）
ガス	・ 都市ガス	引込口径（中圧 mm） （低圧 75 mm）、 発熱量（ Kcal ／㎥）
	・ プロパン	kg ボンベ 本立 組
消火		⊙ 屋内消火栓 ・ 屋外消火栓 ⊙ 連結送水管 ・ 連結散水 ・ スプリンクラー消火 ⊙ 粉末消火 ・ 泡消火 ・ ハロゲン化物消火 ・ 炭酸ガス消火 ・ 消防用水（ ㎥ ） ⊙ 消防水利（ 40 ㎥ ）

5. 昇降機設備概要

種類と台数	EV1	EV2		
用途	乗用	乗用		
積載量	1300kg	900kg		
定格速度	60m/min	60m/min		
停止箇所	1階～PHFL	1階～5階		
制御方式	可変電圧可変周波数制御	可変電圧可変周波数制御		
使用電源	200V 50HZ	200V 50HZ		
身障者対策	車椅子仕様	車椅子仕様		

付近見取図



16.02.25

日本設計	/16.02.16	竣工図 保管 / . . 承認 / . . 確認 / . . 作成（消長者） / . .	訂正	特記
	検図 /16.02.12			
	製図 /16.02.05			

設計	1級建築士登録第206250号	大坪 泰 印
設計	1級建築士登録第286712号	鐘崎康志 印
設計	1級建築士登録第354901号	長友直子 印

桶川市新庁舎建設工事

図面名称	工事概要書
縮尺	A1: 1/4500 A3: 1/9000
GAI.DWG	
枚ノ内 / 図面番号	1002
区分	建築（総合）

工事名	桶川市新庁舎建設工事

仕様書

I 工事概要

1．工事場所　桶川市泉一丁目3番28号　用途地域　準住居地域、第一種住居地域
（地名地番：桶川市泉一丁目337番3、337番4、337番8、341番1、342番2、342番4）

2．敷地面積　4,184.14㎡

3．工事種目

庁舎　棟　造 5 階建て（地下　階・PH 1 階）

建築面積	2,270.33	㎡
延べ面積	9,543.18	㎡
床面積		㎡
PH 階	61.99	㎡
5 階	1,536.39	㎡
4 階	1,784.83	㎡
3 階	1,784.83	㎡
2 階	2,121.03	㎡
1 階	2,254.11	㎡

発注方式　一括発注（以下工事を一括工事とする）
建築（総合）、建築（構造）、電気設備、空調換気設備、
給排水衛生設備、昇降機（建築に含む）、解体

4．工期　契約日から平成 30年 2月 28日まで

5．工事範囲
※「3．工事種目」全てを工事範囲とする。
⊙「3．工事種目」のうち 建築工事 の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2 仮設工事	工事範囲全て
3 土工事	工事範囲全て
4 地業工事	工事範囲全て
5 鉄筋工事	工事範囲全て
6 コンクリート工事	工事範囲全て
7 鉄骨工事	本造部は別途
8 コンクリートブロック・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形セメント板工事	工事範囲全て
9 防水工事	工事範囲全て
10 石工事	工事範囲全て
11 タイル工事	—
12 木工事	本造部は別途
13 屋根及びとい工事	本造部は別途
14 金属工事	本造部は別途
15 左官工事	工事範囲全て
16 建具工事	本造部は別途
17 カーテンウォール工事	—
18 塗装工事	本造部は別途
19 内装工事	本造部は別途
20 ユニット及びその他の工事	本造部は別途
21 排水工事	工事範囲全て
22 舗装工事	一部別途工事
23 植栽及び屋上緑化工事	屋上緑化のみ含む
24 ｴﾈﾙｷﾞｰﾄﾞ及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定	本造部は別途
25 昇降機工事	工事範囲全て

II 建築工事仕様

1 共通仕様
(1)図面、特記仕様書及び現場説明書（現場説明に対する質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて埼玉県建築工事特別共通仕様書及び国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成２５年版）」による。
(2)標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。

2 特記仕様
(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2)特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。 ①印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。

(3)特記事項に記載の（ ．．）内の表示番号は、公共建築工事標準仕様書（以下、（建築工事編）（平成２５年版）を「標準仕様書」という。）の当該項目、当該図表を示す。
(4)製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。
(5)Gはグリーン購入法該当品目を表す。なお、特定調達品目か否かの判断基準は現場説明書による。

章	項目	特記事項

1 一般共通事項

① 適用基準等
⊙建築工事標準詳細図（国土交通大臣官房官庁営繕部監修　平成２２年版）

② 電気保安技術者
※適用する　(1.3.3)

③ 技能士
※適用する　(1.5.2)

適用工事種別	技能検定作業
仮設工事	⊙とび作業
鉄筋工事	⊙鉄筋組立作業
コンクリート工事	⊙型枠施工作業　⊙ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業
鉄骨工事	⊙構造物鉄工事作業　⊙とび作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ	⊙ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ⊙ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ工事作業
防水工事	⊙ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　⊙ｼｰﾄｶﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ⊙ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系シート防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系シート防水工事作業　⊙ｼｰﾄ系防水工事作業 ⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業
石工事	・石張り作業
タイル工事	・タイル張り作業
木工事	⊙大工工事作業
屋根及びとい工事	⊙内外装板金作業　・スレート工事作業
金属工事	⊙鋼製下地工事作業　⊙内外装板金作業
左官工事	⊙左官作業
建具工事	⊙ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業　⊙ガラス工事作業　⊙自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	⊙金属製カーテンウォール工事作業　⊙ﾌﾟﾚ用ｻｯｼ施工作業 ⊙ガラス工事作業
塗装工事	⊙建築塗装作業
内装工事	⊙ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　⊙カーペット系床仕上作業 ⊙ボード仕上げ工事作業　⊙壁装作業
排水工事	⊙建築配管作業
舗装工事	⊙溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾏｰｶｰ工事作業　⊙加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｰｶｰ工事作業
植栽工事	⊙造園工事作業

4 監理技術者等
・主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間　契約日から平成　年　月　日
・現場代理人の現場への常駐を要しない期間　契約日から平成　年　月　日

⑤ 工事実績情報の登録
※行う　・行わない　(1.1.4)

⑥ 材料の品質等
本工事に使用する材料等は、設計図に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。
材料・機材等の製造業者等は次の（1）から（6）すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。　(1.4.2)
（1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること
（2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
（3）安定的な供給が可能であること
（4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
（5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
（6）販売、保守等の営業体制が整えられていること
※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁　平成18年2月15日）に準拠した証明書を提出する。

⑦ アスベスト含有建材の取扱い
各種材料については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含有する建材は使用してはならない。

⑧ 化学物質を放散させる建築材料等
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の１）から４）を満たすものとする。　(1.4.1)
１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びｽﾁﾚﾝを発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
２）接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝの含有量が少ない材料を使用する。
３）接着剤は、可塑剤（フタル酸ｼﾞｰﾉｰﾌﾞﾁﾙ及びフタル酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ等を含有しない難燃発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する
４）１）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びｽﾁﾚﾝを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は次のとおりとする。

規制対象外
①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第２０条の７第４項により国土交通大臣の認定を受けた材料

第３種
①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
②建築基準法施行令第２０条の７第４項により国土交通大臣の認定を受けた材料

⑨ 特別な材料の工法
標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

⑩ 防水工事保証書
⊗屋上防水　・外壁防水　⊙金属屋根
建物引き渡し日から１０年間、請負者、施工者、材料メーカーの３者連名とし２部提出する。

⑪ 発生材の処理等
・現場説明書による　⊙構外搬出適切処理　・引渡しを要するもの図示　(1.3.8)
引渡しを要さないものは、すべて構外搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し、監督員に報告する。

⑫ 施工図等の取扱い
施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

⑬ 設備工事との取合い
設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。

⑭ 埼玉県電子納品運用ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝに基づく電子納品
※対象とする　・対象としない
・電子納品対象資料は、工事写真及び完成写真とし、作成は「建築・設備工事電子納品写真要領」による。

⑮ 施設CADデータの更新
※行う　・行わない

⑯ 図面情報電子化媒体
※図面情報電子化媒体
なお、「埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領」により作成する。

⑰ 完成図等
※作成する　・現場説明書による　(1.7.1～3)(表1.7.1)
※竣工図：Ａ１二つ折り製本２部　※施工図：Ａ１二つ折り製本２部
※図面情報電子化媒体(CD-R)を一部納品する。
※保全に関する資料　※保証書
※予備材料名称・数量

⑱ 完成写真
下記のものを監督員に提出する。　ただし、原版は撮影業者の保管とする、
作成は「埼玉県建築工事写真作成要領」による。

分類・規格	撮影箇所数	部数	備考
※カラー　※キャビネ版	外部（30）内部（100）	※1	
・全紙パネル	外部（ ）内部（ ）	※1	

他に外観正面１カット（カラーキャビネ版）のみ 10枚
撮影業者　※監督員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）
※電子成果品として、電子媒体(CD-R)を一部納品する。

⑲ 設計ＧＬ
※図示　・設計ＧＬ＝現状ＧＬ　⊙ベンチマーク位置　図示

⑳ 条件明示項目
※火災保険等（種類　期間　）

㉑ 施設使用マニュアルの作成
工事目的物の引渡しに際しては、建物を構成する部分で通常取り扱いに注意を要するものについては、その使用方法について解説したマニュアルを作成し、施設を管理することとなる者へ引き渡す。

㉒ その他
※建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。
※調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。

2 仮設工事

① 監督員事務所　(2.3.1)
⊗設ける　・設けない
監督員事務所の規模及び備品　65 ㎡
※次の備品について 10 名分相当とする。　(2.3.1)
⊙机　⊙いす　⊙書棚　⊙黒板　・製図板等　⊙掛時計　⊙応接計
・長ぐつ　⊙雨がっぱ　・保護帽　⊙懐中電灯　⊙安全帯　⊙救手
⊙電話機　⊙衣類ロッカー　⊙冷暖房機器　⊙消火器　⊙湯沸器　⊙斧器　⊙掃除用具

② 工事用水
構内既存の施設　⊙利用できない　・利用できる（※有償　・無償）

③ 工事用電力
構内既存の施設　⊙利用できない　・利用できる（※有償　・無償）

④ 工事用搬入路
※図示による
※図示による

⑤ 仮囲い

⑥ 交通整理員
⊙必要に応じ搬入路付近に交通整理員を配置する。

⑦ 工事概要案内板
※設置する　・設置しない

⑧ 手すり先行足場
足場を設ける場合、標準仕様書2.2.4(b)によるほか、設置の際は、「手すり先行工法に関するガイドライン」の別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

3 土工事

① 埋戻し及び盛土　(3.2.3)
埋戻し及び盛土の種別
・Ａ種　適用場所（　）
・Ｂ種　適用場所（　）
⊙Ｃ種　適用場所（　）土質（　）受渡場所（　）
・Ｄ種（細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。）
・　適用場所（　）

② 建設発生土の処理　(3.2.5)
・現場説明書による
⊙場外搬出適切処理　・構内指示の場所にたい積　・構内指示の場所に敷き均し

③ 山留めの存置
※存置しない　・存置する（存置範囲　⊙図示　・　）　(3.3.3)

4 地業工事
特記仕様書（構造関係）による

5 鉄筋工事
特記仕様書（構造関係）による

6 コンクリート工事

① コンクリートの種類及び品質（構造体以外）　(6.2.1)
⊙普通コンクリート　※特記仕様書（構造関係）による　・下記表による
・軽量コンクリート　・無筋コンクリート　・その他（　）
コンクリートの品質

ｺﾝｸﾘｰﾄ種別	設計基準強度 Fc (N/mm²)	気乾単位容積質量(t/m³)	スランプ(cm)	施工場所等
	・18 ・21 ・24		・21 ・18 ・15	

② コンクリートの仕上がり
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ(6.2.5)(6.6.6)(6.8.3)(表6.2.4)

	適用箇所
A種	コンクリート化粧打放し仕上げ、塗装仕上げ部
B種	コンクリート打放し(B)、防水層下地
C種	コンクリート打放し(C)、LGS下地、断熱材下地
コンクリート打ちのまま	コンクリート素地部

7 鉄骨工事

耐火被覆
種別

種別	材料・工法	適用箇所（部位・部分）
⊙耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	⊙半乾式吹付けロックウール	⊙2階～PH階柱（隠蔽部）
	・湿式ロックウール	
⊙耐火板張り	⊙繊維混入けい酸カルシウム板	⊙2階～PH階柱、免震装置
⊙耐火材巻付け	⊙高耐熱ロックウール	⊙2階～PH階梁
ラス張りモルタル塗り	－	
⊙耐火材左官仕上	⊙湿式セラミック系	⊙1階、2階外部柱･梁

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。
耐火板張り(免震装置用)　：日本ﾊﾟﾋｭﾚｰｼｮﾝ　めんしんたすけ-S同等品(剛ナボベリ支承用)
：　〃　めんしんだすけ-S2同等品(免震ゴム用)
耐火材巻付け　：ニチアス　マキベエ同等品
直貼り：梁断面　H-400×200×8×13以上
箱貼り：梁断面　H-400×200×8×13未満
耐火材左官仕上：エスケー化研　セラタイカ2号外部仕様同等品
性能

性能	適用箇所(部位・部分)
・30分耐火	・
①1時間耐火	・2階～PH階
⊙2時間耐火	・1階、免震ピット階
・3時間耐火	・

8 コンクリートブロック、ALCパネル、押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造　(8.2.2、5)
ブロックの種類

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
※空洞ブロック 16				・無　・有		
・型枠状ブロック 20				・無　・有		

各部の配筋　※図示　・

2 コンクリートブロック帳壁及び塀　(8.3.2、3)
ブロックの種類

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
・空洞ブロック 08				・無　・有		
・空洞ブロック 16				・無　・有		

各部の配筋　※図示　・

③ ALCパネル　(8.4.2～5)

パネルの種類	単位重量(N/m²)	厚さ(mm)	長さ(mm)	耐火性能	表面加工	構法の種別
⊙外壁パネル		・100 ⊙120	⊙図示	⊙有(1)時間	⊙平 ・表匠	⊙A種・B種
・間仕切壁パネル		・100 ・		・有(1)時間 ・無	・平 ・表匠	・C種・D種・E種
・屋根パネル		・100 ・		有(0.5)時間	平	F種
・床パネル		・100		・有(　)時間		

クリオンBSパネル同等品

4 押出成形セメント板（ＥＣＰ）
外壁パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する（法に基づき定まる風圧力の（・1⊙1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
・適用しない

慣性力に対する安全性能は下記とする。
設計用地震力　Kh=(※1.0　・0.5)
パネルおよび取り付け金物の強度が短期許容応力度内にあり、パネルの破損や脱落、取り付け金物の有害な残留ひずみがないものとする。
層間変位追従性能は下記とする。
補修の必要無しに継続使用できる限界　※±H/300
部材に破損、脱落、有害な残留変形が起こらず不定期ｼｰﾘﾝｸﾞ材の補修のみで継続使用できる限界　※±H/200
部材に破損、脱落を生じない限界　※±H/100
層間変位＋－H/100に対してパネルの脱落が無いものとする

外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅（mm）　※20　・
伸縮目地への耐火目地材の充填　⊙適用する　・適用しない

(8.5.2～5)

パネルの種類	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法種別	備考
・外壁パネル	・F（ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ）	・50・60・		・A種 ・B種	
	・D（ﾀﾞﾌﾞﾙｴﾝﾊﾞﾈﾙ）	・50・60	600		
	・T（ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ）	60			
・間仕切壁パネル	・F（ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ）	・50・60・		・B種 ・C種	
	・D（ﾀﾞﾌﾞﾙｴﾝﾊﾞﾈﾙ）	・50・60			
	・T（ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ）	60			

外壁パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する（法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
・適用しない
パネルの相互の目地幅（mm）　・図示　・
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅（mm）　※15　・
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認の上、施工計画書を提出する。

		開口の大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅	
パネルに開口を設ける場合	短辺	・	・図示	・	・図示
	長辺	・	・図示	・	・図示
パネルを切り欠く場合	短辺	・	・図示	・	・図示
	長辺	・	・図示	・	・図示

9 防水工事

① アスファルト防水　(9.2.2～5)（表9.2.3～9）
屋根防水保護
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護
・A－1		(材質)※JIS A9511による A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板3種b(ｽｷﾝ)・(厚さ)・25mm・50mm⊙35mm	※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ厚さ0.15mm以上・	⊙乾式保護材・れんが押え・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え
・A－2				
・A－3				
・B－1				
・B－2				
・B－3				
・AI－1			※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/m²程度・	
・AI－2				
・AI－3				
⊙BI－1	屋上2.5.7.8.9.10.11			
・BI－2				
・BI－3				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による　・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による　・

平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※水下　80mm以上　・
床タイル張り　※水下　60mm以上　・

⊙乾式保護材
窯業系パネル：無石綿の繊維質原材料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。

屋根露出防水
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用 G
・D－1		(材質)※JIS A9511による A種硬質ﾌｫｰﾑﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号又は2号で透質係数を除く規定に適合するもの・(厚さ)・25mm　⊙35mm	・	・	・
・D－2					・
・D－3			⊙製造所の指定による	⊙製造所の指定による	・
・D－4					・
⊙DI－1	屋上1･3･4･6				・
・DI－2					・

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りしまい位置　※図示　・

防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E－1		・E－2	

保護層　・設ける（※図示　・　）　・設けない

防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ
※標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げの種別]のＢ種　・
押え金物の材質及び形状
※アルミニウム製　L－30×15×2.0mm程度　・
防水層の下地モルタル塗り　・適用する（施工範囲　・図示　・　）
⊙適用しない
屋根排水溝　※図示　・

2 改質アスファルトシート防水　(9.3.2、3)(表9.3.1～3)
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材 G	防湿層	高日射反射率防水の適用 G
・AS－T1				・
・AS－T2				・
・AS－J1				・
・AS－T3				・
・AS－T4				・
・AS－J2				・
・ASI－T1		(材質)※JIS A9511による A種硬質ﾌｫｰﾑﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号又は2号で透質係数を除く規定に適合するもの・(厚さ)・25mm　・	・設ける(改質アスファルト製造所の仕様による)・設けない	・
・ASI－J1				・

16.02.25

竣工図	/16.02.16	保管	承認
検図	/16.02.12	確認	
製図	/16.02.05	作成(責任者)	

訂正　特記

設計	1級建築士登録第206250号	大坪　泰 印
設計	1級建築士登録第286712号	篠崎康志 印
設計	1級建築士登録第354901号	長友直子 印

日本設計

桶川市新庁舎建設工事

図面名称　特記仕様書 1
縮尺　－

TOK.DWG
枚ノ内
図面番号 1003
区分　建築(総合)

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による　・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による　・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による　・
押え金物
※改質アスファルト製造所の仕様による　・

3　合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2～4)(表9.4.1、2)

防水層の種別

種別	施工箇所	絶縁用シートの材質	断熱材 G	仕上塗料	高日射反射率防水の適用 G
・S－F1				・ｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ	・
・S－F2					・
・S－M1				・ｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ	・
・S－M2					・
・S－M3					
・SI－F1			（材質）※A種ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合する ・ （厚さ）・25mm・	・ｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ	・
・SI－F2					・
・SI－M1			（材質）※A種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの又はA種押出し法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板 ・ （厚さ）・25mm・	・ｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ	・
・SI－M2		※発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・			・

ルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.4.1から表9.4.2による　・
防水下地がＰＣコンクリート部材下地の場合の処理
目地処理　※図示　・
入隅部の増張り（Ｓ－Ｆ１、ＳＩ－Ｆ１の場合）　※図示　・

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1、・1.15、・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない

④　塗膜防水

(9.5.3)(表9.5.1、2)

防水層の種別

種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	高日射反射率防水の適用 G
・X－1		・ｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ		・
⊙X－2	設備配管立上り、バルコニー1・2・3、テラス、免震ピット(一部)、コンクリート笠木	⊙ｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ		・
・Y－1	※地下外壁防水　・			
・Y－2	※屋内防水		・通用する ・通用しない	

⑤　ケイ酸質系塗布防水

(9.6.1、3)(表9.6.1、2)

防水層の種別

種別	施工箇所	種別	備考
※C－UI	雨水利用槽、井水貯留槽、消火水槽、雑用水槽、EVﾋﾟｯﾄ、ESCﾋﾟｯﾄ、雨水流出抑制槽	・C－UP	

⑥　脱気装置

(9.2.3)(9.3.3)(9.5.3)

種別	種類	設置数量
D-1　D-2　D-3　D-4 DI-1　DI-2　AS-T3　AS-T4 AS-J2　ASI-T1　ASI-J1	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類製造所の仕様による ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類製造所の仕様による ・　個／㎡
X-1	・防水層の主材料の製造所の仕様による ・	・防水層の主材料の製造所の仕様による ・　個／㎡

⑦　シーリング

(9.7.2)(表9.7.1)

下表以外は、標準仕様書表9.7.1による
ただし、外壁タイル接着材張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
外壁RC壁木梁貫通部	変性シリコン（MS-2）

シーリング材の目地寸法　※標準仕様書9.7.3（a）(1)～(3)による　・

⑧　防水工事施工票　※設置する（　２ヶ所）（施工年月日は防水工事施工完了日（手直しは除く）を記入）

⑨　その他の防水処理　⊙ビニルエステル樹脂ガラスマット2プライ(D1種)　施工箇所：雑排水槽、汚水槽
t32 サーフィスマット1プライの施工　◯適用する
日本下水道事業団の腐食環境条件による分類
D1種　年間平均硫化水素（H2S）ガス濃度が50ppm以上で硫酸によるコンクリート腐食が、極度に見られる腐食環境。

⑩　免震スリット材　免震スリットガスケット：日本インシュレーション　めじたすけ同等品　上部接着　50×100
免震スリット耐火材　　：ニチアスTOMBO No.5550aメンシンメジ同等品

⑪　防水キャップ　ツルガTSボルトキャップGL(止水用)同等品

10 石工事

①　施工

(10.1.3、5)

石材の割付け　※標準仕様書10.1.3(a)(1)、(2)による　・図示
粗面仕上げの場合ののみ込み部分の仕上げ　・図示　・
屋内の床を本磨きとする場合のワックスかけ　・行う（適用場所　・すべて　・　）
・行わない

②　石材等

天然石

(10.2.1、3)(表10.2.1、2)

施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
男子便所	・1等品 ⊙2等品	黒御影	※正方形に近い矩計 ⊙図示	図示	20	本磨き	汚垂石
	・1等品 ・2等品		※正方形に近い矩計 ・				
	・1等品 ・2等品		※正方形に近い矩計 ・				

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上げ	備考
	※人理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			
	※人理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※人理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・３００型 ・４００型		
	※人理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・３００型 ・４００型		

取り付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石表面処理材、裏打ち処理材
※石材施工業者の指定する製品　・

3　外壁湿式工法

(10.2.2、3)(10.3.2、3)

石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※流し筋工法　・あと施工ｱﾝｶｰ工法　・あと施工ｱﾝｶｰ,横筋横流し工法
受金物　材質　※SS400　・
形状及び寸法　・L-75×75×6(mm)の加工　l=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工　l=150mm
・
ドレインパイプの材質　・樹脂ネット製パイプ　クロスメッシュ巻き25～35φ

アンカーの材質及び径　※SS400　M12　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（　　）
目地　一般目地　目地幅(mm)　※6以上　・
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地　位置　※標準仕様書11.1.1による　・図示
シーリング材の目地寸法　※標準仕様書9.7.3(a)(3)による
・図示

4　内壁空積工法

(10.2.2)(10.4.2、3)

受金物　材質　※SS400　・
形状及び寸法　・L-75×75×6(mm)の加工　l=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工　l=150mm

石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※あと施工アンカー,横筋横流し工法　・あと施工アンカー工法
アンカーの材質及び径　※SS400　M12　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（　　）
目地　一般目地　目地幅(mm)　※6以上　・
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地　位置　※6mごと　・図示
シーリング材の目地寸法　※標準仕様書9.7.3(a)(3)による
・図示

5　乾式工法

(10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4)

取付け方式　・スライド方式　・ロッキング方式
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
だぼ用の穴の位置　※標準仕様書10.5.2(b)(1)による　・図示
外壁の工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1、・1.15、・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない
アンカーの材質及び形状　※ステンレス(SUS304)　M10　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（　　）
目地　目地幅(mm)　※8以上　・
シーリング材　・適用する（※標準仕様書9章7節による　・図示）　・適用しない

6　床及び階段の石張り

(10.6.2、3)

床石張りの裏面処理　・適用する　・適用しない
階段張りの裏面処理　・適用する　・適用しない
目地　一般目地　目地幅(mm)　・図示　・
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地　位置　※床面積30㎡ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他部材との取り合い部
・図示

7　アーチ、上げ裏等の石張り

(10.2.2)(10.7.1、2)

取付け工法　・外壁湿式工法　・内壁空積工法　・乾式工法
取付け金物　※標準仕様書10.2.2(c)による　・
引金物、だぼ、かすがい及び受金物　※標準仕様書10.2.2(a)による　・
吊金物及び化粧吊りボルト
・設ける　吊金物　※ステンレス（SUS304)径6mm長さ80mm(加工物)
・
吊りボルト　※ステンレス(SUS304)M10化粧ナット付き
・
・設けない
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
アンカーの材質及び径　・SS400　M12　・ステンレス(SUS304)M10　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（　　）
目地　一般目地　目地幅(mm)　※6以上　・
伸縮調整目地　位置　※他の部位との取合い部　・図示

8　笠木、甲板等の石張り

(10.2.2)(10.7.1、3)

取付け工法　・外壁湿式工法　・乾式工法
取付け金物　※標準仕様書10.2.2(c)による　・
引金物、だぼ、かすがい及び受金物　※標準仕様書10.2.2(a)による　・
石裏面処理　・適用する　・適用しない
乾式工法の場合の取付け代　※標準仕様書10.5.3(b)による　・
石裏の補強用モルタル　・適用する　・適用しない
アンカーの材質及び径　・ステンレス(SUS304)M10　・
あと施工アンカーの材質及び寸法（　　）

11 タイル工事

1　伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

(11.1.3)(表11.1.1)

位置　※標準仕様書11.1.1による　・図示

2　セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り

タイルの形状・寸法等

(11.2.2、3、7)

施工箇所	主な用途による区分(JIS)	形状・寸法(mm)	吸水率による区分 I種	II種	III種	釉薬 無釉	施釉	役物 有	無	色 標準	特注	再生材の適用 G	耐凍害性 有	無	滑り抵抗性	備考

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない
モルタル塗りのコンクリート素地面の処理　・MCR工法・目荒し工法（高圧洗浄）・
壁タイル張りの工法
外壁タイル　・密着張り　・改良積上げ張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

・既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付けモルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

3　接着剤による陶磁器質タイル張り

(11.3.2～4、7)

タイルの形状・寸法等

施工箇所	主な用途による区分	形状・寸法(mm)	吸水率による区分 I種	II種	III種	釉薬 無釉	施釉	役物 有	無	色 標準	特注	再生材の適用 G	耐凍害性 有	無	備考

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・
外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材
打継ぎ目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
伸縮調整目地　※変成シリコーン系シーリング材　・
その他の目地　※変成シリコーン系シーリング材　・
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理　・MCR工法・目荒し工法（高圧洗浄）・

4　陶磁器質タイル型枠先付け

(11.4.2、3)(表11.4.1)

タイルの形状・寸法等

施工箇所	主な用途による区分	形状・寸法(mm)	吸水率による区分 I種	II種	III種	釉薬 無釉	施釉	役物 有	無	色 標準	特注	再生材の適用 G	備考

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない

タイル型枠先付けの種類

種類	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板の種別
・タイルシート法	・小口タイル	※標準仕様書6.8.3(b)(2)
・目地側法	・二丁掛け タイル	・金属製タイル先付け用パネル
・桟木法	大形タイル	・

12 木工事

①　表面仕上げ

(12.1.4)

表面仕上げの種別	適用箇所
・A種	
※B種	全て
・C種	
・D種	

②　製材 G

(12.2.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)

⊙「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
金属ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ下地	スギ	38×89 90×90	※2級・	図示	※A種・B種・	・
			※2級・			・
			※2級・			・

⊙「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
1階柱・梁(非構造)	スギ(県産材)	図示	建築（構造）特記仕様書による		※A種・B種・柱・梁に倣う	・

⊙「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
階段3段床	ジャラ	図示	※1等・	図示	※A種・B種・	・
			※1等・			・
			※1等・			・

「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用
			（　　）造作材の場合（※A種・B種）	・薬剤する ・薬剤しない	・適用する ・適用しない	※A種・B種・	・

・代用樹種を使用できない箇所（　　）

③　造作用集成材 G

(12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

⊙「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用
階段3手すり	タモ	φ38	※1等　・2等	・
木巾木	タモ	h50	※1等　・2等	・
畳寄せ	スプルース	図示	※1等　・2等	・
総合案内カウンター	スギ	図示	※1等　・2等	

⊙「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用
					※1等　・2等	・
					※1等　・2等	
					※1等　・2等	

・　直交用集成板(CLT)

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	間伐材等の適用
					・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※A種・B種・	・
				※A種・B種・	・
				※A種・B種・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※A種・B種	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※A種・B種	・

④　造作用単板積層材 G

(12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用
	・15	・有り（加工　・天然木加工・塗装加工） ・無し（等級：　　）	・適用する ・適用しない	・

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		・有り (加工・天然木加工・塗装加工) ・無し（等級：　　）	・適用する ・適用しない	※14%以下	・

⑤　床張り用合板等

(12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

・普通合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防炎処理	間伐材等の適用
板の間捨板	※5.5 ⊙12	ラワン	・1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上・1等 針葉樹 ※C・D以上・	⊙適用する ・適用しない	・適用する ⊙適用しない	・適用する ⊙適用しない	・

⊙構造用合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
フローリング捨板	※12 ⊙15	※2級以上 ・1級		・1類 ・特類	※C・D以上 ・		⊙適用する ・適用しない	⊙適用する（　） ・適用しない	・

・パーティクルボード G

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分
	※15 ・		※13タイプ ・	※PW又はM ・	

・構造用パネル

施工箇所	厚さ(mm)	等級
		・1級　・2級　・3級　・4級

⑥　接着剤

(12.2.2、3)

接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性のものとする。
ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

⑦　防腐・防蟻処理

(12.3.1、2)

・防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材
適用部位：（　　）
・薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
	・K2　・K3　・K4
	・K2　・K3　・K4

⊙薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理

適用部位	処理の方法
木造部(構造材)、金属ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ下地	※標準仕様書12.3.1(3)(i)①～④による　・
	※標準仕様書12.3.1(3)(ii)①～④による　・

・ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐、防蟻処理
適用部位（　　）

⑧　壁下地用合板

⊙構造用合板 厚さ12mm 仕様は建築(構造)特記仕様書に倣う/施工箇所：金属ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ下地
⊙壁掛けスピーカー用下地補強
ラワン合板 厚さ24mm　W400×H900×8ヶ所

⑨　不燃木材等

⊙　天井用　木ルーバー

施工箇所	施工箇所	樹種	サイズ
⊙ 不燃	エントランスホール	スギ	30×90
⊙ 準不燃	議場・ロビー		
⊙ その他	市民ギャラリー		

⊙　壁用　不燃木パネル

施工箇所	施工箇所	樹種	サイズ
⊙ 不燃	授乳室	スギ	85×3000
⊙ 準不燃	議場、市長室、3階応接室	スギ	85×3000
⊙ 難燃	3階相談室1	スギ	85×3000

越井木材工業 スーパーパネル同等品

⑩　木栓　⊙ナラ　φ80,H60　施工箇所：CLTパネル　ダブルナット部

16.02.25

日本設計	竣工図 /16.02.16	保管 / . .	承認 / . .
	検図 /16.02.12	確認 / . .	
	製図 /16.02.05	作成(消費者) / . .	

訂正　特記

設計	1級建築士登録第206250号	大坪　泰 印
設計	1級建築士登録第286712号	篠崎康志 印
設計	1級建築士登録第354901号	長友直子 印

桶川市新庁舎建設工事

図面名称　特記仕様書2
縮尺　－

TOK.DWG
／ 枚ノ内　図面番号 1004
区分　建築(総合)

13 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺

(13.2.2、3)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
木造部屋根	※JIS G 3322の屋根用コイル ・	⊙ フッ素 ⊙ AZ150	0.45	・心木なし瓦棒葺 ・立平葺・鎬掛葺 ・横葺 ⊙ 平滑葺き	

元旦ビューティー工業 マッタラルーフ同等品

下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940
⊙改質アスファルトルーフィング下葺材
(⊙一般タイプ・複層材タイプ・粘着層付タイプ)
バックアップ材：ビーズ発砲ポリスチレン板
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ⊙1.15 ・ 1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・適用しない
雪止め ⊙設置する（図示）

2 折板葺

(13.2.2)(13.3.2、3)(表13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
		山高	山ピッチ					
	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形			（　　）種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し
	・							

材料　板及びコイルの種類（　　）
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（　　）
断熱材 ・有り（種別：　　厚さ(mm)：　　防火性能：　時間）
・無し
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・適用しない

3 粘土瓦葺

(13.4.2、3)

施工箇所	種類			大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦
	製法による区分	形状による区分	寸法による区分				
							・適用する ・適用しない
							・適用する ・適用しない

瓦桟木　材質　※杉又はひのき　・
寸法　※幅21×高さ15(mm)　・
棟補強用心材　材質　※杉又はひのき　・
寸法　※幅40×高さ30(mm)　・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・適用しない
瓦桟木の留付け工法　※図示　・
棟の工法　※標準仕様書13.4.3(d)(1)～(4)による　・

④ とい

(13.5.2、3)(表13.5.5)

といの材質　⊙配管用鋼管　・硬質ポリ塩化ビニル管　・
ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
鋼管製といの防露巻き　・適用する（工法：※標準仕様書13.5.5による　・　　）
⊙適用しない

ルーフドレイン

種別	施工箇所
⊙ろく屋根用（⊙縦型　⊙横型）	(縦型)屋上5～11(横型)屋上1～4
・バルコニー用	
・バルコニー中離用	

14 金属工事

① ステンレスの表面仕上げ

(14.2.1)

種　類	施工箇所（手すり、タラップ、建具以外）
※HL程度	
・鏡面仕上程度	
⊙No.2B程度	⊙ 図示　特記なき限り2Bとする
⊙アクリル樹脂焼付塗装	⊙ 巾木

② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表14.2.1)

種　別	皮膜又は複合皮膜の種類	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
・A-1種	※AA15・	
・A-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ)	※AA15・	
・B-1種	※B　・	
・B-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ)	※B　・	
・C-1種	※AA6・	
・C-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ)	※AA6・	
⊙D種　フッ素樹脂焼付塗装		⊙ アルミサッシュ幕板
・		

陽極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色

③ 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)

表面処理方法	種　別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	⊙A種	水切り、雨樋取付金物
	⊙B種	外階段、雨樋
	⊙C種	地下ピット内鉄部
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

④ 軽量鉄骨天井下地

(14.4.2～4)(表14.4.1)

野縁等の種類
屋外（※25形　・19形）　屋内（※19形　・25形）
・屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
⊙適用しない
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　・図示　・
周辺部の端からの間隔　⊙図示　・
野縁の間隔　・図示　・
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法　※図示　・
・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合
補強方法　※標準仕様書14.4.4(h)(1)～(2)による　・図示　・
・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法　※図示　・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所　・図示　・
補強方法　※図示　・
⊙ 設計用地震力
1階免震層上部：Kh=1.0 Kv=1.0
2階免震層上部：kh=1.0 Kv=1.5（一般部）
Kv=2.0（鐵塔上部）

⑤ 軽量鉄骨壁下地

(14.5.3)(表14.5.1)

スタッド、ランナーの種類
※標準仕様書14.5.1によるスタッド高さによる区分に応じた種類　・図示　・
スタッドの高さが5.0mを超える場合　※図示　・

6 金属成形板張り

(14.6.2、3)(表14.2.1)

種別	製法	形状	板幅(mm)	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理 種別	表面処理 皮膜等の種類
・アルミニウム	・押出し ・ロール	ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形				・B-1種	※B　・
	・プレス ・	パネル形				・B-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾃﾝｶﾗｰ)	※B　・
						・C-1種	※AA6　・
	・					・C-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾃﾝｶﾗｰ)	※AA6　・
						・D種	

取付け用下地　※標準仕様書14.4による　・図示　・
伸縮調整継手　・設ける（施工箇所　・図示　・　　）　・設けない

⑦ アルミニウム製笠木

(14.7.2、3)(表14.2.1)(表14.7.1)

種類　・250形　・300形　・350形　・100形　⊙図示
表面処理　種別（　D　）種　皮膜等の種類（※標準仕様書14.2.1による　・　　）
着色（・アンバー　・ブロンズ　・ブラック系　⊙ステンカラー）
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ⊙1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・適用しない

⑧ 手すり及びタラップ

(14.8.2、3)

手すり　・ステンレス製　SUS304（表面処理　※HL程度　・No.2B程度　・　　）
⊙鋼製　（表面処理　⊙溶融亜鉛めっきC種(ﾒﾝﾃﾅﾝｽ手摺)　⊙SOP　）
⊙溶融亜鉛めっきA種(2階ﾃﾗｽ、屋上7手摺))
タラップ　・ステンレス製　SUS304（表面処理　※研磨なし　・　　）
⊙鋼製　（表面処理　⊙溶融亜鉛めっきC種　・　　）

手すり強度のグレード

グレード	荷重 N/m	荷重 (kgf/m)	適用する手摺	備考
・ 1	735	(75)		
⊙ 2	980	(100)	メンテナンス手摺	
・ 3	1225	(125)		
・ 4	1470	(150)		
⊙ 5	1960	(200)	吹抜面の手摺	
⊙ 6	2940	(300)	テラス、屋上7の手摺	
・ 7	2940超	(300)超		

⑨ 金属サイディング

働き幅	総幅	厚さ	長さ	表面仕上げ	張り方向
⊙396	⊙430	⊙15	⊙約3.5m～約6.5m	⊙フッ素樹脂塗装	⊙縦張り

⊙木造下地45分準耐火構造
アイジー工業 ガルスパン NEO-J フッ素同等品

⑩ マンホールふた

形式　a 普通鋳鉄ふた　b 化粧鋳鉄ふた(・ﾎｰﾙ用　・ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ用　⊙ｺﾝｸﾘｰﾄ充填)
種類　a 簡易密閉形(簡易防水・防臭)　b 密閉形(防水・防臭)　c 密閉形二重ふた　d 一般形　e 断熱形
寸法・形状　a 450　b 600　c 丸形　d 角形
適用荷重　a T-2　b T-6　c T-14　d T-20　e T-25
附属　a ボルトロック式　b 施錠式　c 鎖付　d 文字入
目地　a 縞状目地　b ステンレス目地

施工箇所	型式	種類	寸法・形状	適用荷重	附属	目地
⊙ 汚水層 ⊙ 雑排水槽	図示	b	b	b	a, d	b
⊙ 雨水利用槽 ⊙ 雑用水槽 ⊙ 井水貯留槽 ⊙ 雨水流出抑制槽 ⊙ 湧水ピット	図示	a	b	b	a, d	b

エポキシ系樹脂塗装による電着又は粉体塗装とする。
防食仕様の水槽に用いるマンホールふたの裏面にも防食塗料を施す。
マンホールタラップ用把手　⊙設置する　・設置しない
受枠の高さ　⊙ 既製品による

⑪ 床吹出口 ﾃﾞﾚｰﾁｯﾌﾟ

アルミニウム製　カネソウフロアルーバーブレーンタイプ　ALV-15 同等品

15 左官工事

1 モルタル塗り

(15.2.2、5)

既製目地材　・設ける　施工箇所（　　）　形状（※図示　・　　）
・設けない
床目地　・設ける（工法※押し目地　・　　）
・設けない
外壁タイル張り下地の均しモルタルの接着力試験　・適用する
・適用しない

② 床コンクリートの直均し仕上げ

(6.2.5)(15.3.2)

下表以外は標準仕様書15.3.2による

施工箇所	平たんさ(mm)	備　考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（パネル構法）範囲	1mにつき10以下	
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（溝構法）範囲	3mにつき7以下	
・		

3 セルフレベリング材塗り

(15.4.2)(表15.4.1)

・せっこう系　・セメント系

④ 仕上塗材仕上げ

(15.5.2)

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
仕上塗材の種類

種　類	呼び名	防火材料	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状（・吹付け・ﾛｰﾗｰ塗り）
	・外装薄塗材E	・	・さざ波状
	・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状
	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状（・吹付け・こて塗り）
	・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状(・吹付け・こて塗り)
	・内装薄塗材C	・	・砂壁状じゅらく
	・内装薄塗材L	・	・京壁状じゅらく
	・内装薄塗材Si	・	吸放湿性　・適用する　・適用しない
	・内装薄塗材E	・	耐湿性　・適用する　・適用しない
	・内装薄塗材W	・	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吹放し　・凸部処理　・平たん状
	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし
	・外装厚塗材E	・	吸放湿性　・適用する　・適用しない
	・内装厚塗材C	・	上塗材　・適用する　・適用しない
	・内装厚塗材L	・	
	・内装厚塗材G	・	
	・内装厚塗材Si	・	
	・内装厚塗材E	・	
⊙複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸模様
	・可とう形複層塗材CE	・	⊙小松エスケー化研 レナラック同等品
	・複層塗材Si	・	上塗材
	⊙複層塗材E	・	耐候性　※耐候形1種　・
	・複層塗材RE	・	溶　媒　※水系　・溶剤系
	・防水形複層塗材CE	・	樹　脂　※アクリル系　⊙フッ素樹脂
	・防水形複層塗材E	・	外　観　※つやあり　⊙つやなし･ﾒﾀﾘｯｸ
	・防止形複層塗材RE	・	エスケー化研 セラタイトF同等品
	・防水形複層塗材RS	・	増塗材　・適用する　⊙適用しない
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材		
	・こて塗用軽量塗材		

⑤ ALCパネルの場合の下地処理

(15.5.4)

内壁目地部の形状　※V形目地付き　・

6 マスチック塗料塗り

(15.6.2)

種別　・A種　・B種（仕上材塗り：EP-G　※B種　・A種）

⑦ ロックウール吹付け

(15.8.2)

ロックウールのホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・
吹付け厚さ(mm)　・図示　・25　⊙40　⊙40×40(共用部アルミサッシュ上部)
施工箇所：免震ピット天井スラブ面
アルミパネル（サッシュ上面）東面
共用部アルミサッシュ上部
⊙100kg/m3
⊙不燃
⊙半乾式

16 建具工事

① 防火戸

※建具表による　・

② 見本の製作等

(16.1.4)

建具見本の製作　⊙行う（建具符号：　AWK5 ）
・行わない
建具見本の程度　・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
⊙枠まり等が分かる程度のもの。建具廻りのALC(両側W600ずつ)、RC壁壁を含めたものとする。
特殊な建具の仮組　⊙行う（建具符号：　AW24 W1860H3430の範囲）
・行わない

③ 防犯建物部品

(16.1.6)

・適用する（※建具表による　・　　）
⊙適用しない

④ アルミニウム製建具

(16.2.2、4、5)(表14.2.1)

性能等級
外部に面する建具　・A種（建具符号：※建具表による　・　　）
⊙B種（建具符号：※建具表による　・　　）
・C種（建具符号：※建具表による　・　　）
防音ドアセット、防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
⊙適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ ⊡ ・適用する　断熱性の等級（　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
⊙適用しない
耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
⊙適用しない
枠の見込み寸法　⊙建具表による　・
表面処理
外部に面する建具　⊙B-1種　・B-2種　・
皮膜等の種類（※標準仕様書14.2.1による　・　　）
着色（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）
屋内の建具　・C-1種　・C-2種　・
皮膜等の種類（※標準仕様書14.2.1による　・　　）
着色（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）
結露水の処理方法　※図示　・
水切り板、ぜん板　※図示　・

5 網戸等

(16.2.3)

種類	材種	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

6 樹脂製建具

(16.3.2～5)

性能等級
外部に面する建具　・A種（建具符号：・建具表による　・　　）
・B種（建具符号：・建具表による　・　　）
・C種（建具符号：・建具表による　・　　）
防音ドアセット、防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（・T-1　・T-2）
（建具符号：・建具表による　・　　）
・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ ⊡ ・適用する　断熱性の等級（・H-4　・H-5　・　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
・適用しない
耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
・適用しない
枠の見込み寸法　・建具表による　・
表面色　※標準色　・特注色
水切り板、ぜん板　※図示　・
ガラス　※複層ガラス　・

⑦ 鋼製建具

(16.2.2)(16.4.2～4)(表16.4.2)

性能等級
簡易気密型　⊙適用する（建具符号：⊙建具表による　・　　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　・S-4種（建具符号：・建具表による　・　　）
⊙S-5種（建具符号：⊙建具表による　・　　）
・S-6種（建具符号：・建具表による　・　　）
防音ドアセット、防音サッシ　⊙適用する　遮音性の等級（⊙建具表による）
（建具符号：・建具表による　・　　）
・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ ⊡ ・適用する　断熱性の等級（　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
⊙適用しない
耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
⊙適用しない

鋼板

材料	めっき付着量	厚さ
⊙JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）	※Z12又はF12　・	・標準仕様書表16.4.2による ・
・JIS G 3317（溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板）	※Y08　・	

⑧ 鋼製軽量建具

(16.2.2)(16.5.2～4)

性能等級
簡易気密型　⊙適用する（建具符号：⊙建具表による　・　　）
・適用しない
防音ドアセット、防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
⊙適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ ⊡ ・適用する　断熱性の等級（　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
⊙適用しない
耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
⊙適用しない
鋼板　※亜鉛めっき鋼板　・ビニル被膜鋼板　・カラー鋼板
鋼板の厚さ　⊙標準仕様書表16.5.1による　・
召合せ、縦小口包み板の材質　※鋼板　・建具表による

⑨ ステンレス製建具

(16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～4)

性能等級
簡易気密型　⊙適用する（建具符号：⊙建具表による　・　　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　・S-4種（建具符号：・建具表による　・　　）
⊙S-5種（建具符号：・建具表による　・　　）
・S-6種（建具符号：・建具表による　・　　）
防音ドアセット、防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（・建具表による）
（建具符号：・建具表による　・　　）
⊙適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ ⊡ ・適用する　断熱性の等級（　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
⊙適用しない
耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
⊙適用しない
鋼板（屋外）　※SUS430J1L、SUS443J1、SUS304　・
鋼板（屋内）　※SUS430、SUS430J1L、SUS443J1、SUS304　・
表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ　・
ステンレスの鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　⊙角出し曲げ

⑩ 木製建具

(16.7.2～4)

建具材の加工、組立時の含水率　※B種　・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・

・フラッシュ戸
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 ⊡	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （※ラワン程度　・　　） 不透明塗料塗り （※しな程度　・　　） 板面の品質（　　） 接着の程度（・1級　・2級）	
・天然木　化粧合板 ⊡	樹種名（　　） 接着の程度（・1級　・2級）	
・特殊加工　化粧合板 ⊡	化粧加工の方法 （・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ・ﾌﾟﾘﾝﾄ・塗装） 表面性能（　　）タイプ 接着の程度（・1級　・2級）	

表面板の厚さ　※表16.7.6による　・

・かまち戸
かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
見込み寸法　※36mm　・建具表による　・
⊙ふすま
張りの種別（・1型　⊙II型）
上張り　・島の子　⊙新島の子又はビニル紙程度　押入等の裏側は雲花紙程度
縁仕上　・塗り縁　・生地縁（素地）　⊙生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法　※19.5mm　⊙建具表による　・
・戸ぶすま
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
・紙張り障子
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

枠、くつずりの材料　⊙建具表による　・

16.02.25

日本設計

竣工図	/16.02.16	保管 / . .	承認 / . .
検図	/16.02.12	確認	/ . .
製図	/16.02.05	作成(建築士)	/ . .

訂正　特記

設計	1級建築士登録第206250号	大坪　泰 印
設計	1級建築士登録第286712号	篠崎康志 印
設計	1級建築士登録第354901号	長友直子 印

桶川市新庁舎建設工事

図面名称：特記仕様書3
縮尺：－

TOK.DWG
／ 枚ノ内 図面番号 1005
区分 建築(総合)

① 建具用金物

金物の種類・見え掛り部の材質 (16.8.2、3)
※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による ・
樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3による ・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ⊙建具表による ・

⑫ 鍵 (16.8.4)

マスターキー ⊙製作する ・製作しない
その他の鍵 ※各室3本1組 ・
鍵箱 ※有り ・無し

⑬ 自動ドア開閉機構 (16.9.2、3)

自動ドア	性能	防錆	センサーの種類	漸錠防止
・SSLD-1 ⊙SSLD-2 ⊙DSLD-1 ・DSLD-2	※標準仕様書表16.9.1による ・	⊙適用する ・適用しない	・マットスイッチ ⊙光線（反射）スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ⊙多機能トイレスイッチ	・行う （適用箇所は建具表による） ⊙行わない
・SWD-1 ・SWD-2	※標準仕様書表16.9.2による ・			
・図示	・			

⑭ 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)

性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・

⑮ 重量シャッター (16.11.2、3)

シャッターの種類	耐風圧強度
・一般重量シャッター	耐風圧強度（ ）N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧強度（ ）N/㎡
⊙屋内用防火シャッター	
⊙屋内用防煙シャッター	

開閉機能による種類 ⊙上部電動式（手動併用） ⊙上部手動式
一般重量シャッターのシャッターケース ⊙設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
⊙JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・

16 軽量シャッター (16.12.2～4)

開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度（ ）N/㎡
スラットの材質
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量 ※Z06又はF06 ・
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板）
めっきの付着量 ※Z90 ・
スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

17 オーバーヘッドドア (16.13.2、3)

セクション材料による区分	耐風圧区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

⑱ ガラス

⊙建具表による (9.7)(16.14.2～4)(表16.14.1)

・合わせガラス

品種	構成種類	性能
・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅱ-1類・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類

・強化ガラス

材料板ガラスによる種類	種類	性能
・フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・Ⅰ類 ・Ⅲ類
・型板ガラス	・型板強化ガラス	

・熱線吸収板ガラス

品種	性能	色調
・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入磨き板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ

・複層ガラス

品種	断熱性	日射熱遮へい性
・断熱複層ガラス	・1種	U1
	・2種	U2
	・3種	U-3-1 ・U-3-2
・日射熱遮へい複層ガラス	・4種	E4
	・5種	E5

・熱線反射ガラス

品種	日射遮へい性	耐久性
・熱線反射ガラス 色調（・ブルー ・グレー）	・1種	A種
	・2種	・A種 ・B種
・高性能熱線反射ガラス 色調（・ブロンズ ・シルバー）	・3種	B種

反射被膜面 ・内面 ・外面
映像調整 ・行わない ・行う

・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色調
・フロート倍強度ガラス	－
・熱線吸収倍強度ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	※標準仕様書表16.14.1による ・図示 ・

鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	※標準仕様書表16.14.1による ・図示 ・
ステンレス製	⊙シーリング材 ・	※標準仕様書表16.14.1による ・図示 ・

⊙ 飛散防止フィルム 3Mスコッチティント ウィンドウフィルム SH2CLAR 同等品
施工箇所：下記以外
⊙ 飛散防止フィルム 3Mスコッチティント イルミナ FAS-SH4FG1MX 同等品
施工箇所：SW-23、SW-24

19 ガラスブロック (16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 クリア	色調 乳白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能
・正方形	・125×125	80	・	・	※8～15 ・15～25 ・	外側 ※15以下 ・ 内側 ※6以上 ・	※6m以下ごとに10～25 ・図示 ・	※無し ・有り
	・160×160	・95 ・125	・	・				
	・200×200	・95 ・125	・	・				
	・320×320	95	・	・				
・長方形	・250×125	80	・	・				
	・320×160	95	・	・				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材 ・設ける（形状 ※図示 ・ ）
・設けない
力骨 材質 ※ステンレス鋼（SUS304） ・
寸法 ※径5.5mm ・
形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・
化粧目地モルタルの色（ ）
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ※図示 ・
形状 ※図示 ・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない

目地部の力骨の補強方法
※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示 ・

⑳ 危害防止機構 (16.11.2)(16.12.2)(16.13.2)

感知器からの信号を受けて自動的に閉鎖する防火または防煙ｼｬｯﾀｰには、「防火ｼｬｯﾀｰ閉鎖作動時の危害防止ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」（社）日本ｼｬｯﾀｰ工業会 平成10年10月）における危害防止機構として、当該ｼｬｯﾀｰ最下部の座板に設置する感知板が人に接触すると同時に閉鎖動作を停止させ、その後、人がいなくなった時に再び降下を開始し、完全に閉鎖させるよう自動閉鎖装置へ信号を送る障害物感知装置を設ける。
ただし、吹き抜けに面する等、ｼｬｯﾀｰ降下中のくぐり抜け行動が想定されないものは除く。
危害防止機構の不設置箇所 ※図示 ・全てのｼｬｯﾀｰ ⊙なし（全てのｼｬｯﾀｰに設置）

17 カーテンウォール工事

1 取付方法、性能等 (17.1.3)(17.2.2)(17.3.2)

取付方法 ・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スパンドレル方式 ・
性能

耐震性能 水平方向(kH)	耐震性能 垂直方向(kV)	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐湿度差性(℃)
・1.0 ・	・0.5 ・					・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60

耐風圧性能
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない

主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離(h)	耐風圧性能	状態
4m以下	・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること ・	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。
4mを超える	・	

層間変位追従性

建築物の構造種別	層間変位量(h=支点間距離)	変位後の状態
鉄骨造	・±(1/200)×h以上	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	・±(1/300)×h以上 ・	ｼｰﾘﾝｸﾞは補修程度の損傷であること。

シーリング材
下表以外は標準仕様書表9.7.1による

被着体の組合せ		シーリング材の種別 記号	シーリング材の種別 主成分による区分
金属	ガラス		
	石、タイル		
ガラス	ガラス		
カーテンウォール板間目地			

構造用ガスケット
・適用する（施工箇所 ・図示 ・ ）
材質 ・クロロプレン系 ・EPDM系 ・シリコーン系
形状 ・H型 ・V型 ・C型
寸法(mm) ガラス板厚（ ）、支持枠の厚さ（ ）、ウェブの寸法（ ）
・適用しない

断熱材 ⊡
種類（ ）
厚さ(mm)（ ）
施工箇所 ・図示 ・

耐火材料

施工部位	種 別	規格帯
・ファスナー部		
・取付ブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

2 メタルカーテンウォール

カーテンウォールの材料

材料	規格等		映像調整
※アルミニウム製	※標準仕様書16.2.3による ・	・A-1種 ・A-2種 ・ 皮膜等の種類(※標準仕様書表14.2.1による ） 着色（・ｱﾝﾊﾞｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ ・ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）	・行う ・行わない

製品及び取付位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1～3による
ガラス溝の寸法、形状 ※製造所の仕様による ・

3 PCカーテンウォール (17.3.2～5)

カーテンウォールの材料
コンクリート ※標準仕様書17.3.2(a)(ⅰ)～(ⅳ)による ・
鉄筋 ※SD295A（・D13 ・D10）
補強鉄線の径(mm) ※3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0
配筋 ※図示
先付けの材料 ・サッシ枠 ・ゴンドラ用ガイドレール
表面仕上げ材 ・磁器質タイル
・石材（・花こう岩 ・大理石 ・ ）

ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
・h=-1～+2、W1及びW2=±1
製品及び取付位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.3.1～2による

18 塗装工事

① 材料 (18.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）

② 素地ごしらえ (18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種
	透明塗りの場合	※B種 ・A種
鉄鋼面		※C種 ・A種 ・B種
亜鉛めっき鋼面		⊙A種 ・B種 ・C種
モルタル面及びプラスター面		※B種 ・A種
コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面		※B種 ・A種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：離目処理工法	※A種 ・B種
	目地：離目処理工法以外	※B種 ・A種

③ 錆止め塗料塗り (18.3.2、3)

下地面等		工程の種別	塗料の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	※A種 ・B種	
	見え隠れ部分	※B種 ・A種	
亜鉛めっき面	鋼製建具	※A種 ・B種 ・C種	・A種 ・B種
	鋼製建具以外	※C種 ・A種 ・B種	・C種

④ 塗装 (18.4.1～18.14.2)

塗装		種別	塗料の種類
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種 ・B種	※1種 ・2種
	木部屋内	※B種 ・A種	※1種 ・2種
	鉄鋼面	※B種 ・A種	※1種 ・2種
	亜鉛めっき鋼面	—	※1種 ・2種
・クリヤラッカー塗り（CL）		※B種 ・A種	—
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)		※B種 ・A種	—
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	—	上塗り等級（ ）級
	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り等級（ ）級
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A種 ・B種 ・C種	上塗り等級（ ）級
⊙つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種 ・A種	—
	屋内の鉄鋼面	※B種 ・A種	—
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種 ・A種	—
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種 ・A種	—
⊙ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種 ・A種	—
・ラッカーエナメル塗り(LE)		※B種 ・A種	—
・オイルステイン塗り(OS)		—	—
⊙木材保護塗料塗り(WP)		※B種 ・A種	—

⊙ フッ素樹脂塗装（カラークリア）
日本ペイントデュフロンⅡスーパーフレッシュカラークリア同等品
関西ペイントアレスガードNFカラークリア同等品
⊙ 撥水材塗布
日本ペイント水性シリコン浸透ガード同等品
⊙ 2液形ポリウレタン樹脂エナメル塗り(2-UE)
施工場所：市民活動室、情報コーナー、コミュニティFM局スペース 木巾木
⊙ アクリルシリコン樹脂ワニス塗り(2-ASC)エスケー化研 リリカタイトクリヤー同等品
施工場所：外部 硬質木片セメント板
屋上、屋根面の金属面に塗装する場合の塗料は高日射反射率塗装（⊡）とする。
・高日射反射塗料塗り ⊡
下地調整（改修標準仕様書7.2.2） ・RA種 ・RB種 ・RC種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量(kg/㎡)
塗料塗り	JIS K 5675	耐候性屋根用塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

⑤ 防塵塗装

⊙ 水性型アクリル樹脂系防塵床塗料
施工箇所：FAフロアトスラブ、PS、DS、DPS 施工前にエフロレッセンス除去をすること。
ABC商会ｕＫクリアコートｆｌｏｏｒ（ﾌﾛｱ）同等品
⊙ ケイ酸塩系コンクリート表面強化材
施工箇所：上記以外の 施工前にエフロレッセンス除去をすること。
ABC商会シリケートハードナーJP同等品

19 内装工事

① 接着剤 (19.2.2)

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

② ビニル床シート ⊡ (19.2.2、3)

種類	JIS記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ(mm)	備考
⊙発泡層のないもの	※FS（複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ） ・	⊙図示	⊙無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ柄	・帯電防止 ・耐動荷重性	※2.0 ・	
・発泡層のあるもの	・		・無地 ・柄物	・防滑性 ・耐薬品性		

工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ）
特殊機能
帯電防止 ・帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満
又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10^{7} ～1×10^{10}Ω程度
・

③ ビニル床タイル ⊡ (19.2.2)

JIS記号	施工箇所	色柄	寸法	特殊機能	厚さ(mm)	備考
・FT（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・2.5 ・3.0	
・KT（ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	・2.0 ・3.0	
⊙FOA（発泡ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	EPS	⊙無地 ・柄物	⊙500×500	⊙帯電防止 ・防滑性	⊙ 5.0	

⊙田島ルーフィングレイフラットタイルLF-2000同等品

特殊機能
帯電防止 ⊙帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満
又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10^{7} ～1×10^{10}Ω程度

④ ビニル幅木 (19.2.2)

材質 ⊙軟質 ・硬質
高さ(mm) ※60 ・75
厚さ(mm) ※1.5以上 ・

5 ゴム床タイル (19.2.2)

色柄（ ）
厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm)（ ）

⑥ カーペット敷き ⊡

・織じゅうたん (19.3.3)(表19.3.1)

種別	パイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考
・A種 ・B種 ・C種	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀｯﾌﾄﾞﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ｱｷｽﾐｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・無地 ・柄物 （標準品）	・適用する （性能：※人体帯電圧3kv以下 ・ ） ・適用しない	

下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm ・

・タフテッドカーペット (19.3.3、4)

パイル形状	パイル長(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7 ・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	・適用する （性能：※人体帯電圧3kv以下 ・ ） ・適用しない	
・ループパイル	・4～6 ・			
・レベルループパイル	・4 ・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材（グリッパー工法の場合）
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm ・

・ニードルパンチカーペット (19.3.3、4)
厚さ(mm)（ ）帯電性 ・適用する（性能：※人体帯電圧3kv以下 ・ ）
・適用しない
備考（ ）

⊙タイルカーペット (19.3.3、4)

パイル形状	種 別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備 考
※ループパイル	※第一種	市長室、3階応接室、議場	※500× 500	⊙ 8.0	上級1
	・第二種	全員協議会室、委員会室、議長室		⊙ 7.5	上級2
・カットパイル	※第一種 ・第二種	副市長室、教育長室、4階応接室		⊙ 6.5	上級3
・カットループ併用	※第一種 ・第二種	上記以外		⊙ 6.5	上記以外

田島ルーフィング タピス レフィーナ同等品(上級1)
タピス ミーナ 同等品(上級2)
タピス セレクトRX同等品(上級3)
タピス ファイン同等品(上記以外)

タイルカーペットの敷き方 平 場 ⊙市松敷き ⊙目地流し ・
階段部分 ※模様流し ・市松流し ・
見切り、押え金物 ・適用する（材質、形状等 ※図示 ・ ）
⊙適用しない

⑦ 合成樹脂塗床 (19.4.2、3)(表19.4.1～7)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
⊙厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床	AC、熱源機械室 受水槽室、消火ポンプ室、ごみ置場、ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ室 電気室、機械室		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ ⊙ABC商会 ｶﾗｰﾄｯﾌﾟDL同等品
⊙厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床	⊙ごみ置場	⊙薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ⊙防滑仕上げ ⊙ABC商会 ｶﾚｷﾗｰﾄE同等品
・薄膜型塗床材			
・ｱｸﾘﾙ樹脂塗床 （JIS K 5970）			工程 塗布量(kg/㎡) ・ 表面仕上げ ・平滑 ・防滑 溶剤 ・水性色 ・溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色 ・

塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

16.02.25

竣工図	保管 ／ ． ． 承認 ／ ． ．	/16.02.16
	確認 ／ ． ．	
検図	作成(担当者) ／ ． ．	/16.02.12
製図		/16.02.05

訂正 ．
．
．
．
．
．

特記

設計	1級建築士登録第206250号	大坪 泰 印
設計	1級建築士登録第286712号	篠崎康志 印
設計	1級建築士登録第354901号	長友直子 印

日本設計

桶川市新庁舎建設工事

図面名称 特記仕様書4

縮尺 －

TOK.DWG

枚ノ内 図面番号 1006

区分 建築(総合)

⑧ フローリング張り

単層フローリング (19.5.2～7)(表19.5.1～6)

種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ	・釘留め工法(根太張り)	※なら・	15	板幅75 板長さ500以上	・塗装品 ・無塗装品	・
	・釘留め工法(直張り)	※なら・	・12以上・	板幅75 板長さ500以上		・
	・接着工法	※なら・	・12以上・	板幅75 板長さ500以上		
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ	・接着工法	※なら・	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	・
	・モルタル埋込工法	※なら・	※15・	※303×303・	・塗装品 ・無塗装品	・
・ﾓｻﾞｲｸﾊﾟｰｹｯﾄ	接着工法	・	・	・	・塗装品 ・無塗装品	・

天然木化粧複合フローリング

種類	工法	樹種	厚さ/大きさ(mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用
⊙複合1種ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ ・複合2種ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ ・複合3種ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	⊙釘留め工法(根太張り) ・釘留め工法(直張り)	※なら ⊙タモ	須製床下地：厚15mm 木下地部：厚12mm 突き板の厚み：2mm	・A種 ・B種 ※C種	⊙適用する ・適用しない	⊙塗装品 ・無塗装品	・
	・接着工法	※なら・	板厚 ・8以上・ 板幅 ・75以上 板長さ 900以上				・

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外
接着工法の場合の破断材　※合成樹脂発泡シート　・
現場塗装仕上げ　・行う（施工箇所　　）
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り
・行わない　(19.6.2)(表19.6.1)
種別　・A種　・B種　⊙C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ・KT-Ⅲ・KT-K・KT-N）
下地の種類　・標準仕様書　表12.6.1による床組
⊙ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン　⊡）
・

⑨ 畳敷き

畳表及び畳床にホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

⑩ せっこうボードその他のボード張り

(19.7.2、3)(表19.7.1)

種　類	JIS記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板 G	HW	・15 ・20 ・25 ・
・中質木毛セメント板 G	MW	・15 ・20 ・25 ・
・普通木毛セメント板 G	NW	・15 ・20 ・25 ・
⊙硬質小片セメント板 G	HF	⊙12 ・15 ・18 ・31 ・ ニチハセンチュリー 耐火野地板無塗装品同等品
・普通小片セメント板 G	NF	・30 ・
⊙けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2（無石綿）　・6　⊙8 ⊙15(耐火被覆用)
・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ（・9(不燃)　・12　・　） ・凹凸タイプ（・12(不燃)　・15　・19　・　）
・ロックウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	RW-B	・25 ・
⊙グラスウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32K	GW-B	⊙25(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包) ⊙ 額縁張り ﾏｸﾞ・ｲｸﾞﾍﾟｰﾙ株式会社ﾏｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ薄手ｶﾞﾗｽｸﾛｽﾀﾞﾚｰ貼り同等品
⊙せっこうボード	GB-R	※12.5（不燃）　・15（不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）　化粧無（下張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
⊙シージングせっこうボード	GB-S	12.5（不燃）
⊙強化せっこうボード	GB-F	⊙12.5（不燃）・15（不燃）　⊙21（不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード(木目)	GB-D	12.5（不燃）　幅440mm程度 模様(・柾目　・板目)専用下地材有り
・化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	GB-D	9.5（準不燃）
・普通合板 G		表面の材質 生地、透明塗料塗り （※ﾗﾜﾝ程度　・　　） 不透明塗料塗り （※しな程度　・　　） 板面の品質（　　） 厚さ(mm)（　　） 接着の程度（　　） ・防虫処理　・難燃処理　・防炎処理
・天然木化粧合板 G		樹種名（　　） 接着の程度（・1類　・2類） 厚さ(mm)（　　） ・防虫処理　・難燃処理　・防炎処理
・特殊加工化粧合板 G		化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装） 表面性能（　　）タイプ 接着の程度（・1類　・2類） 厚さ(mm)（　　） ・防虫処理　・難燃処理　・防炎処理
⊙メラミン樹脂化粧板		JIS K6903による（※1.2　・　　）
・ｴﾎﾟｷｼｽﾁﾚﾝ樹脂化粧板		
・ﾃｸﾞﾁｽﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ G	MDF	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード G		・無研磨板VN　・研磨板VS ・10　・12　・15　・18　・
・化粧パーティクルボード G		・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲDV　・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲDO ・塗装DC ・10（難燃）　・12（難燃）　・
・ハードボード(素地) G	HB	・未研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）RN ・研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）RS
・ハードボード（化粧） ⊡		・内装用DI　・外装用DE ・2.5　・3.5　・5　・7
・インシュレーションボード G	IB	A級（・天井仕上　・内装仕上　・　　） ・9　・12　・15　・18
⊙硬質せっこうボード	GB-H	⊙9.5（不燃）
⊙孔あきせっこうボード	GB-H	⊙12.5（不燃）
⊙グラスウール吸音ボード32K	GW-B準	⊙25　⊙図示（ESC廻り） ⊙ 厚手ガラスクロス包　⊙ 額縁張り 施工箇所：全員協議会室 ﾏｸﾞ・ｲｸﾞﾍﾟｰﾙ株式会社ﾏｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ厚手ｶﾞﾗｽｸﾛｽ白貼り同等品

⊙硬質せっこうボード　GB-H　⊙9.5
⊙化粧けい酸カルシウム板　⊙6.0　ニチアス アスラックス200同等品(シーリング工法)
せっこうボード等の下地は図示による。

遮音シール材　⊙適用する（⊙シーリング材　・ジョイントコンパウンド）
・適用しない
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
合板類の張付け　※B種　・A種
せっこうボードの目地工法　・仕上げ表による　◯目地処理工法（ベベルエッジ）
・目透かし工法
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・　(19.8.2、3)

⑪ 壁紙張り

施工箇所	壁紙の種類 紙	織物	ｸﾞﾗｽﾌｧｲﾊﾞｰ	難燃質	その他	防火性能	備考
議場	・	⊙	・	・	・	・不燃⊙準不燃	上級1
議長室、全員協議会室、委員会室	・	⊙	・	・	・	・不燃⊙準不燃	上級2
副市長室、教育長室、4階応接室	・	⊙	・	・	・	・不燃⊙準不燃	上級3
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	

上級1：川島織物セルコン　シャウラ同等品
上級2：川島織物セルコン　つげの同等品
上級3：川島織物セルコン　ディフダ同等品
その他：川島織物セルコンアークトゥルス同等品

モルタル、プラスター面の素地ごしらえ　※B種　・A種
コンクリート・ALC面の素地ごしらえ　※B種　・A種
せっこうボード面の素地ごしらえ　※B種　・A種

⑫ 断熱材 G

(19.9.2、3)
ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
・断熱材打込み工法

種類		厚さ(mm)	施工箇所
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材		・	
⊙押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材	・保温板(2種b)	・25 ⊙35	⊙一般部分　・
	・保温板(3種b)(ｽﾁﾝｸﾞﾚｰあり)	・25・ ・	・接地部分　・
・A種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材		・	
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ保温材(3種2号を除く)		・	

⊙断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　※A種1　・B種1
厚さ(mm)　・25　・30　・
施工箇所　⊙天露層天井スラブ面

⊙グラスウール断熱材 10K t105
施工箇所：金属屋根下地　⊙不燃
⊙不燃断熱材　エスケー化研 セラミライトエコG同等品(着色仕上げ)
施工箇所：1階天井スラブ面

20 ユニット及びその他工事

① フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構　法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上げ材	備　考
下記以外	⊙ﾊﾟﾈﾙ構法 ・溝構法	⊙500×500 ・	100	・1.0G ⊙0.6G	⊙3,000 ・5,000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ⊙ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	
電算室	⊙ﾊﾟﾈﾙ構法 ・溝構法	⊙500×500 ・	100	・1.0G ⊙0.6G	・3,000 ⊙5,000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ⊙ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	
ＥＰＳ	⊙ﾊﾟﾈﾙ構法 ・溝構法	⊙500×500 ・	100	・1.0G ⊙0.6G	⊙3,000 ・5,000	⊙帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(b)(5)(ⅰ)～(ⅲ)による　・
厚さ　±0.5mm
平坦度　パネル周辺部　1.0mm以下
図心と各頂点を結ぶ線上部　2.0mm以下

表面仕上げ材の品質、性能は、標準仕様書19章による。
構成材の材質　・アルミニウム製　⊙鋼製（仕上げ：中空(所定荷重3000N)、無機室充填(荷重5000N)）

スロープ及びボーダー　⊙製造所の仕様による　・図示
配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　⊙0～30パーセント　・
配線用取り出し開口　⊙パネル１枚につき、40mm×80mm程度の開口１箇所以上
・図示
空調用吹き出し（吸い込み）パネル　⊙なし　・あり（形式、施工箇所：図示）

② 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	構成基材の種類 ｽﾀｯﾄﾞ	パネル	総厚さ(mm)	表面仕上材 材質	厚さ(mm)	ﾊﾟﾈﾙ表面仕上げ	遮音性(db/500HZ)	防火性能
・スタッド式（内臓） ・スタッド式（露出） ・パネル式 ・スタッドパネル式				・鋼板 ・	・0.6 ・0.8	・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又は ｱﾙﾐﾆｳﾑ樹脂焼 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具　・あり（※図示　・　）　・なし
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。

③ 移動間仕切

(20.2.4)

構造形式	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ(mm)	表面仕上材 材質	パネル表面仕上げ	遮音性(db/500HZ)
⊙平行方向移動式 ・二方向移動式	⊙手動式 ・電動式 ・部分電動式	⊙プッシュ式 ・ハンドル式 ・	⊙67 ⊙50	⊙鋼板 ⊙MDF	⊙焼付塗装 ⊙壁紙張り	⊙36以上 ⊙36未満

小松ウォール 60GS-P同等品　施工箇所（会議室）
50VB-P同等品　施工箇所（議員控室）

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500HZの音についての透過損失とする。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の５倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
・図示

④ トイレブース

(20.2.5)

表面材の種類	脚部形状	ドアエッジ 形状	材質
⊙メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	・標準 ⊙R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ⊙表面材と同材

⑤ 視覚障害者用床タイル

(11.2.2)(19.2.2)

施工箇所		種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
屋内		・塩化ビニル製	・300×300・	・7.0　・
		・磁器質タイル・せっ器質タイル	・300×300・	・
		・レジンコンクリート製・コンクリート製	・300×300・	・
屋外		・磁器質タイル・せっ器質タイル	・300×300・	・
		・レジンコンクリート製・コンクリート製	・300×300・	・
屋外屋内	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ通路	⊙誘導鋲　SUS製	⊙300×300・	・

ブロックパターンは、JIS T 9251による。
ユニオン UY300-54-206同等品　UY302-54-206同等品

⑥ 階段滑り止め

(20.2.6)

材質	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド	
⊙ステンレス(SUS304)ビニルタイヤ入り	⊙約35 ・	※接着工法 ・埋込み工法 ﾌﾟﾛｯﾌﾟﾊﾟﾀｰﾝは、JIS T 9251による。	⊙あり	⊙ビニル製 ・ステンレス製
			・なし	―

⑦ 手すり

材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
⊙集成材	⊙クリアラッカー　・	⊙38 ・45	階段3	
・ステンレスパイプ	・HL　・			
⊙鋼製パイプ	・EP-G　・SOP　⊙ 溶融亜鉛メッキ	⊙38 ・45	階段1	1階
⊙ビニル製ハンドレール	・	⊙34	階段1,2	

8 黒板及び ホワイトボード G

(20.2.8)

種　類	寸法(mm)	色　彩	形式	
・黒板	※焼付け ・	※緑 ・黒	※平面 ・曲面	・スクリーン付引分 ・
・ホワイトボード	ほうろう	白	※平面 ・曲面	・スクリーン付引分 ・

⑨ 鏡

(20.2.9)
取付箇所（　便所・更衣室　）
寸法(mm)　⊙図示　・
厚さ(mm)　※ 5（ｶﾞﾗｽ）下記以外
⊙ 3（SUS）便所 姿見

⑩ 表示

(20.2.10)

区分	材質	寸法(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)	備考
⊙断突防止表示（・両面⊙片面）	・ステンレス製 ⊙図示	・30φ ⊙図示	・市販品 ・	・図示 ⊙L=900	ドットプリント@50
⊙室名札	・アクリル板 ⊙図示	⊙図示 ・	・5 ⊙図示	⊙図示 ・	
⊙ピクトグラフ	・アクリル板 ⊙図示	⊙図示 ・	・5 ⊙図示	⊙図示 ・	
⊙とびら番号	・アクリル板 ⊙図示	⊙図示 ・	・5 ⊙図示	⊙図示 ・	
⊙庁舎案内板	・アクリル板 ⊙図示	⊙図示 ・	・5 ⊙図示	⊙図示 ・	
⊙各階案内板	・アクリル板 ⊙図示	⊙図示 ・	・5 ⊙図示	⊙図示 ・	
・					

案内用図面記号はJIS　Z　8210による。
誘導標識、非常用進入口等の表示は市販品とする。
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。

11 煙突ライニング

(20.2.11)
・煙突用成形ライニング材
適用安全使用温度　・400℃　・650℃　・
・キャスタブル耐火材
煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする。

12 ブラインド

(20.2.12)

形式	操作方法	種　類	スラットの材質	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材質	寸法・取付箇所
・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・
	・電動	―				
・縦形	・手動	※２本操作ｺｰﾄﾞ式 ・１本操作ｺｰﾄﾞ式	・アルミスラット ・クロススラット ・	・80 ・100	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	・図示 ・
	・電動	―				

アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品をしようする場合（C□）

13 ロールスクリーン

(20.2.13)

材質	操作方法	遮光性	寸法(mm)	取付箇所	備考
・ポリエステル ・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・１級 ・２級 ・３級	・図示 ・	・図示 ・	

巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による。

14 カーテン

(20.2.14)

形式		開閉方式	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ｱｰﾚｰひだ、片ひだ		・図示 ・	
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ｱｰﾚｰひだ、片ひだ		・図示 ・	

使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品については、G とする。
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

15 カーテンレール

(20.2.14)
材種　※アルミニウム製　・ステンレス製
形式　・シングル　・ダブル
・片引き　・引分け

⑯ ブラインドボックス及びカーテンボックス

強さによる区分　※10～90　・
仕上げ　※アルミマイト　・
形状　※角形　・

溝型×深さ(mm)　・90×150　・120×80　・120×150　・150×80　・図示
材質　・集成材（仕上げ：　　）
・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
表面処理・C-1
・C-2（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）
・
皮膜等の種類　※標準仕様書表14.2.1による　・
⊙鋼製（仕上げ：焼付塗装 ）

17 天井点検口

材質	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	・450×450 ・600×600 ・	・一般形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ ・目地タイプ
		・気密形			

⑱ 床点検口

材質	寸法	形式		備考
⊙アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	⊙450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ⊙屋内用	・鍵付き ・2階鋼製床部

⑲ 耐震スリット

方　向	タ　イ　プ	耐火性能	防水性能	備考
⊙垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）	⊙耐火型 ・非耐火型	⊙有り ・無し	

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・シーリング材（見え掛かりのみ） ⊙図示	⊙シーリング材（見え掛かりのみ） ・シーリング材（内外とも）
目地寸法(mm)	※２０×１０　⊙ 25×10	※２０×１０　⊙ 25×10

目地材の材質は標準仕様書表9.7.2による。

⑳ 止水版

形状　・差込式　・据置式　・壁張り式
施工箇所　・図示　・
必要な箇所に適宜見込むこと。

㉑ エキスパンション・ジョイント金物

材種	クリアランス	耐火性能	備考
⊙アルミニウム製 ⊙ステンレス製	・50　・100 ・150　⊙550	⊙有り（ 2時間 ） ・無し	

外部は防水型とする。
ABC商会　アーキパンションMシリーズ同等品
床:モルタルシップタイプ　天井:リストアップタイプ　壁:ポップアウトタイプ

22 くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製 ・	・ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金 ・	

㉓ 流し台ユニット

材種	寸法(mm) W	D	H	備考
⊙流し台	⊙1200 ・1500 ・1800	⊙550 ・600 ・650	⊙800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
⊙つり戸棚	⊙1200 ・900	・450 ⊙380	・500 ⊙700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	―	―	市販品 ステンレス製 ・１段式　・

品質・性能　JIS　A　4420による。
形状　※図示　・

㉔ 旗竿

材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考
⊙アルミニウム合金製 ・	⊙テーパー式 ・同一断面式	5,000	⊙ハンドル式 ・ロープ式	⊙埋込式 ・ベース式 ・バンド式	3本

25 旗竿受金物

材種　・ステンレス製（SUS304）　・

㉖ 車止め支柱

形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
⊙上下式鎖内臓式 ⊙スプリング式	⊙ステンレス製 ・	⊙φ114	⊙700
・			

㉗ フェンス

フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
⊙樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ　・図示　・

28 プレキャスト コンクリート

(20.3.3～4)
コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m3を満足する調合強度
・図示
配筋
※配筋を定めた計算書を監督員に提出する。
・図示
取付け方法
※図示

16.02.25

29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み

(20.4.2～3)

材種		種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・軟石岩	－	－	
・コンクリート間知ブロック	－		・A　・B	

積み方　※谷積み　・布積み
目地り　・図示　・伸縮目地
材種　・図示　・
厚さ　・図示　・

30 鋼製書架及び物品棚

種　類	規　格　等	ＪＩＳによる種類
・鋼製書架	JIS　S　1039の規格による	・１種　・２種　・３種
・鋼製物品棚		・４種　・５種　・６種　・

31 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

32 洗面カウンター

材種　⊙メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）　・人工大理石
奥行き(mm)　・約450　⊙約600

33 防煙垂れ壁

⊙固定式

材　質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備　考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ⊙FL+2100～梁下まで	アルミ製枠付き

・可動式

種　類	材　質	高さ(mm)	備　考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

34 屋外掲示板

照明器具　※有り　⊙無し
施　錠　※有り　・無し
製 造 所（　　）

35 収納家具

材質、形状・寸法　※図示　・
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・

36 シャワーユニット

施工箇所	寸法	備　考
2階女子脱衣室 2階男子脱衣室	⊙ 0808 ・ 0812	L1X1L SPB-0808SBEL同等品

37 ベビーシート　施工箇所:だれでもトイレ(各1ヶ所)　TOTO YKA25同等品
38 ベビーチェア　施工箇所:だれでもトイレ(各1ヶ所)　TOTO YKA15同等品
39 多目的シート　施工箇所:1,2階だれでもトイレ(各1ヶ所)　TOTO EWC500S同等品
40 ﾌｨｯﾃｨﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ　施工箇所:1階女子便所、2～5階女子便所1(各1ヶ所)　TOTO YKA40同等品
41 避難器具　施工箇所:3階、4階執務室　：救助袋　石川商工　セフティ垂直降下方式WA型同等品
施工箇所:市民活動室　：緩降機　石川商工　オリロー緩降機同等品
42 鄙便受箱　施工箇所:通路　四島メタルワーク MX-13HL同等品　:TOTO T114CU2同等品
43 トイレ内手すり　小便器用手すり　1階男子便所、2階男子便所1
上記以外　:TOTO T112CU2同等品
だれでもトイレ　TOTO T112CL11同等品
TOTO T112HK7同等品
44 竣工銘板、定礎箱　竣工銘板の材質：SUS　竣工銘板の寸法：300×400
定礎箱：埋め込み　定礎箱の寸法：300×400×300　設置位置：屋外告示板付近協議による
SUS2B
45 木デッキ　⊙帯電防止仕様　材種：人工木材　三洋工業 サニーデッキNSR同等品
46 ピクチャーレール　⊙アルミニウム製押出型材(◯着色　・無着色)
耐荷重　⊙ 70kg/ﾌｯｸ　フックは0.5mあたり1ヶ所とし、最低3ヶ所見込むこと。
47 消火器ボックス（屋外用）　屋上5：床面へ固定すること。　ナカ工業　NHD-1150G同等品
48 ｺｰﾅｰｶﾞﾄﾞﾚｰﾙ　施工箇所:ピロティ駐車場　材料の種別　⊙ 合成ゴム　ナカ工業NPC-6565V(L=2000)同等品
49 ポールキャスター　施工箇所:階段1・2・3　タキゲンK-142-80同等品　許容荷重784N
50 ﾌﾞﾗｯｼﾞｴｯﾀ吊金物下地　4-M16ボルト　施工箇所：災害対策本部1箇所
51 ｽﾋﾟｰｶｰ吊金物下地　10-M16ボルト　施工箇所：災害対策本部1箇所
52 ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ吊金物下地　4-M16ボルト　28箇所
53 湧水マット　ダウ化工　ドースイライナー同等品
54 吊フック　施工場所：だれでもトイレ各2ヶ所　TOTO YKH20R同等品
55 背もたれ　施工場所：だれでもトイレ各1ヶ所　TOTO EWC38SCS同等品
56 調乳用温水器　施工場所：授乳室 各1ヶ所
コンビウィズ Combi調乳用温水器CH22-3(シンク一体タイプ)同等品

21 排水工事

① 排水管

(21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)

排水管用材料

材種	管の種類	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（１種） ・	・B形管 ・	※図示 ・	
・硬質ポリ塩化ビニル管	⊙ＶＰ		※図示　・	
	・ＶＵ		※図示　・	
	・RS-VU G		※図示　・	

基床の厚さ及び種類　・図示　・
砂地業に用いる材料　※標準仕様書(21.2.3)(a)(1)　・図示
砂利地業に用いる材料　※標準仕様書(21.2.3)(a)(2)　・図示
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※接着剤　・
コンクリート基礎等に用いる材料
※標準仕様書(6.14)
設計基準強度18N/mm2とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比）
セメント１：砂２：砂利４程度とする。
・図示

② 側溝、排水桝等

(21.2.2)

側溝、排水桝等
形状及び寸法　⊙図示　・
砂地業に用いる材料　※標準仕様書(21.2.3)(a)(1)　・図示
砂利地業に用いる材料　※標準仕様書(21.2.3)(a)(2)　・図示
コンクリート基礎等に用いる材料
※標準仕様書(6.14)
設計基準強度18N/mm2とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比）
セメント１：砂２：砂利４程度とする。
・図示

③ 鋳鉄製ふた

(21.2.2)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ⊙密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） ・RS-VU G	⊙Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ⊙Ｔ－２０用 ・	⊙有り ・無し	左記以外の品質等は、空気調和・衛生工学会規格SHASE-S209による。

④ グレーチング

(21.2.2)

材質	形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟﾁ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
⊙鋼製	⊙受枠付き、ボルト固定 ・	⊙溝ふた（横断用） ⊙溝ふた用（側溝用） ⊙桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ⊙T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ⊙T-20用	⊙細目 ・ ・普通目 ⊙細目	⊙（　　） ⊙（　　）	⊙凹凸形（ノンスリップ型） ・平形 ⊙凹凸形（ノンスリップ型）
・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	－	－	・凹凸形 ・ ・平形 ・

⑤ 街きょ、縁石、側溝

(21.4.1)(表21.4.1)

街きょ、縁石、側溝

種類	形状、寸法
⊙縁石	⊙図示　・
・U形側溝	・図示　・
・U形側溝ふた	・図示　・
・	・図示　・

地業の材料　※標準仕様書(4.6.2)(a)による　・図示
砂利地業の厚さ　※100(mm)　⊙図示
コンクリート基礎等に用いる材料
※標準仕様書(6.14)
設計基準強度18N/mm2とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比）
セメント１：砂２：砂利４程度とする。
・図示

⑥ 埋戻し土

(21.2.3)

※B種　・

22 舗装工事

① 路床

(22.2.2、3、5)(表22.2.2)

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	⊙A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	⊙図示 ・
・遮断層	⊙川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量10%以下） ・	⊙図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン G　・クラッシャラン　・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量10%以下）	・図示 ・
・フィルター層	⊙川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下） ・	⊙図示 ・

路床安定処理
⊙添加材料による安定処理
種類　⊙普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（　　）・消石灰（　　）
添加量　kg（目標CBR　⊙以上　・　　）
⊙ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/m²以上　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数　・1.5×10-1cm/sec以上　・
試験
砂の粒度試験　⊙行う　・行わない
路床土の支持力比（CBR）試験　⊙行う　・行わない
路床締固め度の試験　⊙行う　・行わない

② 路盤

(22.3.2、3、5)(表3.2.1)

路盤の厚さ　⊙図示　・
路盤材料　・砕石
⊙再生クラッシャラン G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G
・図示
・
試験
路盤締固め度の試験　※行う　・行わない

③ アスファルト舗装

(22.4.2～6)(表22.4.1)

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・
材料
アスファルト　・再生アスファルト G　・ストレートアスファルト
骨材　・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 G
加熱アスファルト混合物の種類

区分	地域	種類
表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物（１３） ・細粒度アスファルト混合物（１３）
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物（１３Ｆ） ・細粒度アスファルト混合物（１３Ｆ）
基層	一般及び寒冷地域	粗粒度アスファルト混合物（２０）

シールコートの施工　⊙行う　・行わない
試験
アスファルト混合物等の抽出試験　⊙行う　・行わない
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

④ コンクリート舗装

(22.5.2～4、6)(表22.5.4)

コンクリート舗装の厚さ

舗装の種類	部位	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車道部 歩道部	⊙図示　・150　・ ・図示　・70　・
転圧コンクリート	車道部	・図示　・150　・

縁部立上り寸法等　⊙図示
材料
コンクリート　⊙標準仕様書22.5.2による　・
早強セメント　・使用する　⊙使用しない
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
転圧コンクリートの工法　※図示　・
目地
種類、間隔、構造　※標準仕様書22.5.4及び図22.5.1による　・図示
試験
コンクリート版厚さの試験　⊙行う　・行わない

5 カラー舗装

(22.6.2～4)(表22.6.1)

種類		部位	車道部の基層	厚さ(mm)
・加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	・車道部 ・歩道部	・黒し ・有り	
・常温系	・			

舗装厚さの許容差　※標準仕様書22.4.2(c)による　・
材料
添加する材料　・着色骨材（　　）　・自然石（　　）
配合
結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量　・
樹脂系混合物、ニート工法及び塗布工法の配合等　・

⑥ 透水性アスファルト舗装 G

(22.7.2、3、6)

適用範囲：歩道

材料	厚さ(mm)
ストレートアスファルト	⊙図示　・

試験
透水性アスファルト混合物等の抽出試験　⊙行う　・行わない
舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの　・

7 排水性アスファルト舗装 G

(22.8.2、3、6)

区分	種類	材料	厚さ(mm)
表層	・排水性舗装用ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 ・	・ｶﾞﾗﾊﾞｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型 ・	・図示 ・
基層	・加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（密粒ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物） ・	・再生ｱｽﾌｧﾙﾄ G ・ｽﾄﾚｰﾄﾞｱｽﾌｧﾙﾄ	・図示 ・

試験
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの　・

8 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装　(22.9.2、3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
※普通平板（N） ・透水平板（P） ・	※300角 ・	・60	※砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

歩道部に使用するコンクリート平板は G（再生材料を用いた舗装用ブロック）とする。
透水平板は G（透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内
・

・インターロッキングブロック舗装　(22.9.2、3)

種類	厚さ(mm)		曲げ強度（N/mm²）	備考
※普通ブロック（N） ・透水性ブロック(P) ・誘導、注意喚起用ﾌﾞﾛｯｸ	車道部　※80　・ 歩道部　※60　・		※5.0　・ ※3.0　・	色彩、表面加工 ※標準品 ・黄色系

歩道部に使用するブロックは G（再生材料を用いた舗装用ブロック）とする。
透水性ブロックは G（透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内
・

・舗石舗装　(22.9.2、3)

種　類	寸法(mm)	厚さ(mm)	施工方法	基　層
※小舗石（花こう岩） ・	・ ・	・80 ・	※うろこ張り ・	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装

仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内
・

⑨ 砂利敷き

種別　(22.10.1)
・A種（施工範囲：・図示　・通路　・　　）
⊙B種（施工範囲：⊙図示　・建物周囲　・　　）
・A種（施工範囲：・図示　・通路　・　　）

⑩ 路面標示用塗料

JIS K 5665(路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
・１種 G	常温	液状	※白 ・	※150 ・100	※1.0 ・
・２種 G	加熱				
⊙3種1号	溶融	粉体状			

G 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23 植栽及び屋上緑化工事

① 植栽地の確認等

(23.1.3)

土壌の水素イオン濃度（pH）試験　⊙行う　・行わない
水溶性塩類（EC）の試験　⊙行う　・行わない

② 植栽基盤の整備

植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材
⊙樹木	※A種 ・B種 ⊙C種 ・D種	樹高12m以上 （※100　・120　・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80　・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60　・80） 樹高3m未満 （※50　・60）	・薬張り部分 ・植栽部分 ⊙図示 ・	⊙適用する ・適用しない
※芝、地被類	※B種 ⊙C種	※20 ・	・植栽部分 ⊙図示 ・	⊙適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備　・設ける（※図示　・　　）　⊙設けない

③ 植込み用土　※現場発生土の良質土　・客土　⊙図示　(23.2.3)

④ 土壌改良材　(23.2.3)
⊙バークたい肥 G
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1m²あたり（⊙30L　・　　）

・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト） G
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1m²あたり（・10L　・　　）
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする。

⑤ 樹木　(23.3.2)
樹種、寸法、株立数等　※図示　・

⑥ 支柱　(23.3.2、3)
支柱材　※丸太（間伐材）G　・真竹
防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・
形式　⊙図示　・

⑦ 幹巻き用材料　(23.3.2)
材料
※幹巻き用テープ　・わら及びこも

8 芝　(23.4.2)
種類　※コウライシバ　・ノシバ　・
芝張りの工法
平地　※目地張り　・べた張り
法面　・目地張り　※べた張り

9 吹付けは種　(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量（g/m²）	備考
※洋芝類（採取後２年以内） ・	※発芽率80%以上		

⑩ 地被類　(23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
⊙図示 ・	図示	図示	図示

⑪ 新植、移植樹木、芝等の枯補償　(23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)
新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間
※引渡しの日から１年　・無し
移植樹木の枯損処置を行う機関
※引渡しの日から１年　・無し

⑫ 屋上緑化 G　(23.5.2、3)
材料
⊙屋上緑化システム
土壌層の厚さ　⊙図示　・
排水層　⊙軽量骨材（層の厚さ：図示　）　・板状成型品
植込み用土　※改良土　⊙人工軽量土
樹木の樹種並びに種類、寸法、株立数等　※図示　・
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　※図示　・

⊙屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等　※図示　・
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　※図示　・

⊙イケガミ：アクアソイル工法同等品

工法　(23.5.4)
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　⊙.15　・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・適用しない
支柱　⊙設置する（形式　⊙図示　・　　）
かん水装置　・設置する（種類　・図示　・　　）

16.02.25

竣工図	/16.02.16	保管	承認
検図	/16.02.12	確認	
製図	/16.02.05	作成	

訂正　特記

設計	1級建築士登録第206250号	大坪　泰 印
設計	1級建築士登録第286712号	篠崎康志 印
設計	1級建築士登録第354901号	長友直子 印

日本設計

桶川市新庁舎建設工事

図面名称　特記仕様書6

縮尺　－

TOK.DWG

枚ノ内　図面番号　1008

区分　建築(総合)

24 ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定

① 室内濃度の測定　※測定する　・測定しない

測定する場合は以下による

1　測定室

測定室は、監督員の指定する室（3室程度）とする。

ただし、改修工事にあっては、当該室の工事着手前にも測定するものとする。

2　検査項目、検査方法及び判定基準

1）検査項目は、以下ア）～オ）の５品目とする。

ア）ホルムアルデヒド

イ）トルエン

ウ）キシレン

エ）エチルベンゼン

オ）スチレン

2）検査方法

①検体の採取方法は吸引方式（アクティブ法）または拡散方式（パシップ法）による。

⊙吸引方式（アクティブ法）とする。

②ホルムアルデヒドについては以下のいずれかの方法による。

・ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着／溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法（以下ＨＰＬＣ）により行うものとする。

・パッシブ採取機器により採取し、ＨＰＬＣまたはガスクロマトグラフ法（以下ＧＣ）あるいはＡＨＭＴ－吸光光度法（以下ＡＨＭＴ－Ａｂｓ）のうち採取機器に適応した分析法による。

③トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレンについては以下のいずれかの方法による。

・固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法の３種の方法のいずれか用いて採取し、ガスクロマトグラフ／質量分析法（以下ＧＣ／ＭＳ）により行うものとする。

・パッシブ採取機器により採取しＧＣまたはＧＣ／ＭＳのうち採取機器に適応した分析法による。

3）判定基準

厚生労働省が定める指針値以下とする。（量単位の換算は２５℃）

ア）ホルムアルデヒトは、100μｇ／ｍ^3(0.08ppm) 以下であること。

イ）トルエンは、260μｇ／ｍ^3(0.07ppm) 以下であること。

ウ）キシレンは、870μｇ／ｍ^3(0.20ppm) 以下であること。

エ）エチルベンゼンは、3,800μｇ／ｍ^3(0.88ppm) 以下であること。

オ）スチレンは、220μｇ／ｍ^3(0.05ppm)以下であること。

3　採取及び分析

採取及び分析する者は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者とする。

4　報告書

報告書は、監督員に２部提出するものとする。

なお、改修工事にあっては、工事着手前、完了後の各２部を提出するものとする。

仕様書（補足）

1　工事範囲　（付加）

●工事用地

工事用地は概要書による。その他の用地は見積要項書等による。

工事用地の管理責任は工事請負契約締結日から引き渡しまで請負者によるものとする。

●工事範囲

工事範囲は以下の表による。

		工事範囲 含む	別途	備考
建築	仮設	⊙	・	木造部は別途
	土工・地業	⊙	・	
	躯体	⊙	・	木造部は別途
	免震装置・免震度EXP.J	⊙	・	
	外部仕上げ	⊙	・	木造部は別途
	内部仕上げ	⊙	・	木造部は別途
	黒板・掲示板	・	⊙	
	カーテン・ブラインド	・	⊙	
	映写スクリーン	・	⊙	
	サイン	⊙	・	
	アートワーク	・	⊙	
	家具・什器	・	⊙	総合カウンターのみ含む
	移動書架	・	⊙	レール溝及びモルタル詰めは含む
	議場家具	・	⊙	
	自動販売機・給茶機	・	⊙	
	消火器	・	⊙	
	テナント工事	・	⊙	ある場合(カフェ・コミュニティFM等)
昇降機設備	エレベーター	⊙	・	
	エスカレーター	⊙	・	
電気設備	電灯設備	⊙	・	
	動力設備	⊙	・	照明設備・照明制御の機器・配管・配線は別途
	接地設備	⊙	・	
	幹線設備	⊙	・	
	雷保護設備	⊙	・	
	電気自動車充電設備	・	⊙	配線と一部配線及び手元開閉器を含む
	受変電設備	⊙	・	
	非常用発電機設備	⊙	・	オイルタンク含む
	構内情報通信網設備	・	⊙	配管のみ含む
	構内交換設備	・	⊙	配管のみ含む
	映像・音響設備	・	⊙	配管のみ含む
	拡声設備	⊙	・	
	テレビ共同受信設備	⊙	・	
	監視カメラ設備	⊙	・	
	駐車場管制設備	⊙	・	
	自動火災報知設備	⊙	・	
	防犯・入退室管理設備	⊙	・	
	構内配電線路設備	⊙	・	
	構内通信線路設備	⊙	・	
	テレビ電波障害防除設備	・	⊙	
	電算用CVCF、電算機	・	⊙	
	防災無線	・	⊙	
	弱者対応設備	・	⊙	配管のみ含む
	デジタルサイネージ	・	⊙	配線のみ含む
	太陽光発電設備	・	⊙	配管と一部配線及び自立出力専用コンセントを含む
	窓口呼出表示設備	・	⊙	配管のみ含む
	議場システム	・	⊙	配管のみ含む
	コミュニティＦＭ設備	・	⊙	専用分電盤・配管のみ含む
給排水衛生設備	衛生器具設備	⊙	・	
	給水設備	⊙	・	
	排水設備	⊙	・	
	給湯設備	⊙	・	
	消火設備	⊙	・	
	厨房機器設備	・	⊙	
	ガス設備	⊙	・	
	雨水再利用設備	⊙	・	
	井水利用設備	⊙	・	
空気調和設備	空気調和設備	⊙	・	空冷ヒートポンプ・ビル形マルチパッケージ（HP・容量）・冷媒配管は別途
	換気設備	⊙	・	
	自動制御設備	⊙	・	中央監視装置を含む。BEMSは別途
	地中熱利用設備	・	⊙	
屋外施設	植栽・造園	・	⊙	屋上緑化は含む
	舗装	⊙	・	
	雨水排水設備	⊙	・	
	駐車場関連工事	⊙	・	
	門・塀	⊙	・	
	テラス	⊙	・	
	防火水槽	⊙	・	
	井戸	⊙	・	
工作物	看板	・	⊙	
	広告板	・	⊙	
	旗竿	⊙	・	
敷地造成	整地	⊙	・	解体工事
移設	在来建物移設	・	⊙	既設LED照明の再取付工事のみ含む
	電柱移設	・	⊙	
解体・撤去	解体工事	⊙	・	
	在来基礎撤去	⊙	・	
	埋設物撤去	⊙	・	
	工作物撤去	⊙	・	
	公衆電話撤去	・	⊙	
その他	地質調査	・	⊙	
	土壌汚染対策	・	⊙	ある場合
	各種引込負担金	・	⊙	

2　工事区分一覧表　（付加）

●各工事共通

各工事間の工事区分は以下の表による。

	建築	電気	給排水	空調	昇降機		備考
機械搬入口の設置	※						搬入後の閉鎖も含む
機械搬入用ﾋﾞｰﾑ,ﾌｯｸ,ﾁｪｰﾝﾌﾞﾛｯｸ等	※						建築躯体に係わるもの
煙突工事（ﾎﾞｲﾗｰ,自家発用）	※						煙突までの煙道は各設備工事
基礎梁,鉄骨梁,SRC梁,水槽壁の貫通	※						スリーブと補強を含む
床,壁,RC梁のｽﾘｰﾌﾞ		※	※	※			補強は建築工事
盤及び消火栓ﾎﾞｯｸｽ等の型枠入れ		※	※	※			補強は建築工事
埋込み箇所のはつり,補修		※	※	※			補強は建築工事
外壁貫通スリーブ		※	※	※			シーリング及び仕上げは建築工事
点検口,タラップ,梯子類	※						機器付帯のデッキ類は各工事
メンテナンス用デッキ類	※						
天井,壁,床の点検口と補強	※						
壁取付器具の下地補強	※						
機械基礎コンクリート	※						・建築設計図に記入あるもの
かさ上げコンクリート	※						
機械類の支持金物,配管等の塗装		※	※	※			・アンカーボルトは各設備工事
ALC板,PC板と石及び金属板等の穴あけと穴埋め補修	※						
埋設オイルタンク・防火水槽の躯体工事	※						乾燥砂を含む
ｸﾞﾘｰｽﾄﾗｯﾌﾟ,ｶﾞｿﾘﾝﾄﾗｯﾌﾟ	※		※				図示による
躯体蓄熱槽	※						防水・断熱共
サイン	※						電飾工事がある場合、一次側配線は電気工事とする
墨出し	※	※	※	※			基準墨・昇降機関係は建築工事
外構のマンホールの化粧ふた	※						その他ふた、及び例は各工事
側雷対策	※	※					図示
ウェザーカバー	※						各種製作金物
フリーアクセスフロア	※						コンセントは電気工事

●電気設備関係

	建築	電気	給排水	空調	昇降機		備考
天井埋込み器具の穴あけと補強	※						墨出しは電気設備工事
自家発オイルタンクの配管		※					躯体は建築工事
自家発冷却水配管工事		※	※				自家発室内は電気工事
シャッター,ドア及び手元スイッチ	※						一次側電源は電気工事
避雷針のポール		※					基礎及び特殊なものは建築工事
防火ドア,防火シャッター及び防排煙用建具（煙感連動）	※						配管配線,煙感知器及び連動装置は電気工事
外灯支柱の基礎		※					特殊なものは建築工事
インバータ装置		※	※	※	※		一次側電源は電気工事
太陽光発電設備・装置		※					基礎は建築工事
電気自動車充電設備		※					基礎は建築工事
屋外駐車場関連工事	※	※					一次側配線・配管は電気工事

●空気調和設備関係

	建築	電気	給排水	空調	昇降機		備考
天井埋込み器具の穴あけと補強	※						墨出しは空気調和設備工事
ファンコイル用電源工事		※					ｱｰｽ付
ファンコイル用手元調整器				※			配管配線共空調工事
ﾎﾞｲﾗｰ,冷凍機への電源配管配線		※					2次側配管配線は空調工事
自動制御関係計器類				※			監視盤等への配管配線は図示
自動制御関係制御盤への電源供給		※					AC200V
機械排煙の排煙口装置				※			制御監視,電源供給は電気工事
隠ぺい,窓ﾄﾞﾗｲｺｲﾙﾕﾆｯﾄｶﾊﾞｰ	※						吹出口,点検口を含む
外壁がらり	※						防鳥網,ﾀﾞﾄ接続の場合ﾌﾗﾝｼﾞ共
ベントキャップ			※	※			防鳥網含む,特殊な物は建築工事
外壁がらり用チャンバー				※			ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙの場合は建築工事
外壁がらりのチャンバー用付枠	※						

●給排水衛生設備関係

	建築	電気	給排水	空調	昇降機		備考
1H,流し（トラップ共）	※						オーバーフロー付
湯沸器,冷水器			※				
雨どい	※		※				外部・第１例は建築工事 内部は給排水設備工事
ルーフドレンと集水桝	※		※				
フロートスイッチ及び取付工事			※				配管配線は電気工事
電極棒及びピット（蓋共）			※				電極ﾘｰﾄﾞ及び配管配線は電気工事
洗面台上部の鏡及び化粧棚	※		※				既製品は設備工事
洗面カウンター	※						洗面器は給排水設備工事
衛生器具			※				
身障者用手摺	※						
ベビーシート・ベビーチェア多目的シート	※						
オストメイト流し			※				吊フックは建築工事
ガス圧ダンパーのピストン				※			
屋外汚水排水設備			※				
屋外雨水排水設備	※						
ト水本管への接続	・		※				
屋内消火栓・連結送水管・消火器ボックス			※				消火器ボックス単体は建築工事

●昇降機設備関係

	建築	電気	給排水	空調	昇降機		備考
出入口,ｲﾝｼﾞｹｰﾀｰ,押ﾎﾞﾀﾝの穴あけ	※						開口補強,墨出しを含む
機械室床,機械据付用穴あけ	※						開口補強,墨出しを含む
機械室内配線ﾋﾟﾄの穴あけ	※						開口補強,墨出しを含む
3方枠等の取付と穴埋め					※		仕上げは建築工事
機械室の冷房・換気設備				※			電源は電気工事
動力,照明,非常灯の電源引込み		※					
非常放送の配線引込みとｱｰｽ工事		※					昇降路内,ｶｺﾞ内は昇降機工事
中間ﾋﾞｰﾑ,ｼｰﾙﾄﾞﾌﾟﾗｹｯﾄ,敷居受ﾋﾞｰﾑ及びﾎﾞｽﾄｱﾝｸﾞﾙ,支持ｱﾞｼｰﾄ	※				※		防錆処理を含む 工事区分は図示
監視盤の取付及び配線					※		昇降路外の配管は電気工事
機械室,ピット内ｺﾝｾﾝﾄ工事		※					
煙感知器設備		※					昇降路内,機械室を含む
室常,非常電源識別ﾘﾚｰの接点供給		※					中央監視盤まで
監視操作用とｲﾝﾃｰﾎﾝ用配管配線及びｲﾝﾀｰﾎﾝ					※		昇降路外の配管は電気工事
地震計より昇降路内への配管		※					
昇降路内の端子盤					※		
油圧ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ用冷房,換気設備				※			
機械室天井吊りフック	※						
カゴ壁保護マット					※		
ピット点検用タラップ					※		
エスカレータ保護板					※		

●本設切替以降引渡しまでの電力・水道・ガス・DHC　使用料金

		建築	電気	給排水	空調	昇降機		備考
電力	基本料金	㊙	・					
	使用料金	㊙	※	※	※	※		
上下水	基本料金	㊙		・				
	使用料金	㊙	※	※	※	※		
中水	基本料金	㊙		・				
	使用料金	㊙	※	※	※	※		
都市ガス	基本料金	㊙		・	・			
	使用料金	㊙	※	※	※	※		
DHC	基本料金	・		・				
	使用料金	※	※	※	※	※		

工事用電力・工事用水等はすべて本工事に含む

各種インフラ引込み負担金は本工事に　※ 含まない

・ 含む（・ 建築　・ 電気　・ 空調　・給排水　・　　）

3　図書等

1.2節　工事関係図書　（付加）

●1.2.6［1.2.5］（付加）着工時提出図書

受注者が着工時・工事中に監理者へ提出する図書及び部数は以下のとおりとする。

	部数 建築	電気	空調	給排水	昇降機		
請負契約書（写し及びPDFデータ）	1						監督員事務所保管
請負代金内訳書（写し及びEXCEL及びPDFデータ）	1						監督員事務所保管
設計図のA2製本（A1版梱付）	1	1	1	1			監督員事務所保管
設計図のA3版縮小第二原図（二つ折図面ケース入り）	0						監督員事務所保管
設計図のA3製本（A3版縮小梱付指定様式）	6	6	6	6			
法6条の2による確認済証及び計画変更確認済証の画像もしくはpdfファイル	1	1	1	1			CDもしくはDVD 日本設計本社及び担当支社保管

上記のほか、「工事関係提出書類作成要領」内の「1.工事着手前および着手時に提出する書類」に指示されたもの。

16.02.25

竣工図	16.02.16	保管	承認
検図	16.02.12	確認	
製図	16.02.05	作成（担当者）	

訂正　特記

設計	1級建築士登録 第206250号	大坪　泰 印
設計	1級建築士登録 第286712号	篠崎康志 印
設計	1級建築士登録 第354901号	長友直子 印

日本設計

桶川市新庁舎建設工事

図面名称：特記仕様書７

縮尺：－

TOK.DWG　図面番号 1009　枚ノ内

区分：建築（総合）

外部仕上表注記

2015.07.27 Ver.2

・防水立上がりの下地以外のコンクリート打放し仕上げ及び直均しの部位、外部壁、土に接する外壁、パラペット、笠木、バルコニーは20mm、それ以外の床は10mmのコンクリート打増しを行う。また、打継ぎ目地を設置する場合は目地深さ分の打増しを行う。
・
・外部コンクリート化粧打放し仕上げ面には、ひび割れ誘発目地を設ける。
・
・

■屋根（バルコニー・床・庇を含む）

部位		下地・水勾配・防水仕様・仕上げ・伸縮調整目地等	
		鉄骨造部	木造部（一部別途工事）
屋根	屋上2・5・7・8・9・10・11	コンクリート直均し（水勾配1/75）、アスファルト防水（BI-1）、 断熱材（押出法ポリスチレンフォーム保温材t35）、保護コンクリート直均しt≧80、伸縮調整目地	
	屋上1・3・4・6	コンクリート直均し（水勾配1/50）、断熱材（押出法ポリスチレンフォーム保温材t35）、 アスファルト防水（DI-1）、仕上塗料塗り	
	金属屋根1～6		木下地、アスファルトルーフィング、バックアップ材、フッ素ガルバリウム鋼板（平滑葺き）、軒とい、水切
	バルコニー	コンクリート直均し（水勾配1/50） ウレタン塗膜防水（X-2）、水切	
	テラス		鋼製床下地、再生木（人工木）
	屋上配管立上り	コンクリート直均し（水勾配1/50） ウレタン塗膜防水（X-2）	
	屋上緑化		
	屋上7	保護コンクリート直均しの上、客土・植栽、一部コンクリート ショットブラスト	
	屋上9・11	保護コンクリート直均しの上、客土・植栽	

■パラペット・笠木

部位		下地・防水仕様・仕上げ等	
		鉄骨造部	木造部
	パラペット	コンクリート化粧打ち放し仕上げ ウレタン塗膜防水（X-2）	
	笠木（下記以外）	コンクリート直均し（スラブ勾配1/50） ウレタン塗膜防水（X-2）	
	笠木（屋上10、11）	アルミ笠木、フッ素樹脂焼付塗装	

■外　壁　等

部位		下地・仕上げ・伸縮調整目地等	
		鉄骨造部	木造部（一部別途工事）
一般部	壁	ALC 複層仕上塗材	木下地、透湿防水シート、胴縁、金属サイディング
	窓部腰壁	コンクリート化粧打放し仕上げ フッ素樹脂塗装（カラークリア）	
	巾木	コンクリート化粧打放し仕上げ フッ素樹脂塗装（カラークリア）	
低層部	壁・柱・梁・巾木	コンクリート化粧打放し仕上げ フッ素樹脂塗装（カラークリア）	コンクリート化粧打放し仕上げ、フッ素樹脂塗装（カラークリア）
開口部		アルミサッシュ（B-1）、ステンレスサッシュ、スチールドア	アルミサッシュ（B-1）、ステンレスサッシュ、スチールドア
バルコニー	壁	コンクリート化粧打放し仕上げ フッ素樹脂塗装（カラークリア）	
テラス	壁	コンクリート化粧打放し仕上げ フッ素樹脂塗装（カラークリア）	
塔屋	EV	ALC 複層仕上塗材、コンクリート化粧打放し仕上げ フッ素樹脂塗装（カラークリア）	
	階段2	ALC 複層仕上塗材、コンクリート化粧打放し仕上げ フッ素樹脂塗装（カラークリア）	

■軒天井

部位		下地・仕上げ等	
		鉄骨造部	木造部
一般部	軒天井	コンクリート化粧打放し仕上げ 撥水材塗布	コンクリート化粧打放し仕上げ 撥水材塗布
バルコニー	軒天井	コンクリート化粧打放し仕上げ 撥水材塗布	
テラス	軒天井		コンクリート化粧打放し仕上げ 撥水材塗布
金属屋根	屋根1～6軒天井		破風木片セメント板

■犬走り・玄関廻り床

部位		下地・水勾配・防水仕様・仕上げ・伸縮調整目地等	
		鉄骨造部	木造部
ピロティ	ピロティ1・2	コンクリート直均し、ショットブラスト、伸縮調整目地	下層路盤、プライムコート、コンクリート舗装 ショットブラスト仕上げ
ピロティ駐車場	コンクリートスラブ部	コンクリート直均し、刷毛引き	
	コンクリート舗装部	下層路盤、プライムコート、コンクリート舗装 刷毛引き	
通路	コンクリートスラブ部	コンクリート直均し、ショットブラスト	
	コンクリート舗装部	下層路盤、プライムコート、コンクリート舗装 ショットブラスト	

■外部金物

部位		下地・材種・防錆処理・仕上げ等	
		鉄骨造部	木造部
雨樋	屋上1・2・3・4	配管用鋼管 溶融亜鉛めっき	
ルーフドレイン	屋上1～11	鋳鉄	
タラップ	屋上1	スチール 溶融亜鉛めっき 背かご付	
	屋上2・3・4・10	スチール 溶融亜鉛めっき	
手摺	屋上5・ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾃﾞｯｷ	スチール 溶融亜鉛めっき	
メンテナンス金物	屋上1～4・6	ステンレス 2B	
水切	メンテナンスデッキ	スチール 溶融亜鉛めっき	

■外部工作物

部位		下地・材種・防錆処理・仕上げ等	
		鉄骨造部	木造部
階段	外階段1	スチールチェッカープレート 溶融亜鉛めっき 手摺：スチール 溶融亜鉛めっき	
	外階段2	スチールチェッカープレート 溶融亜鉛めっき 手摺：スチール 溶融亜鉛めっき	
	外階段3	スチールチェッカープレート 溶融亜鉛めっき 手摺：スチール 溶融亜鉛めっき	
機械基礎	屋上2・3・5	コンクリート 塗膜防水	

■外　構・その他

部位		下地・水勾配・防水仕様・仕上げ・伸縮調整目地等
舗装	歩道	路盤、プライムコート、コンクリート舗装 ショットブラスト、ハケ引き仕上げ
	車道	路盤、透水性コンクリート舗装
	駐輪場	フィルター層、路盤、透水性アスファルト舗装 一部着色 「別途工事（外構工事）」
	はしご車活動空地	地盤埋込標識、地上標識
植栽	地上	客土、高木、中木、低木 「別途工事（植栽工事）」
	建築物上	人工軽量土壌、高木、中木、低木
側溝・桝		側溝、グレーチング、スリット側溝グレーチング、雨水桝
		雨水浸透貯留槽
その他	オイルタンク	RC造、タンク基礎、化粧マンホール蓋
	配管トレンチ	コンクリート製、化粧蓋
	防火水槽	RC造（プレキャストコンクリート造）、防火水槽標識
	井戸	（給排水衛生設備工事）
	地中熱ボアホール	（別途工事）
	電気自動車充電器	配線のみ電気設備工事
	フェンス	既製品 目隠しネット取り付け 「別途工事（外構工事）」
	手摺	スチール 溶融亜鉛めっき 「別途工事（外構工事）」
	ボラード	既製品 SUS製 衝突対応 上げ下げ式
	旗ざお	既製品 アルミ製 H5.0m
	ツリーサークル	化粧材充填式
	掲示板	サイン工事
	石碑	既設石碑 場内仮置き後設置
	郵便ポスト・公衆電話・電柱	（別途工事）

［略　号］

2-FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り	B-FU	ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り	ST	スチール	C	コンクリート下地	W, w	幅
2-FUC	常温乾燥形ふっ素樹脂ワニス塗り（クリアー）	B-UE	ポリウレタン樹脂焼付けエナメル塗り	SUS	ステンレス	M	モルタル下地	L, l	長さ
2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り	B-AE	アクリル樹脂焼付けエナメル塗り	AL	アルミニウム	LC	軽量コンクリート	H, h	高さ
2-ASC	アクリルシリコン樹脂ワニス塗り（クリアー）			LGS	軽量鉄骨	PC	プレキャストコンクリート	D, d	奥行き
2-UE	2液形ポリウレタン樹脂エナメル塗り	外装RP	外装薄塗材E	FB	フラットバー	CB	コンクリートブロック	φ	直径
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	BET	防水形複層塗材E	PL	プレート	ALC	軽量気泡コンクリート	@	間隔
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り			HL	ヘアライン	ECP	押出成形セメント板	t	厚さ
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り			MR	鏡面	AS防	アスファルト防水		

［外部付属物及び工作物など工事項目リスト］

・植樹・造園	・擁壁	・サイン	・旗竿	・雨どい	・排水管	・間知石及びｺﾝｸﾘｰﾄ
・舗装	・池・噴水	・広告板	・旗竿受金物	・水受台	・側塊、排水桝等	・間知ﾌﾞﾛｯｸ積み
・駐車場関連工事	・屋外掲示板	・広告鉄塔	・点検口，ﾀﾗｯﾌﾟ，梯子類	・ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ	・浸透管及び浸透桝	・敷地境界石標
・門・塀	・車止め支柱	・ネオン	・メンテナンス金物	・手すり	・街きょ，縁石及び側溝	・区画線
・築土	・鋲工銘板	・遊戯施設	・ﾒﾝﾃﾅﾝｽ用ﾃﾞｯｷ類	・タラップ	・ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞふた	・道路付属施設
・テラス	・定礎銘板	・独立煙突	・機械基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	・換気孔	・マンホールカバー	
・パーゴラ	・看板		・かさ上げｺﾝｸﾘｰﾄ		・浄化槽（躯体）	

16.02.25

NIHON SEKKEI 日本設計	/16.02.16	竣工図 保管 / . . 承認 / . .	訂正 .	特記	設計 1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 外部仕上表
	検図 /16.02.12	確認 / . .	.		設計 1級建築士登録第286712号 鐘崎康志 印		縮尺 －
	製図 /16.02.05	作成（設計者） / . .	.		設計 1級建築士登録第354901号 長友直子 印		図面番号 1021 枚ノ内
							区分 建築（総合）

GSH.DWG

内部仕上表注記

2015.07.27 Ver.2

- FLは各階基準仕上げ床高を表す。
- 天井高は床仕上レベル（＝仕上高）からの天井高さを表す。
- 仕上高は床仕上レベルをFLからの高さとして表す。仕上表に表記無き場合は平面図表記値とする。
- スラブ高は仕上高から仕上厚の寸法を引いた高さを表示する。また、直均しや型匠上指定する打増しがある場合は、打増し寸法も引く。構造図表記のスラブレベルと仕上げ表のスラブ高との差は、打増しコンクリートにより対応する。
- 下記以外のコンクリート直均し・打放し仕上げの部位は、内部打放し仕上げは10mm、床直均しは10mmのコンクリート打増しを行う。但し、通路、ピロティ駐車場は外部仕上に準じ20mmとし、ひび割れ誘発目地を設ける。また、打継ぎ目地を設置する場合は目地深さ分の打増しを行う。

部位	打増しが不要な場合
スラブ・梁上面の直均し	FAフロア、鋼製床下地、乾式二重床、地下・免震ピット内
垂直面（壁、柱、梁）の打放し仕上げ	防水立上がり、地下・免震ピット内

- ビニル床シート・ビニル床タイル張りなどの床下地のコンクリート直均しの場合、　スラブ高と仕上げ高との差から仕上げ材の厚さを除いた高さを打増しコンクリートとする。
- 蓋上げコンクリートにはワイヤーメッシュ6x100（タテヨコ）を設ける。
- コンクリート直均し仕上げ（地下ピット、免震ピット除く）、コンクリート直均し（FAフロア）の表面処理は防塵塗装とする。
- 鋼製床下地下のスラブは、C直均し（金ゴテ）の上、防塵塗装とする。
- コンクリート直均し仕上げ（地下ピット、免震ピット、シャフト除く）には、ひび割れ誘発目地を設ける。
- 特記なき限り、幅木下地は壁下地と同じものとする。但し、コンクリート化粧打放しの下地はコンクリートとする。
- コンクリート直均し仕上げ（地下ピット、免震ピット、シャフト除く）に面した幅木はコンクリート化粧打放しとする。
- 木幅木の表面処理はウレタン樹脂塗装とする。
- SUS幅木は t=1.0とし、表面処理は特記なき限りアクリル樹脂焼付塗装とする。
- 壁下地「S」は、LGS+ボード壁の建柾を示し、仕様は躯仕切壁リストによる。
- 壁下地「C」は、RC壁を示す。
- 壁下地「A」は、ALC壁を示し、仕上げは特記なき限り素地のままとする。
- 壁：クロス張り（上塗1～3）は、ボード下地の上、GB-Rt9.5にクロス巻き込み張りとする。
- 壁柱型躯に特記の無い部屋の柱型側火被覆面は、EP-Gとする。
- 内部のコンクリート打放しの柱及び壁の出隅は、R=15面取り（h=2,100まで）とする。但し、来庁者の目にふれない箇所については、15x15面取り（h=2,100まで）とできる。
- 内部窓下の腰壁は特記なき限りコンクリート化粧打放し仕上げとし、出隅はR=15面取りとする。また、床取り合い部には結露受けを設ける。
- 下がり壁の仕上は壁と同じとする。
- 一部天井張り（クロス張り）の下地はLGS+GB-R12.5+12.5とする。
- 一部天井張り（EP-G）の下地はLGS+GB-R12.5+孔あきせっこうボード12.5とする。
- コンクリート躯表仕上の埋戻し部分は、十分な転圧を行うこと。

階	室名	部位 天井高 仕上高 スラブ高	床 下地	床 仕上げ	幅木 下地	幅木 仕上げ	壁 柱型 下地	壁 柱型 仕上げ	壁 柱型 内装制限	天井 梁型 下地	天井 梁型 仕上げ	天井 梁型 内装制限	ブラインド・受け	備考 本体工事 建築工事	備考 本体工事 建築工事外	備考 本体工事外
共通	執務室	直天 ±0 -100	C	タイルカーペット（FAフロアh100）	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	難	C	デッキスラブ素地	難	ST			
	会議室（3階会議室5除く）	直天 ±0 -10	C	タイルカーペット	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	不	C	GW-B	不	ST	移動間仕切(3階) 会議室2,4は難		
	相談室（3階除く）	直天 ±0 -10	C	タイルカーペット	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	不	C	デッキスラブ素地	不	ST	2階相談室2は,準		
	倉庫・物入（2階以上特記なき限り）	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	-	C	デッキスラブ素地	-	-			
	書庫（2・4階）	直天 ±0 -35,-10	C	ビニル床シート	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	-	C	デッキスラブ素地	-	ST	移動書架レール溝		移動書架(電動)
	更衣室	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	-	C	デッキスラブ素地	-	ST	洗面化粧台（2階のみ） 鏡		
	脱衣室	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	S	ビニル巾木	S	EP-G	-	C	デッキスラブ素地	-		シャワーユニット（2階のみ） 鏡		
	男子便所（2階以上）	直天 ±0 -10	C	C直均し／ビニル床シート	A C S	ALC素地 C化粧打放し SUS巾木	A S	ALC素地 EP-G	-	C	デッキスラブ素地	-	ST	便所ブース／洗面カウンター／鏡／手摺／汚ダレ石／ライニング	小・大便器／洗面器／ペーパーホルダー	
	女子便所（2階以上）	直天 ±0 -10	C	C直均し／ビニル床シート	A C S	ALC素地 C化粧打放し SUS巾木	A S	ALC素地 EP-G	-	C	デッキスラブ素地	-	ST	便所ブース／洗面カウンター／パウダーカウンター／パウダーカウンター／ライニング ｺﾝｾﾝﾄ/ﾄﾞﾗｲﾔｰ(女子便器1)	大便器／洗面器／ペーパーホルダー	
	だれでもトイレ（2階以上）	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	S	SUS巾木	S	EP-G	-	C	デッキスラブ素地	-	-	手摺／多目的シート／ベビーコット／ライニング／ベビーチェア／吊フック（2ヶ所）／鏡	大便器／洗面器／ペーパーホルダー／手洗器／オストメイト汚物流し	
	湯沸室（2階以上）	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	S	ビニル巾木	S	EP-G	-	C	デッキスラブ素地	-	-	流し台／水切棚／吊戸棚		IHコンロ
	SK（2階以上）	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	S	SUS巾木	S	EP-G	-	C	デッキスラブ素地	-	-	棚／ライニング／フック	SK流し	
	廊下1（2階～4階）	直天 ±0 -100,-10	C	タイルカーペット（FAフロアh100） C直均し	S A C	ビニル巾木 ALC素地 C化粧打放し	S A	EP-G ALC素地	準	C	（直天）デッキスラブ素地	準	ST		屋内消火栓	
	EVホール（2階～4階）	直天 ±0 -100,-10	C	タイルカーペット（FAフロアh100） C直均し	S A C	ビニル巾木 ALC素地 C化粧打放し	S A	EP-G ALC素地	準	C	（直天）デッキスラブ素地	準	ST			
	階段1（2階～4階）	直天 - -	S C	ビニル床シート C直均し	C S	C化粧打放し SOP	S	EP-G	不	-	-	不		手摺／ノンスリップ／視覚障害者用タイル		
	階段2（1階～5階）	直天 - -	S C	ビニル床シート C直均し	C A S	C化粧打放し ALC素地 SOP／ビニル巾木	C A S	C化粧打放し ALC素地 EP-G	不	-	-	不		手摺／ノンスリップ／視覚障害者用タイル		
	EPS	直天 ±0 -100,-10	C	ビニル床タイル（FAフロアh=100） C直均し	C A	C素地 ●床C直均し仕上げ部 ALC素地	C A S	C素地 ALC素地 GB素地	-	C	C素地／デッキスラブ素地	-		巾木立上り h=60まで		

階	室名	部位 天井高 仕上高 スラブ高	床 下地	床 仕上げ	幅木 下地	幅木 仕上げ	壁 柱型 下地	壁 柱型 仕上げ	壁 柱型 内装制限	天井 梁型 下地	天井 梁型 仕上げ	天井 梁型 内装制限	ブラインド・受け	備考 本体工事 建築工事	備考 本体工事 建築工事外	備考 本体工事外
共通	DS	直天 -90,±0 -10,-100	C	C直均し	C A	C素地 ●床C直均し仕上げ部 ALC素地	C A S	C素地 ALC素地 GB素地	-	C	C素地／デッキスラブ素地	-		巾木立上り h=60まで		
	PS,GPS,オイルPS	直天 -90,±0 -10,-100	C	C直均し	C A	C素地 ●床C直均し仕上げ部 ALC素地	C A S	C素地 ALC素地 GB素地	-	C	C素地／デッキスラブ素地	-		巾木立上り h=60まで		
	EVシャフト	- - -	-	-	C	C素地	C A S	C素地 ALC素地 GB素地	-	C	C素地	-		吊フック 20kN/台		
	廊下2（2階以上）	直天 ±0 -10	C	C直均し	C	C化粧打放し	S	EP-G	準	C	デッキスラブ素地	準				
	廊下3,4,6（2階以上、各階に特記なき限り）	直天 ±0 -10	C	タイルカーペット	S	ビニル巾木	S	EP-G	準	C	デッキスラブ素地	準				
	廊下5（2階以上、各階に特記なき限り）	直天 ±0 -10	C	タイルカーペット（一部FAフロアh100）	S	ビニル巾木	S	EP-G	準	C	デッキスラブ素地	準				
	廊下7（2階以上、各階に特記なき限り）	直天 ±0 -10	C	C直均し タイルカーペット	C S	C化粧打放し ビニル巾木	S	EP-G	準	C	デッキスラブ素地	準				
1階	風除室1・2	直天 ±0 -10	C	C直均し（誘発目地）	C	C化粧打放し	C	C化粧打放し	-	C W	断熱材 硬質木片セメント板 木染素地	-	ST	視覚障害者用タイル 自動扉安全柵		
	自販機コーナー	直天 ±0 -10,-30	C	C直均し（誘発目地）	C	C化粧打放し	C S	C化粧打放し EP-G	-	C W	断熱材 硬質木片セメント板 木染素地	-	ST		冷水器	
	市民ギャラリー	直天 ±0 -30	C	C直均し（誘発目地）	C W	C化粧打放し 木柱素地	C W	C化粧打放し 木柱素地	-	C W S	断熱材 硬質木片セメント板、木染素地 木ルーバー天井	-	ST		放射パネル	
	カフェスペース	直天 ±0 -30	C	C直均し（誘発目地）	C W	C化粧打放し 木柱素地	C W S	C素地 木柱素地 EP-G	-	C W	断熱材 硬質木片セメント板 木染素地	-	ST			
	厨房コーナー	直天 ±0 -30	C	C直均し（誘発目地）	C S	C化粧打放し ビニル巾木	C S	C化粧打放し EP-G	-	C W	断熱材（染型C化粧打放し） 硬質木片セメント板 木染素地	-	-	流し台／水切棚／吊戸棚		厨房機器，IHコンロ
	廊下1	直天 ±0 -10,-30	C	C直均し（誘発目地）	C W	C化粧打放し 木柱素地	C W	C化粧打放し 木柱素地	-	C	断熱材（染型C化粧打放し）	-	ST			
	階段3	直天 - -	S C	木無垢材 C直均し	C	C化粧打放し	C	C化粧打放し	-	- S	断熱材（染型C化粧打放し） EP-G	-		手摺／ノンスリップ／視覚障害者用タイル ポールキャスター		
	エントランスホール	直天 ±0 -10	C	C直均し（誘発目地）	C	C化粧打放し	C	C化粧打放し	不	C S	断熱材（染型C化粧打放し） 不燃木ルーバー天井	不	ST	総合案内カウンター 視覚障害者用タイル	放射パネル	
	ATMコーナー	直天 ±0 -10	C	C直均し（誘発目地）	C S	C化粧打放し ビニル巾木	C S	C化粧打放し EP-G	不	C	断熱材（染型C化粧打放し）	不	-			ATMブース
	証明書発券機置場	直天 ±0 -10	C	C直均し（誘発目地）	C S	C化粧打放し ビニル巾木	C S	C化粧打放し EP-G	不	C	断熱材（染型C化粧打放し）	不	-			
	階段1	直天 - -10	C	C直均し（誘発目地）	C	C化粧打放し	C	C化粧打放し	不	C	染型C化粧打放し	不		手摺／ノンスリップ／視覚障害者用タイル ポールキャスター		
	EVホール	直天 ±0 -10	C	C直均し（誘発目地）	C	C化粧打放し	C	C化粧打放し	不	C	断熱材（染型C化粧打放し）	不	ST			
	風除室3・4・前室	直天 ±0 -10	C	C直均し（誘発目地）	C	C化粧打放し	C S	C化粧打放し EP-G（風除室4）	不	C	断熱材（染型C化粧打放し）	不	ST	自動扉安全柵（風除室3・4） 視覚障害者用タイル（風除室4）		
	廊下2・3・4	直天 ±0 -10	C	C直均し（誘発目地）	C	C化粧打放し	C	C化粧打放し	不	C	断熱材（染型C化粧打放し）	不	ST			
	熱源機械室	直天 ±0,-1400 -10,-1410	C	合成樹脂塗床	C	床材立上げH60	C	C打放し(C) GW-B(h=2100以上・外壁は除く)	不	C	GW-B（染型C素地）	不	-	階段，手摺，ノンスリップ／機械基礎／吊フック		
	受水槽室	直天 0,-1400 -10,-1410	C	合成樹脂塗床	C	床材立上げH60	C	C打放し(C)	不	C	C素地	不	-	階段，手摺，ノンスリップ／機械基礎／吊フック		

［略　号］

2-FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り	B-FU	ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り	GB-R	せっこうボード（不燃認定品）	FK	無石綿セメントけい酸カルシウム板（不燃認定品）	ST	スチール	C	コンクリート	C化粧打放し	コンクリート化粧打放し仕上げ
2-FUC	常温乾燥形ふっ素樹脂ワニス塗り（クリアー）	B-UE	ポリウレタン樹脂焼付けエナメル塗り	GB-NC	不燃積層せっこうボード（不燃認定品）	DR	ロックウール化粧吸音板（不燃認定品）	SUS	ステンレス	M	モルタル下地	C打放し(B)	コンクリート打放し仕上げ（B）
2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り	B-AE	アクリル樹脂焼付けエナメル塗り	GB-S	シージングせっこうボード（不燃認定品）	GW	グラスウール　ガラスクロス張り	AL	アルミニウム	LC	軽量コンクリート	C打放し(C)	コンクリート打放し仕上げ（C）
2-ASC	アクリルシリコン樹脂ワニス塗り（クリアー）	CL	クリアラッカー塗り	GB-F	強化せっこうボード（不燃認定品）			S	軽量鉄骨	PC	プレキャストコンクリート	C素地	コンクリート素地
2-UE	2液形ポリウレタン樹脂エナメル塗り	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	GB-H	硬質せっこうボード（不燃認定品）			FB	フラットバー	CB	コンクリートブロック		
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	LE	木部ラッカーエナメル塗り	GW-B	グラスウール吸音ボード（不燃認定品）			PL	プレート	A,ALC	軽量気泡コンクリート		
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	OS	オイルステイン塗り	GB-D（T）化粧せっこうボード（トラバーチン模様）（不燃の場合はGB-NCに読替）				HL	ヘアライン	ECP	押出成形セメント板		
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	WP	木材保護塗料塗り	GB-D（W）化粧せっこうボード（木目模様）（不燃認定品）				MR	鏡面	AS防	アスファルト防水		
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	SIT	複層塗材SI							W	木		

w	幅	Ⓐ	アルミ回り縁	難	難燃材料
L, l	長さ	Ⓥ	塩ビ回り縁	準	準不燃材料
H, h	高さ	Ⓩ	目透し目地	不	不燃材料
D, d	奥行き			不	不燃材料（下地共）
φ	直径				
@	間隔				
t	厚さ				

16.02.25

竣工図	保管 ／ 承認 ／	訂正	特記
	確認 ／		
	作成（施工者） ／		
検図	/16.02.12		
製図	/16.02.05		
	/16.02.16		

設計	1級建築士登録第206250号　大坪　泰 印
設計	1級建築士登録第286712号　篠崎康志 印
設計	1級建築士登録第354901号　長友直子 印

NIHON SEKKEI　日本設計

桶川市新庁舎建設工事

図名	内部仕上表1
尺縮	-
図面番号	NSH.DWG　1022　枚ノ内
区分	建築（総合）

階	室名	部位 天井高 仕上高	床 下地	床 仕上げ	幅木 下地	幅木 仕上げ	壁 柱型 下地	壁 柱型 仕上げ	壁 柱型 内装	天井 梁型 下地	天井 梁型 仕上げ	天井 梁型 内装	ﾌﾟﾗｲﾏｰ受け	備考 本体工事	備考 本体工事	備考 本体工事外
1階	消火ポンプ室	直天 ±0 -10	C	合成樹脂塗床	C	床材立上げH500	C	C打放し(C)	(不)	C	C素地	(不)	-	機械基礎		
	喫煙室	直天 ±0 -10	C	合成樹脂塗床	C	C化粧打放し	C	C化粧打放し	(不)	C	断熱材 (梁型C化粧打放し)	(不)	-			
	倉庫1・2	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	C S	C化粧打放し ビニル巾木(倉庫2)	C S	C化粧打放し EP-G(倉庫2)	(不)	C	C打放し(C)	(不)	-			
	備蓄倉庫	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	C	C打放し(C)	C	C打放し(C)	(不)	C	C打放し(C)	(不)	-			
	警備員室	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	C S	C化粧打放し ビニル巾木	C S	C化粧打放し EP-G	(不)	C	断熱材 (梁型C化粧打放し)	(不)	-	カウンター		
	宿直室	直天 +115 -10	C W	畳 フローリング(木床組)	C S	C化粧打放し ビニル巾木	C S	C化粧打放し EP-G	(不)	C	断熱材 (梁型C化粧打放し)	(不)	-	押入		
	男子便所	直天 ±0 -10	C	C直均し/ ビニル床シート	C S	C化粧打放し SUS巾木	C S	C化粧打放し EP-G	(不)	C	断熱材 (梁型C化粧打放し)	(不)	-	便所ブース/洗面カウンター/手摺/鏡/汚ダレ石/ライニング	小・大便器/洗面器 ペーパーホルダー	
	女子便所	直天 ±0 -10	C	C直均し/ ビニル床シート	C S	C化粧打放し SUS巾木	C S	C化粧打放し EP-G	(不)	C	断熱材 (梁型C化粧打放し)	(不)	-	便所ブース/洗面カウンター/鏡 ライニング フィッティングボード	大便器/洗面器 ペーパーホルダー	
	だれでもトイレ	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	C S	C化粧打放し SUS巾木	C S	C化粧打放し EP-G	(不)	C	断熱材 (梁型C化粧打放し)	(不)	-	手摺/多目的シート ベビーシート/ライニング ベビーチェア/吊フック(2ヵ所)/鏡	大便器/洗面器 ペーパーホルダー/ 手洗器/ オストメイト汚物流し	
	SK	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	S C	SUS巾木 C打放し(C)	S C	EP-G C打放し(C)	(不)	C	断熱材 (梁型C化粧打放し)	(不)	-	棚/ライニング フック	SK流し	
	ごみ置場	直天 -50 -60	C	合成樹脂塗床	C	C打放し(C)	C	C打放し(C)	(不)	C	C打放し(C)	(不)	-	地流し		
	オイルポンプ室	直天 ±0 -10	C	合成樹脂塗床	C	C打放し(C)	C	C打放し(C)	(不)	C	C素地	(不)	-	機械基礎 防油堤/溜め桝		
	通路	直天 -100~±0 -10~-110	C	C直均しショットブラスト C鏡装ショットブラスト	C	C化粧打放し フッ素樹脂塗装(カラークリア)	C	C化粧打放し フッ素樹脂塗装(カラークリア)	-	C	C打放し(C) (梁型C化粧打放し)	-	-	郵便受箱 *外部仕上げに準ずる		
	ピロティ駐車場	直天 -50~±0 -60~-10	C	C直均し C鏡装刷毛引き	C	C化粧打放し フッ素樹脂塗装(カラークリア)	C	C化粧打放し フッ素樹脂塗装(カラークリア)	-	C	C打放し(C) (梁型C化粧打放し)	-	-	*外部仕上げに準ずる		
	倉庫3	直天 ±0 -10	C	C直均し	C	C打放し(C)	C	C打放し(C)	-	C	C打放し(C) (梁型C化粧打放し)	-	-			
2階	コミュニティFM局スペース	- ±0 -30,-800	C S	C直均し フローリング (鋼製床下地)	C W	C化粧打放し 木柱素地,木巾木	S W	EP-G 木柱素地	-	W	硬質木片ｾﾒﾝﾄ板 木梁素地	-	ST			
	情報コーナー	- ±0 -30,-800	C S	C直均し フローリング (鋼製床下地)	C W	C化粧打放し 木柱素地,木巾木	S W	EP-G 木柱素地	-	W	硬質木片ｾﾒﾝﾄ板 木梁素地	-	ST		放射パネル	
	市民活動室	- ±0 -150,-800	C S	断熱材の上 C直均し (嵩上げコンクリートh=100) フローリング (鋼製床下地)	S W	木巾木 木柱素地	S W	EP-G 木柱素地	-	W	硬質木片ｾﾒﾝﾄ板 木梁素地	-	ST		床冷暖房システム	
	AC1・2	- +15,-190,-790 -150,-200 -800	C	合成樹脂塗床	C	床材立上げH60	S C	GB素地 GW(h=2100以上) C打放し(C) GW(h=2100以上)	(不)	C	GW-B	(不)	-			
	廊下8	- ±0 -10,-30	C	C直均し (誘発目地)	C W	C化粧打放し 木柱素地	S C W	EP-G C化粧打放し 木柱素地	-	C W	C化粧打放し 構造用合板 木梁素地	-	ST			
	階段3	直天 - -	C S	C直均し 木無垢材	C	C化粧打放し	C S	C化粧打放し EP-G	-	C W	C化粧打放し 構造用合板 木梁素地	-	ST			
	ロビー	- ±0 -100,-200	C	断熱材の上 C直均し (嵩上げコンクリートh=102)	C	C化粧打放し	S	EP-G	(準)	C S	デッキスラブ素地 不燃木ルーバー天井	(準)	ST		床冷暖房システム	コンシェルジュカウンター
	待合	- ±0 -100,-200	C	断熱材の上 C直均し (嵩上げコンクリートh=102)	C	C化粧打放し	S	EP-G	(準)	C	デッキスラブ素地	(準)	ST		床冷暖房システム	記帳台

	室名	部位 天井高 仕上高 スラブ高	床 下地	床 仕上げ	幅木 下地	幅木 仕上げ	壁 柱型 下地	壁 柱型 仕上げ	壁 柱型 内装制限	天井 梁型 下地	天井 梁型 仕上げ	天井 梁型 内装制限	ﾌﾟﾗｲﾏｰ受け	備考 本体工事 建築工事	備考 本体工事 建築工事外	備考 本体工事外
2階	廊下7	- ±0 -10	C	C直均し (誘発目地)	A C	ALC素地 C化粧打放し	A S	ALC素地 EP-G	(不)	C	デッキスラブ素地	(不)	ST			
	コピーコーナー	- ±0 -10	C	ビニル床シート	C	C化粧打放し	S	EP-G	(不)	C	デッキスラブ素地	(不)	-			
	自動販売機コーナー	- ±0 -10	C	ビニル床シート	C	C化粧打放し	S	EP-G	(不)	C	デッキスラブ素地	(不)	-		冷水器	
	用務員室	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	(難)	C	デッキスラブ素地	(難)	ST			
	電話交換室	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	(準)	C	デッキスラブ素地	(準)	ST			
	こどもコーナー	直天 ±0 -10	C	C直均し	S	ビニル巾木	S	EP-G	(準)	C	デッキスラブ素地	(準)	ST			
	授乳室	- ±0 -10	C	ビニル床シート	A S	ALC素地 木巾木 ビニル巾木	A S S	ALC素地 不燃木パネル EP-G	(準)	C	デッキスラブ素地	(準)	ST			
3階	災害対策本部	直天 ±0 -10	C	タイルカーペット	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	(不)	C	GW-B	(不)	ST			
	物入	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	S	ビニル巾木	S	EP-G	(不)	C	デッキスラブ素地	(不)	-			
	市長室	直天,隠示 ±0 -10	C	タイルカーペット(上級1)	S	木巾木	S	不燃木パネル(CH2135まで) EP-G(CH2135~上部スラブ,柱)	(準)	C S	デッキスラブ素地 クロス張り	(準)	ST			
	応接室	直天,隠示 ±0 -10	C	タイルカーペット(上級1)	S C	木巾木 EP-G	S C	不燃木パネル(CH2135まで) EP-G(CH2135~上部スラブ,柱) EP-G(窓腰壁部)	(準)	C S	デッキスラブ素地 EP-G	(準)	ST			
	副市長室	直天 ±0 -10	C	タイルカーペット(上級3)	S C	木巾木 EP-G	S C	クロス張り(上級3) EP-G(柱) EP-G(窓腰壁部)	(難)	C	デッキスラブ素地	(難)	ST			
	秘書広報課	直天 ±0 -10,-100	C	タイルカーペット (一部FAフロアh=100)	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	(準)	C	デッキスラブ素地	(準)	ST			
	洗面室	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	S	ビニル巾木	S	EP-G	-	C	デッキスラブ素地	-	-	洗面カウンター/鏡/ライニング	洗面器	
	便所	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	S	ビニル巾木	S	EP-G	-	C	デッキスラブ素地	-	-	ライニング	大便器/ ペーパーホルダー	
	相談室1	直天 ±0 -100	C	タイルカーペット (FAフロアh100)	S	木巾木	S	不燃木パネル(CH2135まで) EP-G(CH2135~上部スラブ)	(難)	C	デッキスラブ素地	(難)	ST			
	相談室2,3	直天 ±0 -100	C	タイルカーペット (FAフロアh100)	S	ビニル巾木	S	EP-G	(不)	C	デッキスラブ素地	(不)	ST			
	廊下3・4・6	直天 ±0 -100	C	タイルカーペット (FAフロアh100)	S	ビニル巾木	S	EP-G	(準)	C	デッキスラブ素地	(準)	-			
	倉庫2	直天 ±0 -100	C	タイルカーペット (FAフロアh100)	S	ビニル巾木	S	EP-G	-	C	デッキスラブ素地	-	-			
	会議室5	直天 ±0 -100	C	タイルカーペット (FAフロアh100)	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	(難)	C	デッキスラブ素地	(難)	ST			
	消費生活センター	直天 ±0 -100	C	ビニル床シート (FAフロアh100)	S	ビニル巾木	S	EP-G	(不)	C	デッキスラブ素地	(不)	-			
	電算室1・2	直天 ±0 -100	C	タイルカーペット (FAフロアh=100) (重荷重用)	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	(不)	C	デッキスラブ素地	(不)	-			

[略　号]

2-FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り	B-FU	ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り	GB-R	せっこうボード (不燃認定品)	FK	無石綿セメントけい酸カルシウム板 (不燃認定品)	ST	スチール	C	コンクリート	C化粧打放し	コンクリート化粧打放し仕上げ	w	幅	Ⓐ	アルミ回り縁	難	難燃材料
2-FUC	常温乾燥形ふっ素樹脂ワニス塗り(クリアー)	B-UE	ポリウレタン樹脂焼付けエナメル塗り	GB-NC	不燃積層せっこうボード (不燃認定品)	DR	ロックウール化粧吸音板 (不燃認定品)	SUS	ステンレス	M	モルタル下地	C打放し(B)	コンクリート打放し仕上げ(B)	L, l	長さ	Ⓥ	塩ビ回り縁	準	準不燃材料
2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り	B-AE	アクリル樹脂焼付けエナメル塗り	GB-S	シージングせっこうボード (不燃認定品)	GW	グラスウール　ガラスクロス張り	AL	アルミニウム	LC	軽量コンクリート	C打放し(C)	コンクリート打放し仕上げ(C)	H, h	高さ	Ⓩ	目透し目地	不	不燃材料
2-ASC	アクリルシリコン樹脂ワニス塗り(クリアー)	CL	クリアラッカー塗り	GB-F	強化せっこうボード (不燃認定品)			S	軽量鉄骨	PC	プレキャストコンクリート	C素地	コンクリート素地	D, d	奥行き			不	不燃材料(下地共)
2-UE	2液形ポリウレタン樹脂エナメル塗り	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	GB-H	硬質せっこうボード (不燃認定品)			FB	フラットバー	CB	コンクリートブロック			φ	直径				
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	LE	木部ラッカーエナメル塗り	GW-B	グラスウール吸音ボード (不燃認定品)			PL	プレート	A, ALC	軽量気泡コンクリート			@	間隔				
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	OS	オイルステイン塗り	GB-D(T)	化粧せっこうボード(トラバーチン模様) (不燃の場合はGB-NCに読替)			HL	ヘアライン	ECP	押出成形セメント板			t	厚さ				
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	WP	木材保護塗料塗り	GB-D(W)	化粧せっこうボード(木目模様) (不燃認定品)			MR	鏡面	AS防	アスファルト防水								
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	SIT	複層塗材SI							W	木								

16.02.25

NIHON SEKKEI	日本設計	/16.02.16 検図 /16.02.12 製図 /16.02.05	竣工図 保管 / . . 承認 / . . 確認 / . . 作成(消防等) / . .	訂正	特記	設計 1級建築士登録 第206250号 大坪 泰 印 設計 1級建築士登録 第286712号 篠崎康志 印 設計 1級建築士登録 第354901号 長友直子 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 内部仕上表2 縮尺 -	NSH.DWG 枚ノ内 図面番号 1023 区分 建築(総合)

階	室名	部位 天井高 仕上高	床 下地	床 仕上げ	幅木 下地	幅木 仕上げ	壁 柱型 下地	壁 柱型 仕上げ	壁 柱型 内装制限	天井 梁型 下地	天井 梁型 仕上げ	天井 梁型 内装制限	ﾌﾟﾗｲﾏｰ受け	備考 本体工事	備考 本体工事	備考 本体工事外
3階	防災無線室	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	S	ビニル巾木	S	EP-G	不	C	デッキスラブ素地	不	-			
	授乳室	- ±0 -10	C	ビニル床シート	A S	ALC素地 木巾木 ビニル巾木	A S S	ALC素地 不然木パネル EP-G	準	C	デッキスラブ素地	準	ST			
	書庫	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	-	C	デッキスラブ素地	-	ST-L			
	こどもコーナー	直天 ±0 -10	C	C直均し (誘発目地)	S	ビニル巾木	S	EP-G	準	C	デッキスラブ素地	準	ST			
4階	組合事務所	直天 ±0 -100	C	タイルカーペット (FAフロアh=100)	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	不	C	デッキスラブ素地	不	ST			
	監査委員事務局	直天 ±0 -100	C	タイルカーペット (FAフロアh=100)	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	難	C	デッキスラブ素地	難	ST			
	選挙管理委員会事務局	直天 ±0 -100	C	タイルカーペット (FAフロアh=100)	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	不	C	デッキスラブ素地	不	ST	物入		
	物入	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	S	ビニル巾木	S	EP-G	不	C	デッキスラブ素地	不	-			
	会議室兼職員食事室	直天 ±0 -10	C	タイルカーペット ビニル床シート(手洗い部)	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	難	C	GW-B デッキスラブ素地(手洗い部)	難	ST	ライニング	洗面台	
	応接室	直天 ±0 -10	C	タイルカーペット(上級3)	S C	木巾木 EP-G	S C	クロス張り(上級3) EP-G(柱) EP-G(窓腰壁部)	準	C	デッキスラブ素地	準	ST			
	教育長室	直天 ±0 -10	C	タイルカーペット(上級3)	S C	木巾木 EP-G	S C	クロス張り(上級3) EP-G(柱) EP-G(窓腰壁部)	準	C	デッキスラブ素地	準	ST			
	情報公開コーナー	直天 ±0 -100	C	タイルカーペット (FAフロアh=100)	S	ビニル巾木	S	EP-G	不	C	デッキスラブ素地	不	-			
	印刷室	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	不	C	デッキスラブ素地	不	ST			
5階	全員協議会室	直天,図示 ±0 -10	C	タイルカーペット(上級2)	S C	木巾木 EP-G	S C	クロス張り(上級2) EP-G(柱) EP-G(窓腰壁部)	難	C S	デッキスラブ素地 GW-B厚	難	ST			
	議員控室	直天 ±0 -10	C	タイルカーペット	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 クロス張り	難	C	デッキスラブ素地	難	ST	移動間仕切		
	委員会室	直天 ±0 -10	C	タイルカーペット(上級2)	S C	木巾木 EP-G	S C	クロス張り(上級2) EP-G(柱) EP-G(窓腰壁部)	難	C	GW-B	難	ST			
	議会図書室	直天 ±0 -10	C	タイルカーペット	S	ビニル巾木	S	EP-G	不	C	デッキスラブ素地	不	-			
	議会事務局	直天 ±0 -100	C	タイルカーペット (FAフロアh=100)	S	ビニル巾木	S	EP-G	不	C	デッキスラブ素地	不	-	カウンター		
	議長室	直天,2800 ±0 -10	S	タイルカーペット(上級2)	S	木巾木	S	クロス貼り (上級2)	不	C S	デッキスラブ素地 クロス張り	不	-			
	執行部控室	直天 ±0 -10	S	タイルカーペット	S	ビニル巾木	S	EP-G	不	C	デッキスラブ素地	不	-			
	議場	直天 ±0~+950 -100	S	タイルカーペット(上級1) (鋼製床下地)	S	木巾木	S	クロス張り(上級1) 不燃木パネル EP-G	準	C	GW-B 一部不燃木ルーバー	準	-	階段/手摺		傍聴席
	眺望スペース	直天 650 -10	S	タイルカーペット (鋼製床下地h=650)	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	準	C	デッキスラブ素地	準	ST	視覚障害者用タイル/ 手摺		

階	室名	部位 天井高 仕上高 スラブ高	床 下地	床 仕上げ	幅木 下地	幅木 仕上げ	壁 柱型 下地	壁 柱型 仕上げ	壁 柱型 内装制限	天井 梁型 下地	天井 梁型 仕上げ	天井 梁型 内装制限	ﾌﾟﾗｲﾏｰ受け	備考 本体工事 建築工事	備考 本体工事 建築工事外	備考 本体工事外
5階	AC	直天 ±0,+650 -10	C	合成樹脂塗床 (一部グレーチング敷)	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 GB素地 GW(h=2100以上)	不	C	GW-B	不	-	機械基礎		
	男子・女子休憩室	直天 0,115 -10	C W	畳, ビニル床シート フローリング(木床組)	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 クロス張り	難	C	デッキスラブ素地	難	ST	上がり框 ライニング	手洗い	
	書庫	直天 ±0 -35	C	ビニル床シート	S	ビニル巾木	S	EP-G	-	C	デッキスラブ素地	-	-	移動書架レール溝		移動書架(電動)
	喫煙室	直天 ±0 -10	C	合成樹脂塗床	S	ビニル巾木	S	EP-G	難	C	デッキスラブ素地	難	-			
	電気室	直天 200 -10	C	合成樹脂塗床 (嵩上げコンクリートh=200)	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	準	C	デッキスラブ素地	準	-	配線ピット 機械基礎		
	EVホール	直天 ±0 -10	C	タイルカーペット C直均し	S C A	ビニル巾木 C打放し(A) ALC素地	S A	EP-G ALC素地	準	C	(直天) デッキスラブ素地	準	ST			
	廊下1	直天 ±0 -10	C	タイルカーペット C直均し	S A C	ビニル巾木 ALC素地 C化粧打放し	S A	EP-G ALC素地	準	C	(直天) デッキスラブ素地	準	ST		屋内消火栓 冷水器	
	廊下3~5, 9~10	直天 ±0 -10	C	タイルカーペット	S	ビニル巾木	S	EP-G	準	C	デッキスラブ素地	準	-			
	廊下6	直天 ±0 -10	C	タイルカーペット	A S	ALC素地 ビニル巾木	A S	ALC素地 EP-G	準	C	デッキスラブ素地	準	ST			
	廊下7	直天 ±0~+650 -10	C S	タイルカーペット (一部鋼製床下地)	A S	ALC素地 ビニル巾木	A C S	ALC素地 C化粧打放し EP-G	準	C	デッキスラブ素地	準	ST	スロープ/階段/ 手摺/ノンスリップ/ 視覚障害者用タイル		
	階段1	直天 ±0 -10	S C	ビニル床シート C直均し	C A	C化粧打放し ALC素地	C A S	C化粧打放し ALC素地 EP-G	不	C	デッキスラブ素地	不	-	手摺/ノンスリップ/ 視覚障害者用タイル 換気パネル		
	廊下8	直天 ±0~+650 -100	S	タイルカーペット (鋼製床下地)	S	ビニル巾木	S	EP-G	準	C	デッキスラブ素地	準	-	スロープ		
PH階	EVホール	直天 ±0 -10	C	ビニル床シート	C	C打放し(A)	C A S	C打放し(A) ALC素地 EP-G	準	C	デッキスラブ素地	準	-			
	階段2	直天 - -	S C	ビニル床シート C直均し	C	C打放し(A)	C A S	C打放し(A) ALC素地 EP-G	不	C	デッキスラブ素地	不		手摺/ノンスリップ/ 視覚障害者用タイル/ 換気パネル		
地下ピット階	雨水利用槽		C	塗布防水	C	塗布防水	C	塗布防水		C	C素地			沈砂槽/釜場/ タラップ/人通口/ 通気管/通水管/		
	井水貯留槽 消火水槽 雑用水槽		C	塗布防水	C	塗布防水	C	塗布防水		C	C素地			釜場/タラップ		
	雑排水槽 汚水槽		C	ビニルエステル樹脂ガラスマット 2プライ (水勾配1/15)	C	ビニルエステル樹脂ガラスマット 2プライ	C	ビニルエステル樹脂ガラスマット 2プライ		C	ビニルエステル樹脂ガラスマット 2プライ			釜場/タラップ		
	EVピット ESCピット		C	嵩上げC直均し+湧水マット	C	塗布防水	C	塗布防水		—	—					
	湧水ピット		C	C直均し	C	C素地	C	C素地		C	断熱材			釜場/タラップ/ 人通口/通気管 通水管/U字溝		
	雨水流出抑制水槽		C	塗布防水	C	塗布防水	C	塗布防水		—	C素地			釜場/タラップ/ 人通口/通気管 通水管/U字溝		
	都市ガス引込ピット オイル配管ピット		C	C直均し	C	C素地	C	C素地		C	C素地					
免震ピット	免震ピット	直天 ±0 -	C	C直均し (外周部)塗膜防水	C	C素地	C	C素地		C	ロックウール吹付け			FL=SL=2FL-1900 免震装置/ マシンハッチ/ 水抜きパイプ		

2-FUE 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り	B-FU ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り	GB-R せっこうボード (不燃認定品)	FK 無石綿セメントけい酸カルシウム板 (不燃認定品)	ST スチール	C コンクリート	C化粧打放し コンクリート化粧打放し仕上げ	w 幅
2-FUC 常温乾燥形ふっ素樹脂ウニス塗り(クリアー)	B-UE ポリウレタン樹脂焼付けエナメル塗り	GB-NC 不燃積層せっこうボード (不燃認定品)	DR ロックウール化粧吸音板 (不燃認定品)	SUS ステンレス	M モルタル下地	C打放し(B) コンクリート打放し仕上げ(B)	L, l 長さ
2-ASE アクリルシリコン樹脂エナメル塗り	B-AE アクリル樹脂焼付けエナメル塗り	GB-S シージングせっこうボード (不燃認定品)	GW グラスウール ガラスクロス張り	AL アルミニウム	LC 軽量コンクリート	C打放し(C) コンクリート打放し仕上げ(C)	H, h 高さ
2-ASC アクリルシリコン樹脂ウニス塗り(クリアー)	CL クリアラッカー塗り	GB-F 強化せっこうボード (不燃認定品)		S 軽量鉄骨	PC プレキャストコンクリート	C素地 コンクリート素地	D, d 奥行き
2-UE 2液形ポリウレタン樹脂エナメル塗り	UC ウレタン樹脂ウニス塗り	GB-H 硬質せっこうボード (不燃認定品)		FB フラットバー	CB コンクリートブロック		φ 直径
NAD アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	LE 木部ラッカーエナメル塗り	GW-B グラスウール吸音ボード (不燃認定品)		PL プレート	A, ALC 軽量気泡コンクリート		@ 間隔
SOP 合成樹脂調合ペイント塗り	OS オイルステイン塗り	GB-D(T)化粧せっこうボード(トラバーチン模様) (不燃の場合はGB-NCに読替)		HL ヘアライン	ECP 押出成形セメント板		t 厚さ
EP-G つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	WP 木材保護塗料塗り	GB-D(W)化粧せっこうボード(木目模様) (不燃認定品)		MR 鏡面	AS防 アスファルト防水		
EP 合成樹脂エマルションペイント塗り	SIT 複層塗材SI				W 木		

Ⓐ アルミ回り縁	難 難燃材料	
Ⓥ 塩ビ回り縁	準 準不燃材料	
Ⓩ 目透し目地	不 不燃材料	
	不 不燃材料(下地共)	

16.02.25

NIHON SEKKEI 日本設計

	/16.02.16	竣工図 保管 / . . 承認 / . .
検図	/16.02.12	確認 / . .
製図	/16.02.05	作成(責任者) / . .

訂正 . . . . . 特記

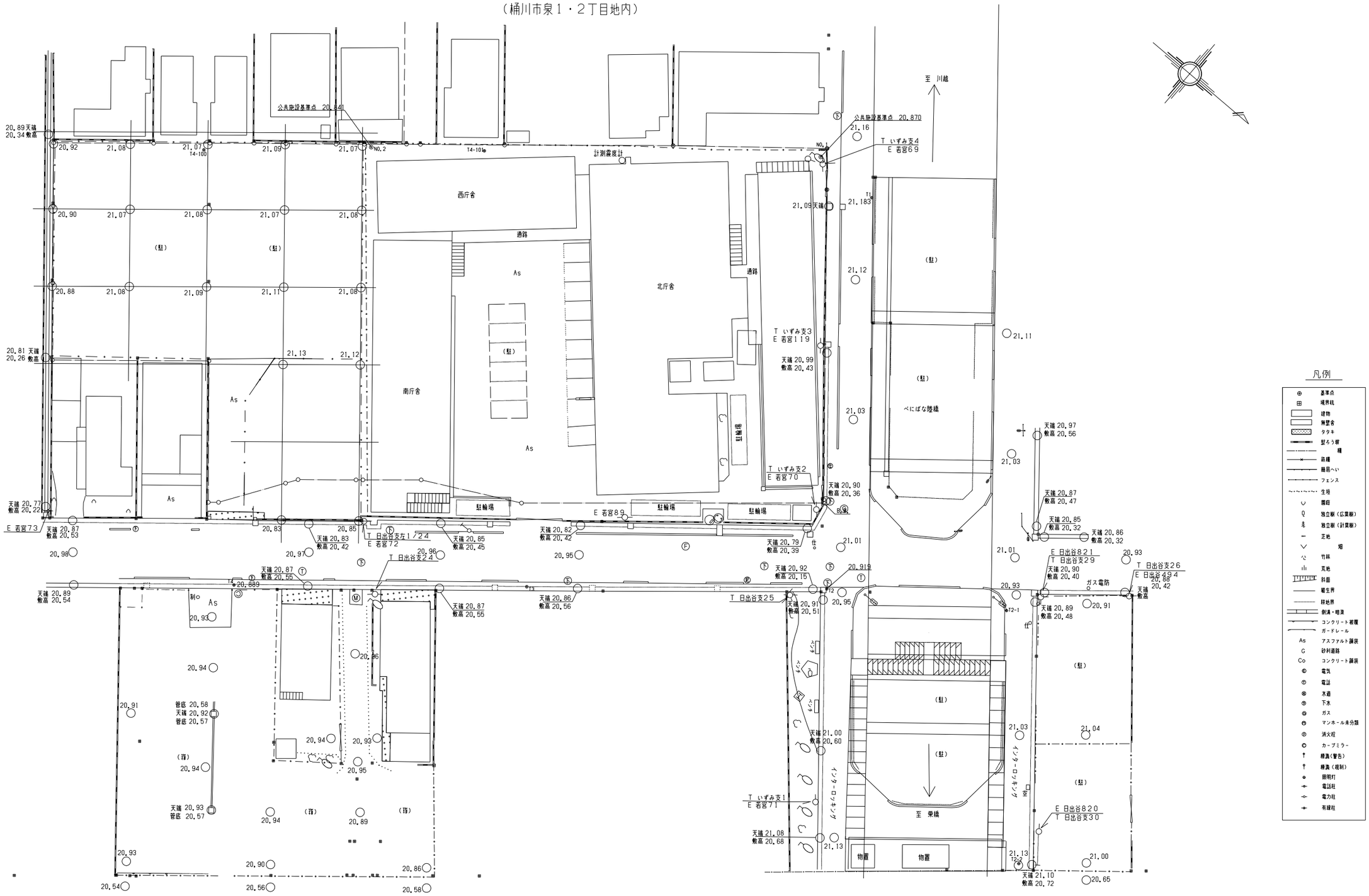
設計	1級建築士登録 第206250号	大坪 泰 印
設計	1級建築士登録 第286712号	篠崎康志 印
設計	1級建築士登録 第354901号	長友直子 印

桶川市新庁舎建設工事

図面名称	内部仕上表3
縮尺	-
NSH.DWG	
枚ノ内 図面番号	1024
区分	建築(総合)

高低測量図

（桶川市泉１・２丁目地内）



＊施主支給資料を計画建物に合わせて回転

16.02.25

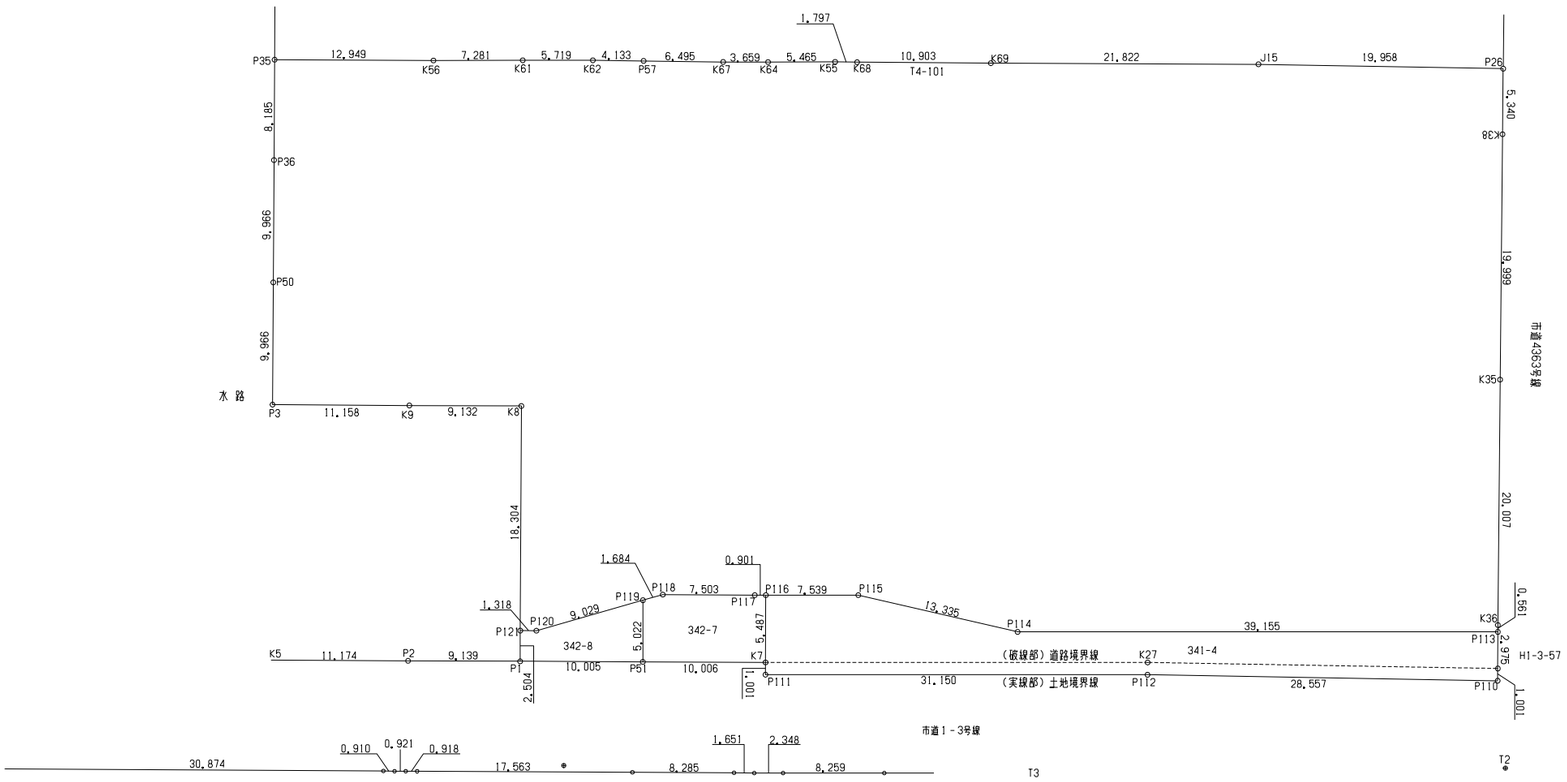
日本設計	/16.02.16	竣工図 保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	設計	1級建築士登録第206250号	大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 現況高低測量図
	検図 /16.02.12	確認 / . .			設計	1級建築士登録第286712号	鐘崎康志 印		縮尺 A1: 1/250 A3: 1/500
	製図 /16.02.05	作成（設計者） / . .			設計	1級建築士登録第354901号	長友直子 印		区分 建築（総合）

OST.DWG

枚ノ内 図面番号 1031

用地実測図

（桶川市泉１丁目地内）



座標求積表

点名	X	Y	(Xn+1-Xn-1)Yn	
P26	15.757	-24537.748	789513.242496	
J15	0.287	-24525.138	615253.572918	
K69	-16.435	-24511.118	239380.953429	
K68	-24.814	-24504.141	136016.164102	
K55	-26.204	-24503.002	170540.734099	
K64	-30.365	-24499.459	191395.865739	
K67	-33.165	-24497.103	200940.358696	
P57	-38.178	-24492.974	185073.552279	
K62	-41.369	-24490.347	242809.651148	
K61	-45.735	-24486.653	379004.913140	
K56	-51.285	-24481.94	114658.961235	
P35	-61.216	-24473.631	-284653.138266	
P36	-55.97	-24467.349	-312521.586900	
P50	-49.582	-24459.7	-365655.970654	
P3	-43.193	-24452.051	-380683.019928	
K9	-34.628	-24459.202	-458646.629796	
K8	-27.629	-24465.068	-311970.717288	
P121	-15.881	-24451.032	-147664.885203	
P120	-14.87	-24451.877	-145924.637216	
P119	-9.842	-24459.376	-163764.881930	
P118	-8.904	-24460.774	-157680.701770	
P117	-3.147	-24465.586	-157708.918928	
P116	-2.459	-24466.168	-431106.223595	
P115	3.299	-24471.035	-1022189.509452	
P114	15.158	-24477.132	-723825.693810	
P113	45.06	-24502.41	321844.790265	
K36	44.699	-24502.839	626097.700032	
K35	31.925	-24518.237	396659.810680	
K38	19.163	-24533.635	463174.531248	
倍面積			8368.286770	㎡
面　積			4184.143385	㎡
地　積			4184.14	㎡

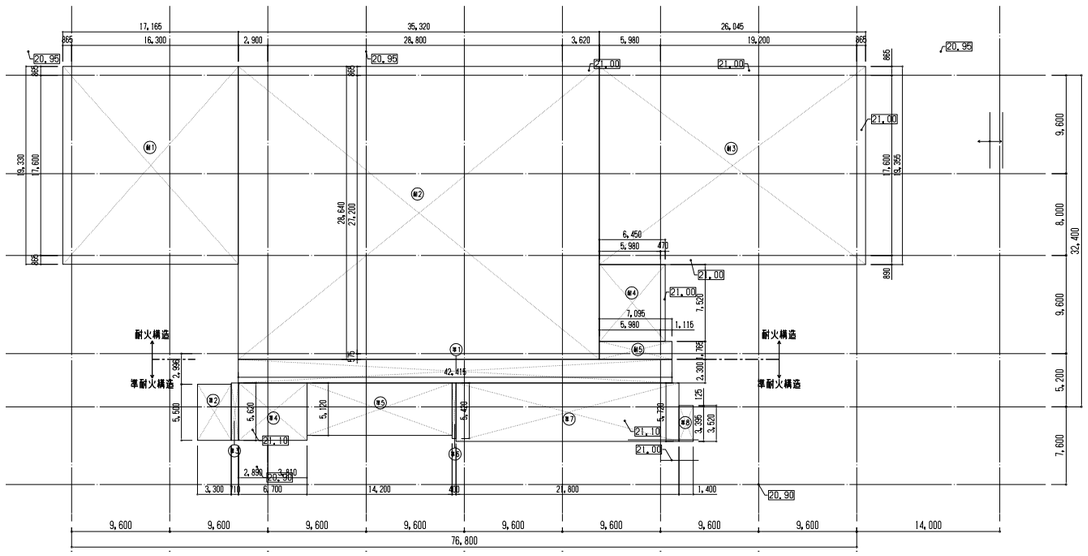
※施主支給資料による座標点を基に算定

16.02.25

日本設計	/16.02.16	竣工図 保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記 ※桶川市より受領した用地実測図を元に作図したものです。	設計 1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図名 敷地求積図
	検図 /16.02.12	確認 / . .			設計 1級建築士登録第286712号 篠崎康志 印		尺度 A1: 1/250 A3: 1/500
	製図 /16.02.05	作成 / . .			設計 1級建築士登録第354901号 長友直子 印		区分 建築(総合)

STS_NS.DWG

／ 枚ノ内 図面番号 1032



1 建築面積　求積図
S=1/300

建築面積集計

番号	ゾーン	面積	計算式
耐1	建築面積	331.799450m2	17.165x19.330
耐2	建築面積	1011.564800m2	35.320x28.640
耐3	建築面積	504.100975m2	26.045x19.355
耐4	建築面積	48.504000m2	6.450x7.520
耐5	建築面積	12.522675m2	7.095x1.765
耐火構造小計		1908.49~~1900~~m2	

番号	ゾーン	面積	計算式
準1	建築面積	97.554500m2	42.415x2.300
準2	建築面積	18.150000m2	3.300x5.500
準3	建築面積	3.990200m2	0.710x5.620
準4	建築面積	37.654000m2	6.700x5.620
準5	建築面積	72.704000m2	14.200x5.120
準6	建築面積	2.168000m2	0.400x5.420
準7	建築面積	124.696000m2	21.800x5.720
準8	建築面積	4.928000m2	1.400x3.520
準耐火構造小計		361.84~~700~~m2	

耐火構造＋準耐火構造	1908.49m2+361.84m2
合　計	2270.33m2

1階【容積対象面積】耐火構造　　EV（昇降機）

番号	ゾーン	面積	計算式
耐1	1階	401.984000m2	22.840x17.600
耐2	1階	58.310000m2	5.950x9.800
耐3	1階	22.002000m2	5.790x3.800
耐4	1階	18.315000m2	6.660x2.750
耐5	1階	9.775500m2	1.900x5.145
耐6	1階	37.345450m2	10.345x3.610
耐7	1階	67.620000m2	6.900x9.800
耐8	1階	49.140000m2	4.680x10.500
耐9	1階	62.560000m2	10.880x5.750
EV1	1階	−28.047450m2	6.470x4.335
EV2	1階	−1.716605m2	1.357x1.265
EV3	1階	−1.511675m2	1.195x1.265
小計		695.77~~6220~~m2	

1階【容積対象面積】準耐火構造

番号	ゾーン	面積	計算式
準1	1階	18.833000m2	7.400x2.545
準2	1階	2.608500m2	0.740x3.525
準3	1階	20.691000m2	5.700x3.630
準4	1階	5.618500m2	1.700x3.305
準5	1階	93.825000m2	13.500x6.950
準6	1階	130.432500m2	16.830x7.750
準7	1階	17.644250m2	3.965x4.450
小計		289.65~~2750~~m2	

計算式	695.77m2+289.65m2
合計	985.42m2

1階【容積対象外】

番号	ゾーン	面積	計算式
A	駐車場	25.088000m2	1.960x12.800
B	駐車場	156.000000m2	80.000x1.950
C	駐車場	38.645000m2	2.950x13.100
D	駐車場	11.818000m2	3.110x3.800
E	駐車場	109.010000m2	39.640x2.750
F	駐車場	491.712500m2	34.750x14.150
G	駐車場	51.680000m2	10.880x4.750
H	駐車場	54.775500m2	28.090x1.950
I	駐車場	70.512750m2	11.550x6.105
J	駐車場	43.449525m2	8.445x5.145
K	駐車場	165.100500m2	19.310x8.550
合計		1217.79~~1775~~m2	

番号	ゾーン	面積	計算式
EV1	EV	28.047450m2	6.470x4.335
EV2	EV	1.716605m2	1.357x1.265
EV2	EV	1.511675m2	1.195x1.265
EV小計		31.27~~5730~~m2	
L	備蓄倉庫	19.63~~5000~~m2	5.950x3.300

計算式	1217.79m2+31.27m2+19.63m2
合計	1268.69m2

1階 床面積

ゾーン		面積
容積対象面積		985.42m2
容積対象外面積	駐車場	1217.79m2
	EV	31.27m2
	備蓄倉庫	19.63m2
床面積		2254.11m2

2階【容積対象面積】耐火構造　　EV（昇降機）.ESC（エスカレータ）

番号	ゾーン	面積	計算式
耐1	2階	1505.280000m2	78.400x19.200
耐2	2階	308.437500m2	32.900x9.375
耐3	2階	10.745125m2	6.415x1.675
EV	2階	−17.808840m2	5.348x3.330
ESC	2階	−7.481250m2	2.375x3.150
小計		1799.17~~2535~~m2	

2階【容積対象面積】準耐火構造

番号	ゾーン	面積	計算式
準1	2階	14.182500m2	3.050x4.650
準2	2階	145.519100m2	20.938x6.950
準3	2階	38.520725m2	6.613x5.825
準4	2階	6.196625m2	2.785x2.225
準5	2階	3.738000m2	1.680x2.225
準6	2階	65.167375m2	11.795x5.525
準7	2階	7.657250m2	1.405x5.450
階1	2階	5.268500m2	4.100x1.285
階2	2階	6.211200m2	3.235x1.920
階3	2階	0.708000m2	1.200x0.590
階4	2階	4.873825m2	2.035x2.395
階5	2階	6.024875m2	3.925x1.535
小計		304.06~~7975~~m2	

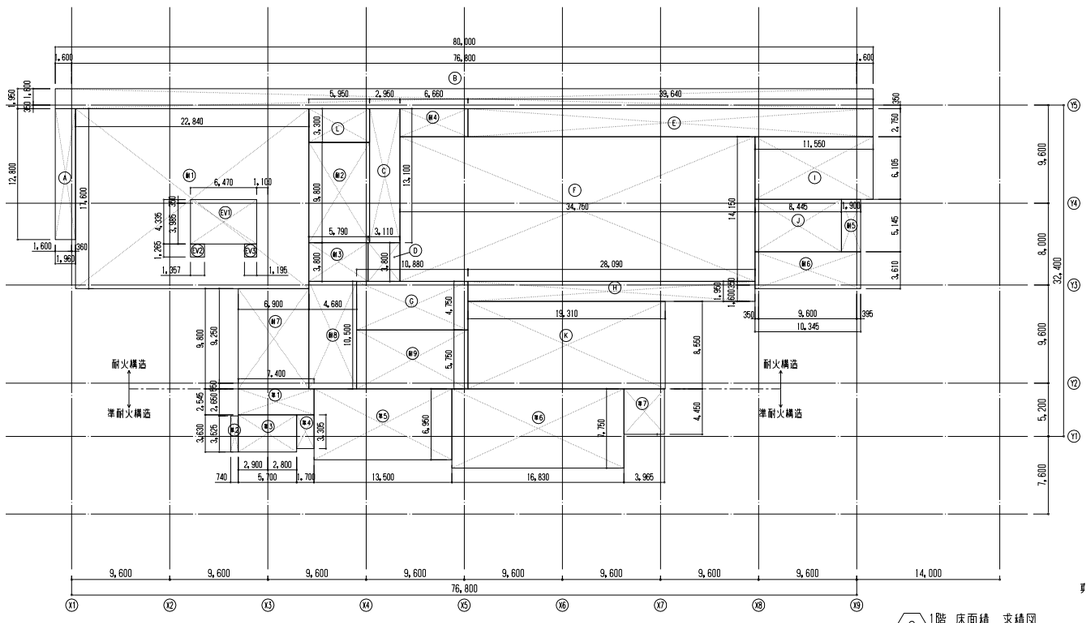
計算式	1799.17m2+304.06m2
合計	2103.23m2

2階【容積対象外】

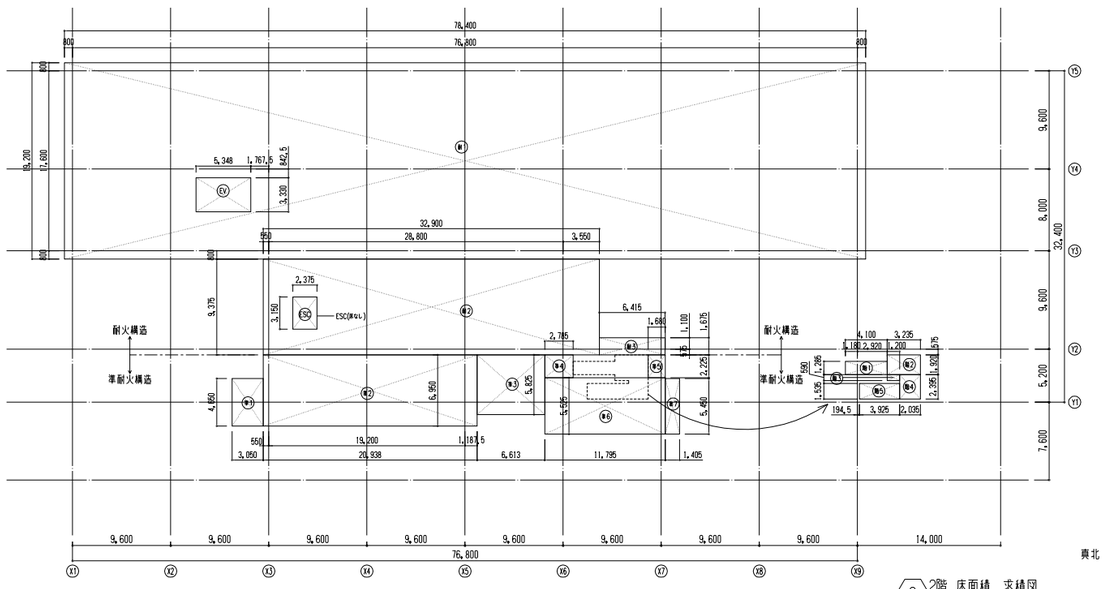
番号	ゾーン	面積	計算式
EV	2階	17.808840m2	5.348x3.330
合計		17.808~~840~~m2	

2階 床面積

ゾーン		面積
容積対象面積		2103.23m2
容積対象外面積	EV	17.80m2
床面積		2121.03m2



2 1階 床面積　求積図
S=1/300



3 2階 床面積　求積図
S=1/300

16.02.25

日本設計	作図 /16.02.16	保管 / . . 承認 / . .	訂正
	検図 /16.02.12	確認 / . .	
	製図 /16.02.05	作成（補助者） / . .	

特記

設計	1級建築士登録第206250号	大坪　泰 印
設計	1級建築士登録第286712号	篠崎康志 印
設計	1級建築士登録第354901号	長友直子 印

桶川市新庁舎建設工事

表示図面	建物求積図1	KYU.DWG
尺度	A1: 1/300　A3: 1/600	図面番号 1033 枚ノ内
		区分 建築（総合）

単位（m2）

延べ面積										
容積対象面積				容積対象外面積						
階	準耐火構造	耐火構造	合計	EV（昇降機）	備蓄倉庫	駐車場	合計	準耐火構造合計	耐火構造合計	合計
PH階	–	42.80	42.80	19.19	–	–	19.19	–	61.99	61.99
5階	–	1518.59	1518.59	17.80	–	–	17.80	–	1536.39	1536.39
4階	–	1767.03	1767.03	17.80	–	–	17.80	–	1784.83	1784.83
3階	–	1767.03	1767.03	17.80	–	–	17.80	–	1784.83	1784.83
2階	304.06	1799.17	2103.23	17.80	–	–	17.80	304.06	1816.97	2121.03
1階	289.65	695.77	985.42	31.27	19.63	1217.79	1268.69	289.65	1964.46	2254.11
合計	593.71	7590.39	8184.10	121.66	19.63	1217.79	1359.08	593.71	8949.47	9543.18

PH階【容積対象面積】耐火構造　EV（昇降機）

番号	ゾーン	面積	計算式
1	PH階	13.376440m2	5.656x2.365
2	PH階	29.425500m2	6.500x4.527
合計		42.80~~1940~~m2	

PH階EV【容積対象外】

番号	ゾーン	面積	計算式
EV	PH階	19.195330m2	5.654x3.395
合計		19.19~~5330~~m2	

PH階 床面積

ゾーン		面積
容積対象面積		42.80m2
容積外対象面積	EV	19.19m2
床面積		61.99m2

5階【容積対象面積】耐火構造　EV（昇降機）

番号	ゾーン	面積	計算式
1	5階	1505.280000m2	78.400x19.200
2	5階	31.122500m2	10.550x2.950
EV	5階	−17.808840m2	5.348x3.330
合計		1518.59~~3660~~m2	

5階EV【容積対象外】

番号	ゾーン	面積	計算式
EV	5階	17.808840m2	5.348x3.330
合計		17.808~~840~~m2	

5階 床面積

ゾーン		面積
容積対象面積		1518.59m2
容積外対象面積	EV	17.80m2
床面積		1536.39m2

4階【容積対象面積】耐火構造　EV（昇降機）

番号	ゾーン	面積	計算式
1	4階	1505.280000m2	78.400x19.200
2	4階	279.565000m2	29.900x9.350
EV	4階	−17.808840m2	5.348x3.330
合計		1767.03~~6160~~m2	

4階EV【容積対象外】

番号	ゾーン	面積	計算式
EV	4階	17.808840m2	5.348x3.330
合計		17.808~~840~~m2	

4階 床面積

ゾーン		面積
容積対象面積		1767.03m2
容積外対象面積	EV	17.80m2
床面積		1784.83m2

3階【容積対象面積】耐火構造　EV（昇降機）

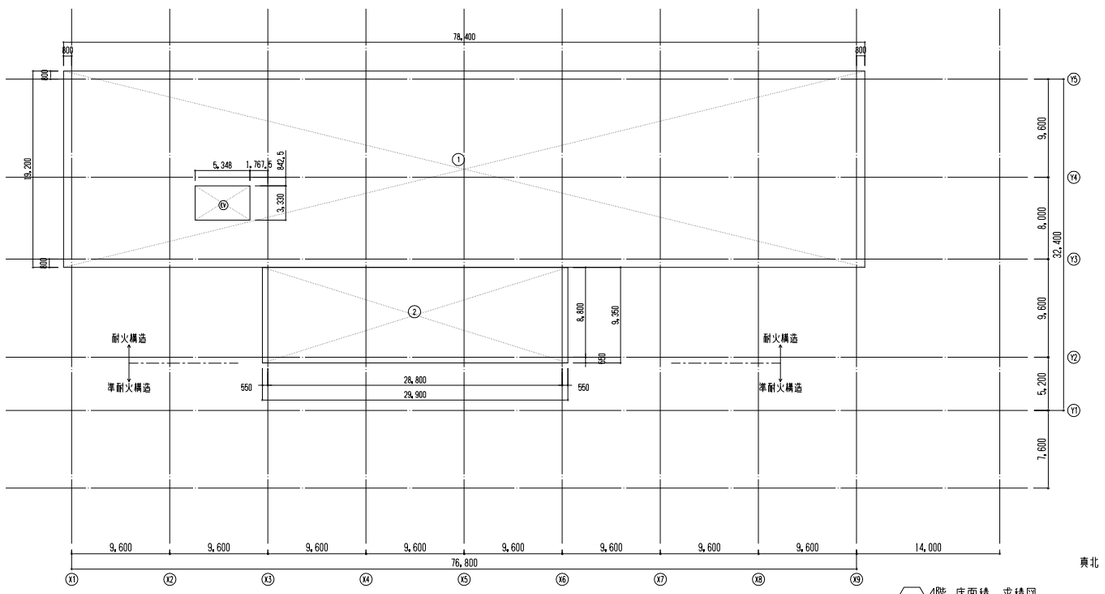
番号	ゾーン	面積	計算式
1	3階	1505.280000m2	78.400x19.200
2	3階	279.565000m2	29.900x9.350
EV	3階	−17.808840m2	5.1055x3.0500
合計		1767.03~~6160~~m2	

3階EV【容積対象外】

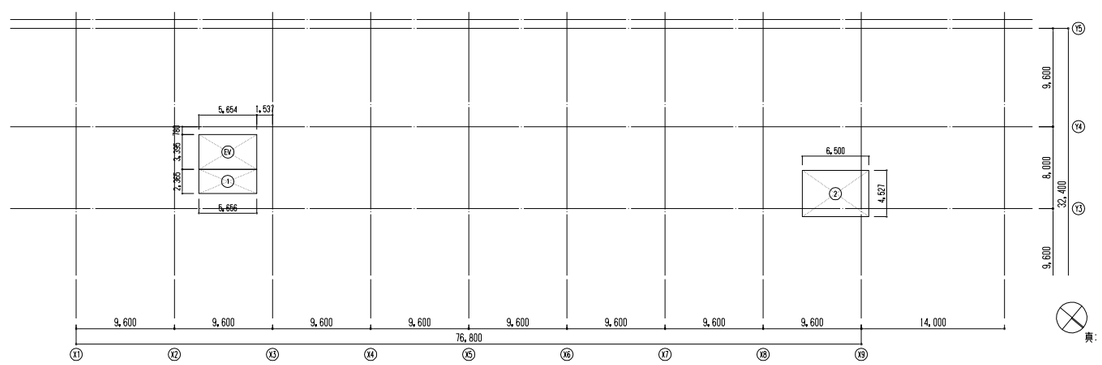
番号	ゾーン	面積	計算式
EV	3階	17.808840m2	5.348x3.330
合計		17.808~~840~~m2	

3階 床面積

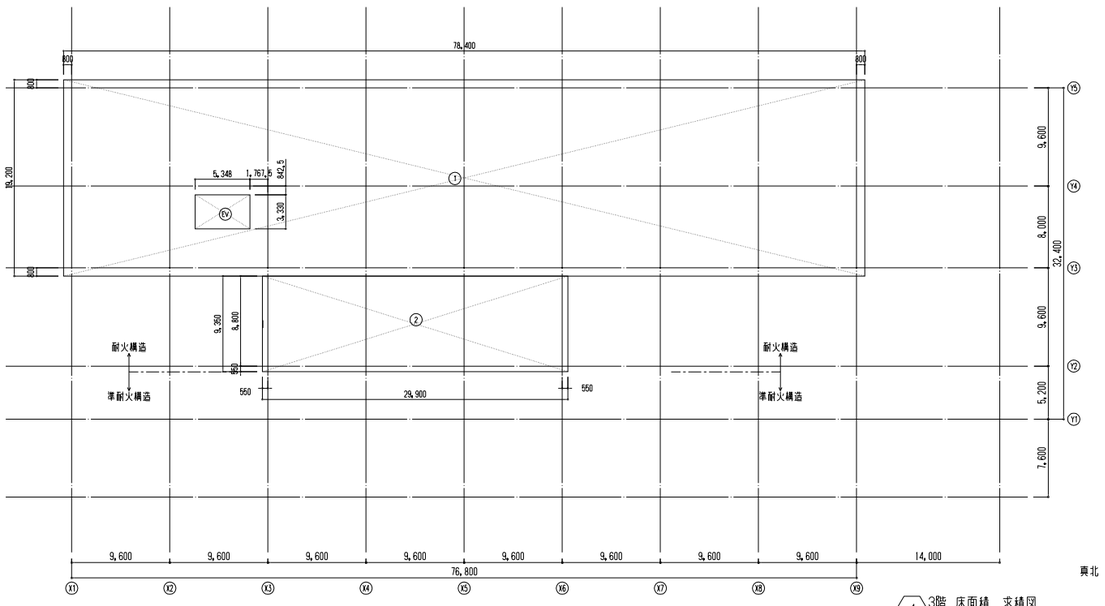
ゾーン		面積
容積対象面積		1767.03m2
容積外対象面積	EV	17.80m2
床面積		1784.83m2



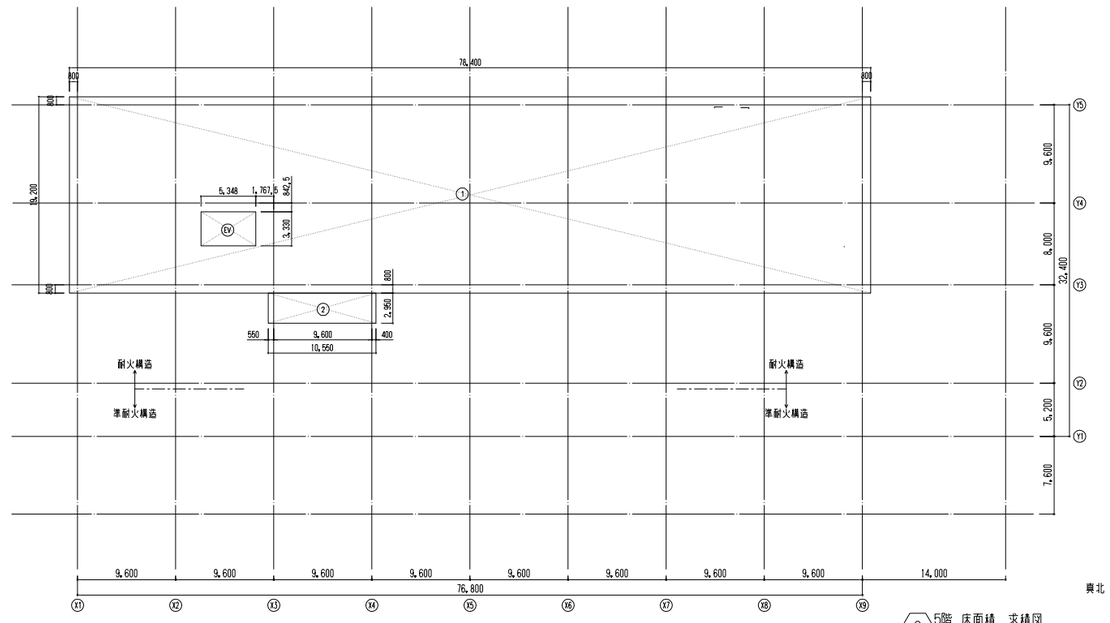
5 4階 床面積 求積図 S=1/300



7 PH階 床面積 求積図 S=1/300



4 3階 床面積 求積図 S=1/300



6 5階 床面積 求積図 S=1/300

16.02.25

日本設計

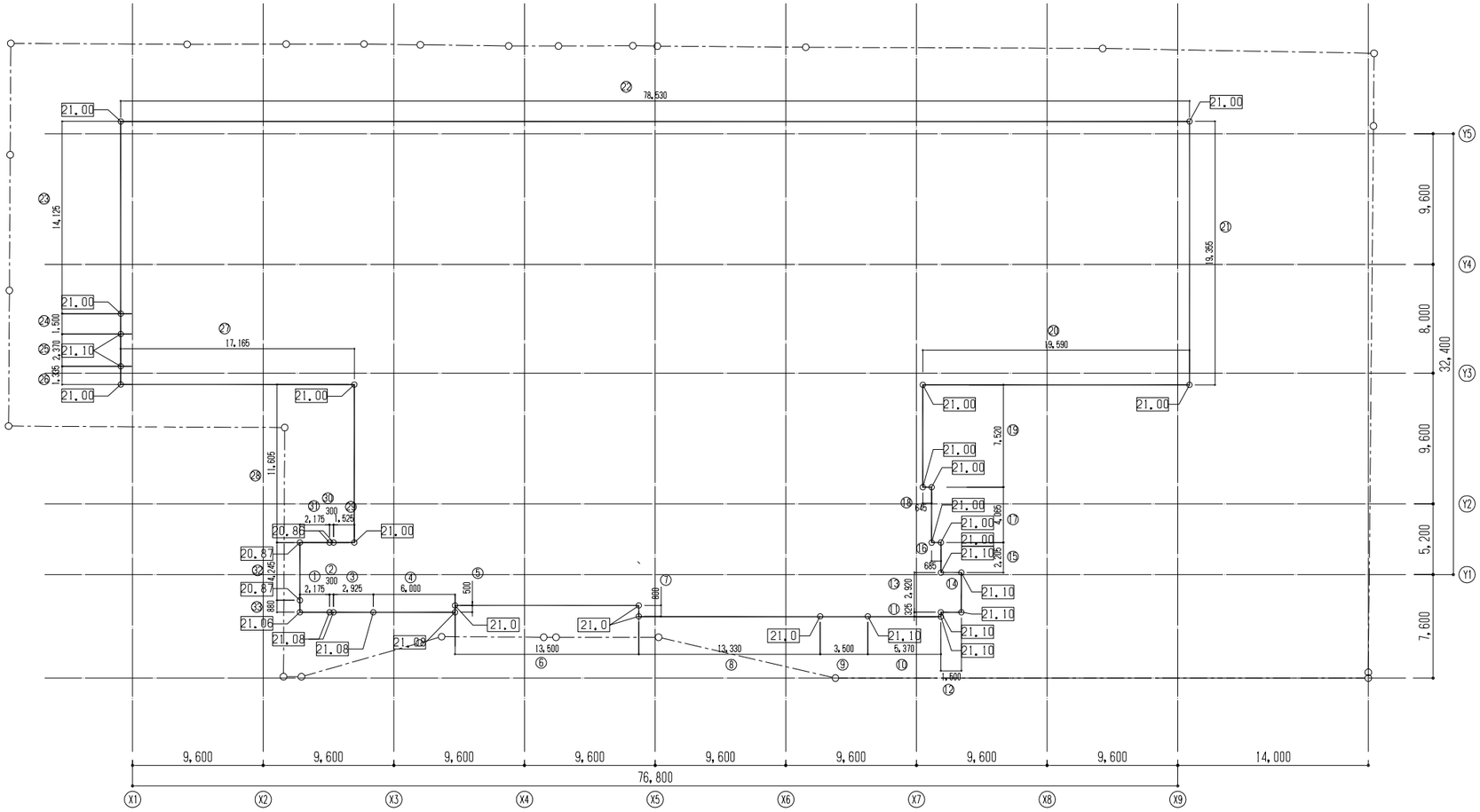
竣工図	/16.02.16	保管 / . . 承認 / . .
検図	/16.02.12	確認 / . .
製図	/16.02.05	作成（担当者） / . .

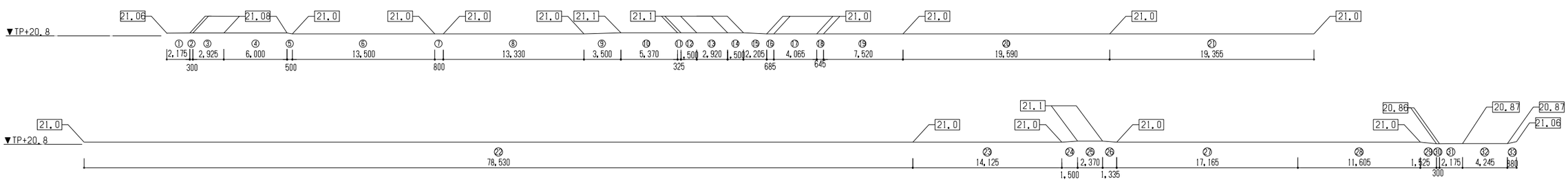
訂正　特記

設計	1級建築士登録第206250号	大坪 泰 印
設計	1級建築士登録第286712号	鐘崎康志 印
設計	1級建築士登録第354901号	長友直子 印

桶川市新庁舎建設工事

図面名称	建物求積図2
尺縮	A1: 1/300　A3: 1/600
KYU.DWG	
枚ノ内	図面番号 1034
区分	建築（総合）





平均地盤面算定式

	周長		計算式(m)				面積(㎡)
①	2.175	×	(0.26+0.28)	×	1/2	=	0.587250
②	0.300	×	0.280			=	0.084000
③	2.925	×	0.280			=	0.936000
④	6.000	×	0.280			=	1.680000
⑤	0.500	×	(0.28+0.20)	×	1/2	=	0.120000
⑥	13.500	×	0.200			=	2.700000
⑦	0.800	×	0.200			=	0.160000
⑧	13.330	×	0.200			=	2.666000
⑨	3.500	×	(0.20+0.30)	×	1/2	=	0.875000
⑩	5.370	×	0.300			=	1.611000
⑪	0.325	×	0.300			=	0.097500
⑫	1.500	×	0.300			=	0.450000
⑬	2.920	×	0.300			=	0.876000
⑭	1.500	×	0.300			=	0.450000
⑮	2.205	×	0.200			=	0.441000
⑯	0.685	×	0.200			=	0.137000
⑰	4.065	×	0.200			=	0.813000
⑱	0.645	×	0.200			=	0.129000
⑲	7.520	×	0.200			=	1.504000
⑳	19.590	×	0.200			=	3.918000
21	19.355	×	0.200			=	3.871000
22	78.530	×	0.200			=	15.706000
23	14.125	×	0.200			=	2.825000
24	1.500	×	(0.20+0.30)	×	1/2	=	0.375000
25	2.370	×	0.300			=	0.711000
26	1.335	×	(0.30+0.20)	×	1/2	=	0.333750
27	17.165	×	0.200			=	3.433000
28	11.605	×	0.200			=	2.321000
29	1.525	×	(0.20+0.06)	×	1/2	=	0.198250
30	0.300	×	0.060			=	0.018000
31	2.175	×	(0.06+0.07)	×	1/2	=	0.141375
32	4.245	×	0.070			=	0.297150
33	0.880	×	(0.07+0.26)	×	1/2	=	0.145200
合計	244.465						50.610475

周長合計（ML） 244.465m　　面積合計（MS） 50.610475㎡

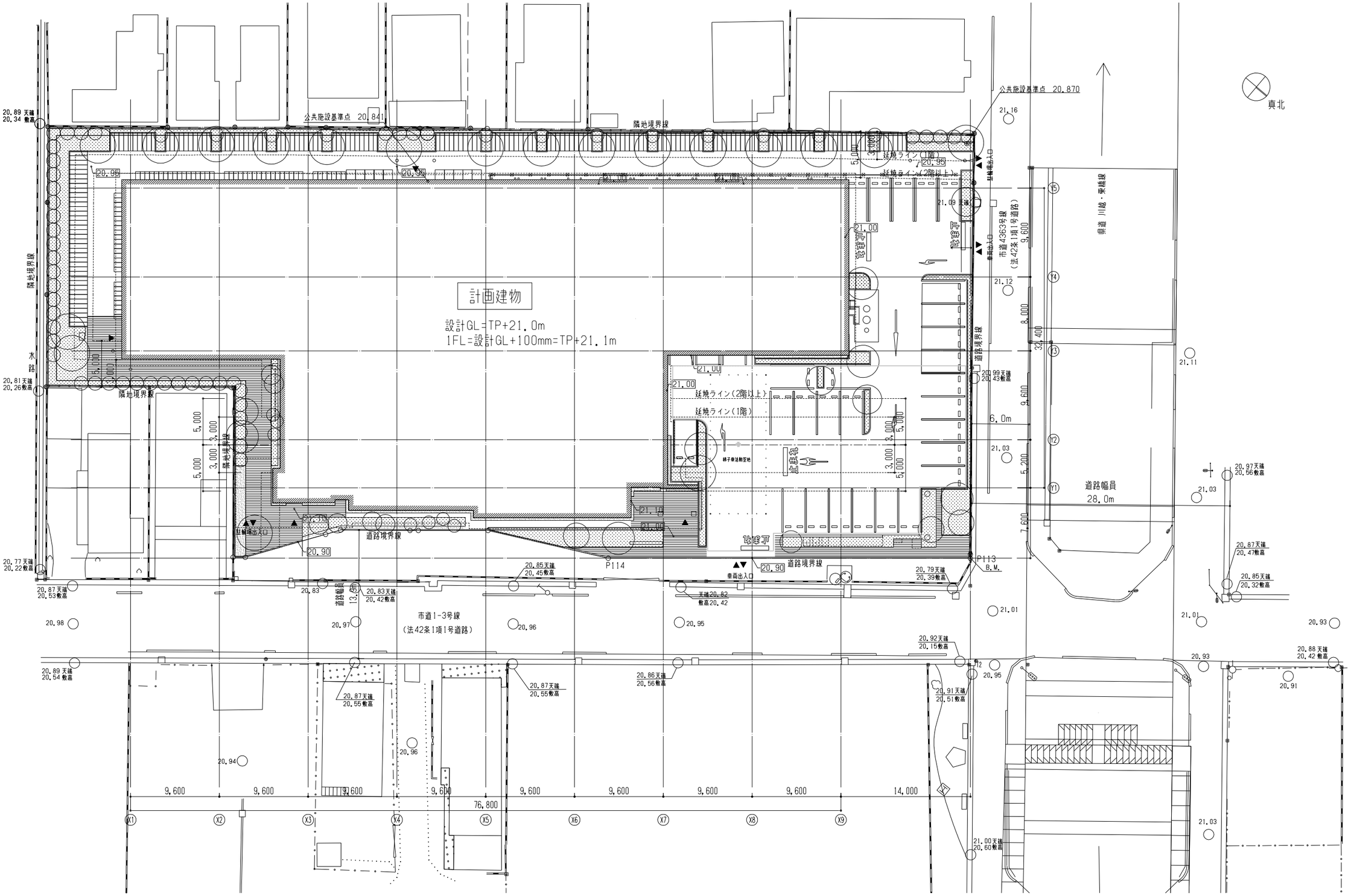
$\frac{MS}{ML} = 0.207m$

平均地盤面 = TP+20.8m+0.207m
= TP+21.007m
= TP+21.0m

16.02.25

日本設計	竣工図	保管 / . . 承認 / . . 確認 / . . 作成 / . .	訂正	特記	設計 1級建築士登録 第206250号 大坪 泰 印 設計 1級建築士登録 第286712号 篠崎康志 印 設計 1級建築士登録 第354901号 長友直子 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 平均地盤面算定図 尺度 A1: 1/200 A3: 1/400
	検図 /16.02.12						
	製図 /16.02.05						

JBN.DWG
図面番号 1035 枚ノ内
区分 建築(総合)



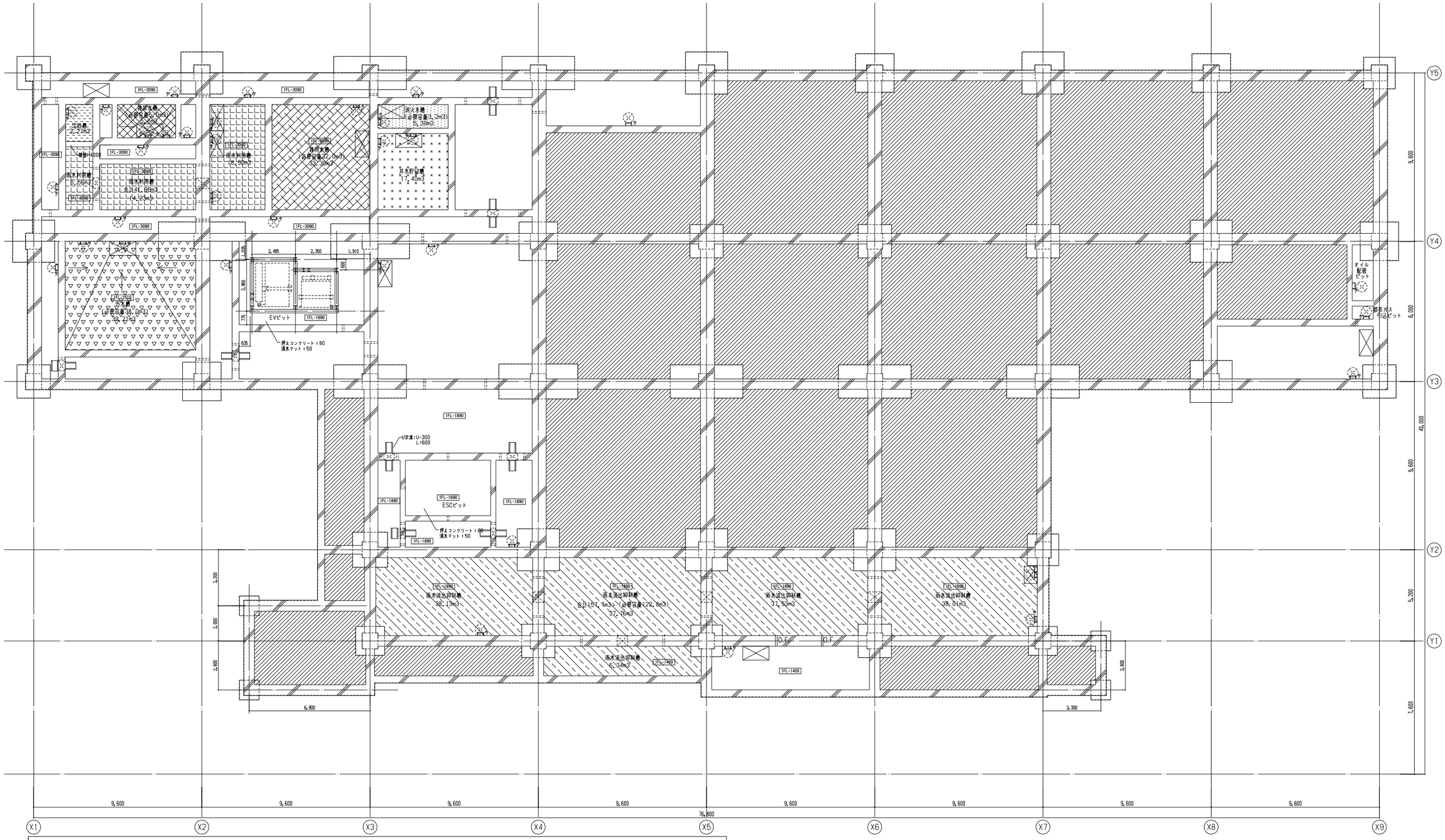
16.02.25

日本設計	/16.02.16	竣工図	保管 / . .	承認 / . .	訂正	特記 Y1通りはP113, P114間の道路境界線に平行とする。	設計 1級建築士登録 第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 配置図
	検図 /16.02.12		確認	/ . .			設計 1級建築士登録 第286712号 篠崎康志 印		
	製図 /16.02.05		作成 (消去者)	/ . .			設計 1級建築士登録 第354901号 長友直子 印		尺度 A1: 1/200 A3: 1/400

HAI.DWG

／ 枚ノ内 図面番号 1101

区分 建築(総合)



地下ピット凡例（特記以外は下記による）

- ポンプ釜場 特記なき限り 1500×800×H1000
- 人通孔φ600 人通口上に手掛用クラップ SUS22φ1段取付(U字溝が無い場合)
- 上部通気管VPφ100 下部通水管VPφ150半割 図示のみ
- 上部マンホール (ピット用クラップ付)
- 水勾配
- オーバーフロー管

- ピット無し
- 清水ピット ＊特記なき限り清水ピットとする
- 雑用水槽
- 消火水槽
- 雑排水槽
- 雨水流出抑制槽
- 雨水利用槽
- 汚水槽
- 沈砂槽
- 井水貯留槽

特記事項

- 雑排水槽、汚水槽は床面1/15勾配付とする
- 但し人通口の直径は、梁成の1／3以下を原則とする。
- 雨水貯留槽にはオーバーフロー管SUSφ60を2ヶ所1FL-700の高さに設置する。
- ピット底レベルは特記無き限り 1FL-1840とする

16.02.25

竣工図	保管	承認	
	確認		
	作成		
検図	/16.02.16		
製図	/16.02.12		
	/16.02.05		

訂正

特記

設計	1級建築士登録第206250号	大坪 泰 印
設計	1級建築士登録第286712号	篠崎康志 印
設計	1級建築士登録第354901号	長友直子 印

桶川市新庁舎建設工事

図面名称: 地下ピット平面図

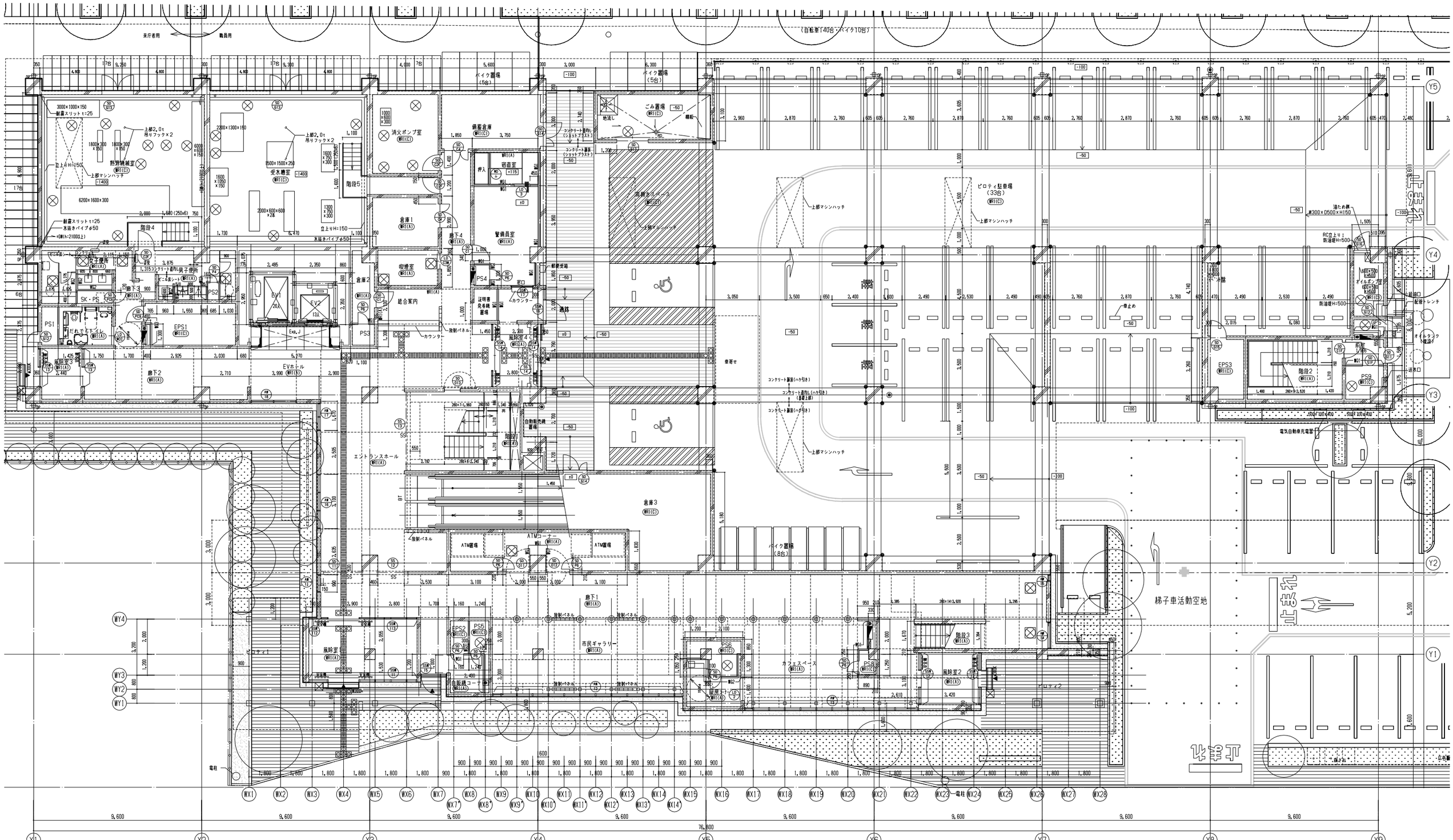
尺度: A1: 1/100 A3: 1/200

DTP.DWG

枚ノ内 / 図面番号 1102

区分: 建築(総合)

NIHON SEKKEI 日本設計



■ 凡 例

	コンクリート		化粧マンホール、特記なき限り600□		雨水第一桝(450□)	P ○	水抜きパイプφ30(電ピ製 1階) 水抜きパイプφ30(SUS製 免震層) 水抜きパイプφ60(SUS製 バルコニー)		屋内消火栓箱 (設備工事 扉は本工事)		覆型消火器(別途工事)	安全柵	自動扉安全柵		屋上緑化		EXP.J
	ALCパネル		マンホール、特記なき限り600φ	W300K	側溝 文字末尾がK:化粧スリット型側溝	P ⊂=====⊃	水抜きパイプφ50(SUS製 免震層)縦引き		屋内消火栓箱(消火器一体型) (設備工事 扉は本工事)	SH SS	SH:スチールシャッター SS:防火シャッター・防火防煙シャッター		視覚障害者用床タイル(ステンレス鋲点状突起)	W×D×H	機械基礎		伸縮目地
			上部マンホール	W200T/G	側溝 文字末尾がT:調製グレーチング側溝 S:SUSグレーチング側溝	O.F.⊂=====⊃	オーバーフロー管		連結送水放水口収納箱 (設備工事 扉は本工事)	●	コーナープロテクター(駐車場)	配管ピット	配管ピット 特記なき限り幅150 H:150		排水桝:450×450×H600		外構目地
FL±0	床仕上高(特記なき限り±0とする)		タラップA(防護柵付)		ルーフドレイン(RD)(竪型) (特記なき限り125φ)	RD	竪樋 (St,100×100×4.5 溶融亜鉛メッキ)		連結送水放水口収納箱(消火器一体型) 兼 屋内消火栓 (設備工事 扉は本工事)	S	一方枠 S:スチール製(H=2,100まで)		床沖暖房敷設範囲(冷温水パイピングプレート式)		流し台ユニット		誘発目地
850	外構仕上レベル ▽設計GL=TP+9.89 1FL=設計GL+720		タラップB(防護柵無し)		ルーフドレイン(RD)(縦型)点検口付 (特記なき限り125φ)	RD	水勾配(デッキ下等の水勾配は破線表記)		連結送水放水口収納箱 兼 屋内消火栓 (設備工事 扉は本工事)		自立型陸閉パネル(空調換気設備工事)		床沖暖房敷設範囲(冷温水埋設式)	150	建具位置 特記なき限り、壁面から150	■	雪止め 50×50×6 L:100
	水抜き用受けプレート		化粧本柱 165×165		竪樋(特記なき限り125φ) (外部:建築工事、内部:給排水設備工事)	DP	メンテナンス金物		消火器置き場(壁埋込型)		床見切 SUS304 6×12		床仕上切替ライン				延焼のおそれのある部分

16.02.25

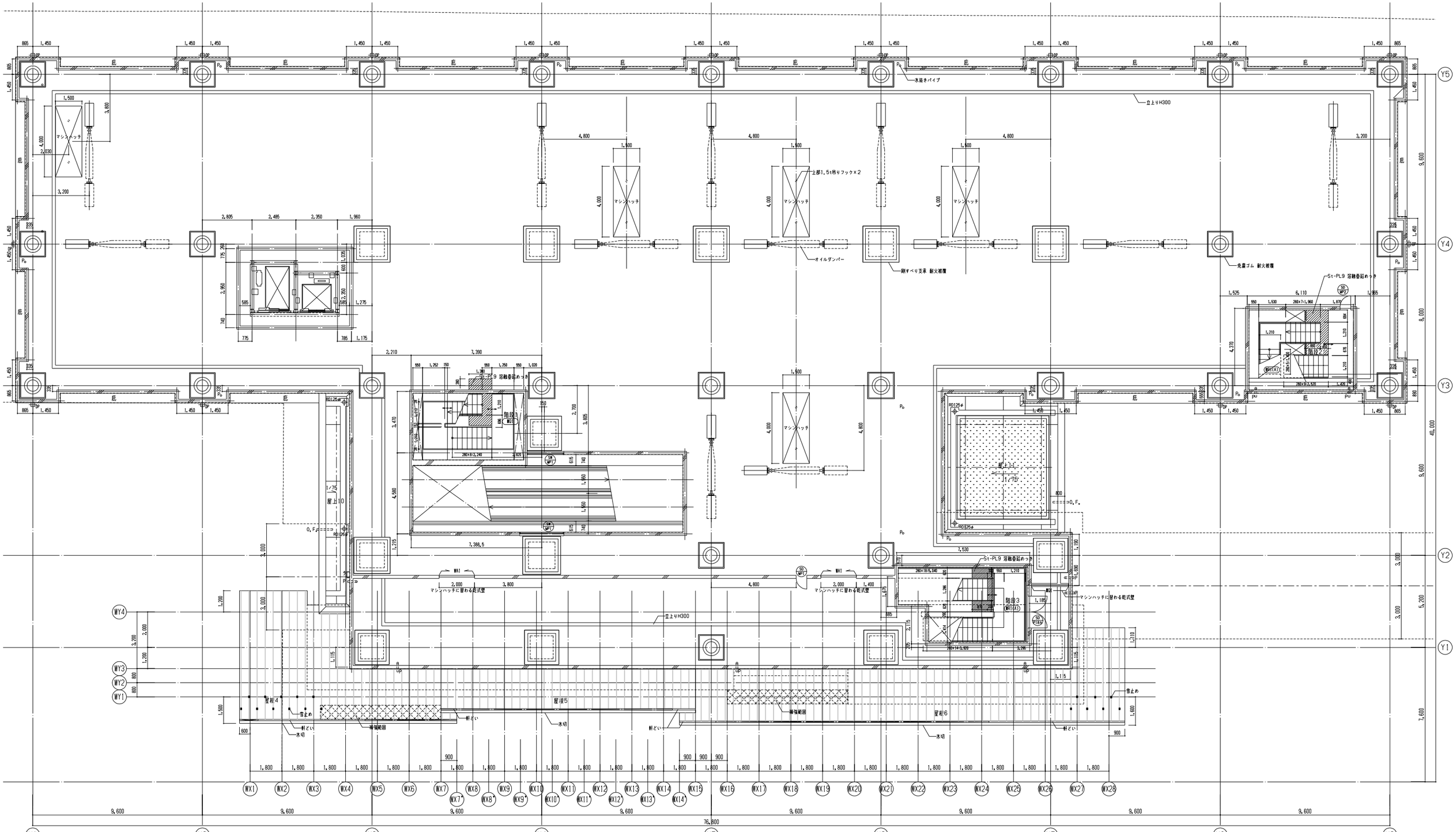
竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記
	確認 / . .		
検図	/16.02.12		
製図	/16.02.05 作成(消防等) / . .		

設計	1級建築士登録第206250号	大坪 泰 印
設計	1級建築士登録第286712号	鐘崎康志 印
設計	1級建築士登録第354901号	長友直子 印

NIHON SEKKEI 日本設計

桶川市新庁舎建設工事

図面名称	1階平面図
縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200
DTP. DWG	
枚ノ内 / 図面番号	1103
区分	建築(総合)



■ 凡 例

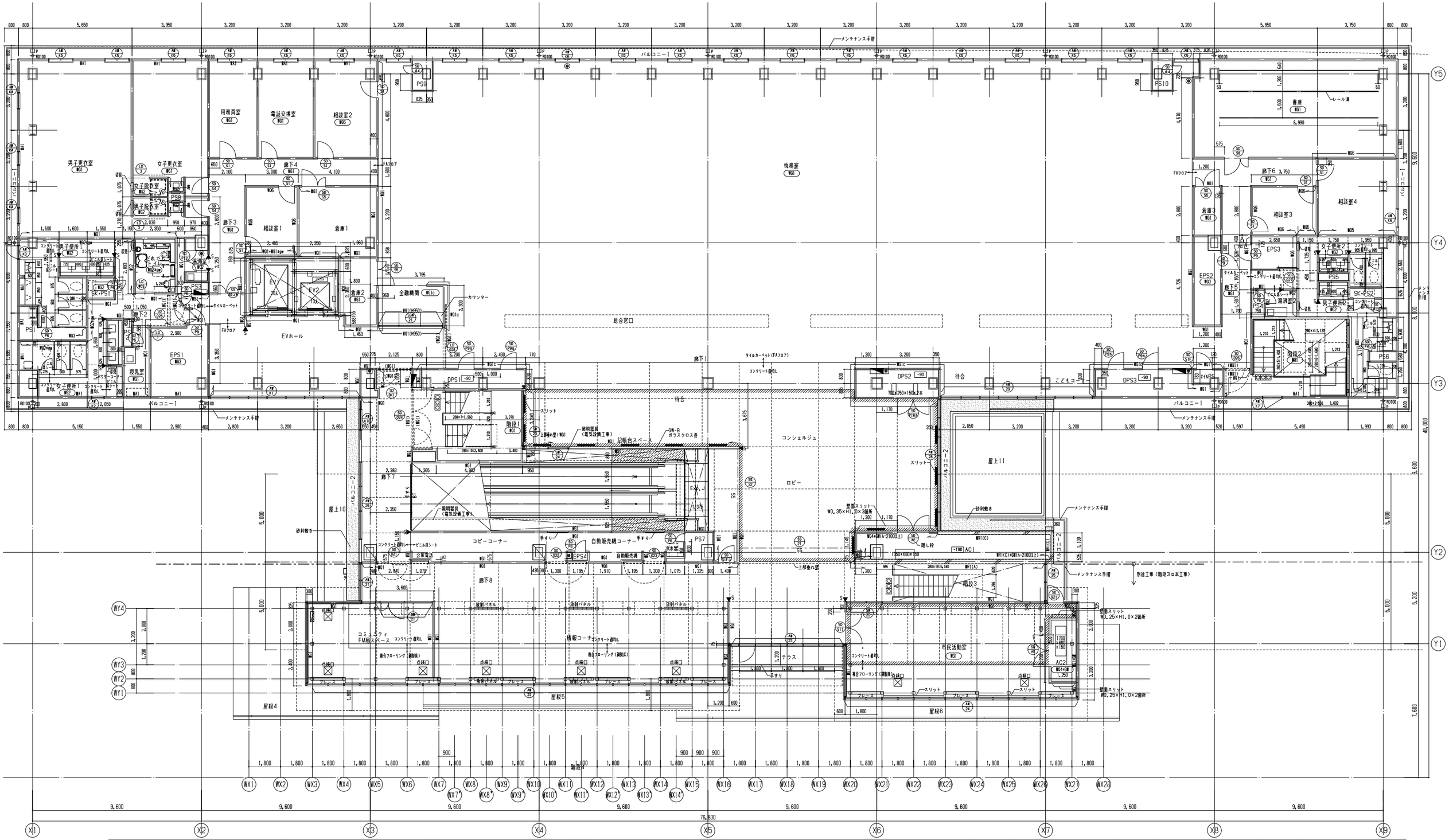
	コンクリート		化粧マンホール、特記なき限り600□		雨水第一桝(450□)	P○	水抜きパイプφ30(亀ビ製 1階) 水抜きパイプφ30(SUS製 免震層) 水抜きパイプφ60(SUS製 バルコニー)		屋内消火栓箱 (設備工事 扉は本工事)		置型消火器(別途工事)	安全柵	自動扉安全柵		屋上緑化		EXP.J
	ALCパネル		マンホール、特記なき限りφ600	■300X	側溝 文字末尾がK:化粧スリット型側溝	P ⊂====⊃	水抜きパイプφ50(SUS製 免震層)縦引き	SH SS	屋内消火栓箱(消火器一体型) (設備工事 扉は本工事)	SH :スチールシャッター SS :防火シャッター・防煙防火シャッター			視覚障害者用床タイル(ステンレス鋲点状突起)	W×D×H	機械基礎		伸縮目地
			上部マンホール	φ2001.6	側溝 文字末尾がT:調製グレーチング側溝 S:SUSグレーチング側溝	0.F.⊂====⊃	オーバーフロー管		連結送水放水口収納箱(消火器一体型) 兼 屋内消火栓 (設備工事 扉は本工事)	●	コーナープロテクター(駐車場)	配線ピット	配線ピット 特記なき限り W=150 H=150		排水桝:450×450×H600		外構目地
	FL±0 床仕上高(特記なき限り±0とする)		タラップA(防護柵付)	RD	ルーフドレイン(RD)(壁型) (特記なき限りφ125)	DP	壁縞 (St.100×100×4.5 溶融亜鉛メッキ)	S ▼	一方枠 S:スチール製(H=2,100まで)		自立型放射パネル(空調換気設備工事)		床沖縄房敷設範囲(冷温水パイピングプレート式)		流し台ユニット		誘発目地
	650 外構仕上レベル ▽設計GL=TP+9.89 1FL=設計GL+720		タラップB(防護柵無し)	RD	ルーフドレイン(RD)(縦型)点検口付 (特記なき限りφ125)		水勾配(デッキ下等の水勾配は破線表記)		連結送水放水口収納箱 兼 屋内消火栓 (設備工事 扉は本工事)		自立型放射パネル(空調換気設備工事)		床沖縄房敷設範囲(冷温水管設式)		建具位置 特記なき限り、壁面から150		雪止め 50×50×6 L=100
	P 水抜き用受けプレート		化粧木柱 165×165	DP	竪樋(特記なき限りφ125) (外部:建築工事、内部:給排水設備工事)		メンテナンス金物		消火器置き場(壁埋込型)		床見切 SUS304 6×12		床仕上切替ライン	150			延焼のおそれのある部分

16.02.25

竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	設計 1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事
	/16.02.16			設計 1級建築士登録第286712号 篠崎康志 印	
検図	確認 / . .			設計 1級建築士登録第354901号 長友直子 印	
	/16.02.12				
製図	作成(担当者) / . .				
	/16.02.05				

NIHON SEKKEI 日本設計

表題	免震ピット平面図	DTP.DWG	
尺度	A1: 1/100 A3: 1/200	図面番号 1104	1 枚ノ内
区分	建築(総合)		



■ 凡 例

	コンクリート		化粧マンホール、特記なき限り600□		雨水第一桝（450□）	P○	水抜きパイプφ30（塩ビ製 1階） 水抜きパイプφ30(SUS製 免震層) 水抜きパイプφ60(SUS製 バルコニー)		屋内消火栓箱 （設備工事 扉は本工事）		覆型消火器（別途工事）	安全柵	自動扉安全柵		屋上緑化		EXP.J
	ALCパネル		マンホール、特記なき限り600φ	φ300K	側溝 文字末尾がK：化粧スリット型側溝	P ⊂====⊃	水抜きパイプφ50(SUS製 免震層) 縞引き		屋内消火栓箱（消火器一体型） （設備工事 扉は本工事）	SH SS	SH ：スチールシャッター SS ：防火シャッター・防火防煙シャッター		視覚障害者用床タイル（ステンレス鋲点状突起）	W×D×H	縞鋼基礎		伸縮目地
			上部マンホール	φ200T.G	側溝 文字末尾がT：調製グレーチング側溝 S：SUSグレーチング側溝	O.F.⊂====⊃	オーバーフロー管		連結送水放水口収納箱 （設備工事 扉は本工事）	●	コーナープロテクター（駐車場）	配線ピット	配線ピット 特記なき限り W:150 H:150		排水桝：450×450×H600		外構目地
	FL±0		タラップA（防護柵付）		ルーフドレイン（RD）（竪型） （特記なき限り125φ）		竪樋 （St.100×100×4.5 溶融亜鉛メッキ）		連結送水放水口収納箱（消火器一体型） 兼 屋内消火栓 （設備工事 扉は本工事）	S	一方枠 S:スチール製（H=2,100まで）		床沖縄原敷設範囲（冷温水パイピングプレート式）		流し台ユニット		誘発目地
	650		タラップB（防護柵無し）		ルーフドレイン（RD）（縦型）点検口付 （特記なき限り125φ）		水勾配（デッキ下等の水勾配は破線表記）		連結送水放水口収納箱 兼 屋内消火栓 （設備工事 扉は本工事）		自立型除湿パネル（空調換気設備工事）		床沖縄原敷設範囲（冷温水埋設式）	150	建具位置 特記なき限り、壁面から150	■	雪止め 50×50×6 L:100
			化粧本柱 165×165		竪樋（特記なき限り125φ） （外部：建築工事、内部：給排水設備工事）		メンテナンス金物		消火器置き場（壁埋込型）		床受切 SUS304 6×12		床仕上切替ライン				延焼のおそれのある部分

16.02.25

竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記
検図	/16.02.12 確認 / . .		
製図	/16.02.05 作成（決裁者） / . .		

設計	1級建築士登録 第206250号	大坪 泰 印
設計	1級建築士登録 第286712号	篠崎康志 印
設計	1級建築士登録 第354901号	長友直子 印

NIHON SEKKEI 日本設計

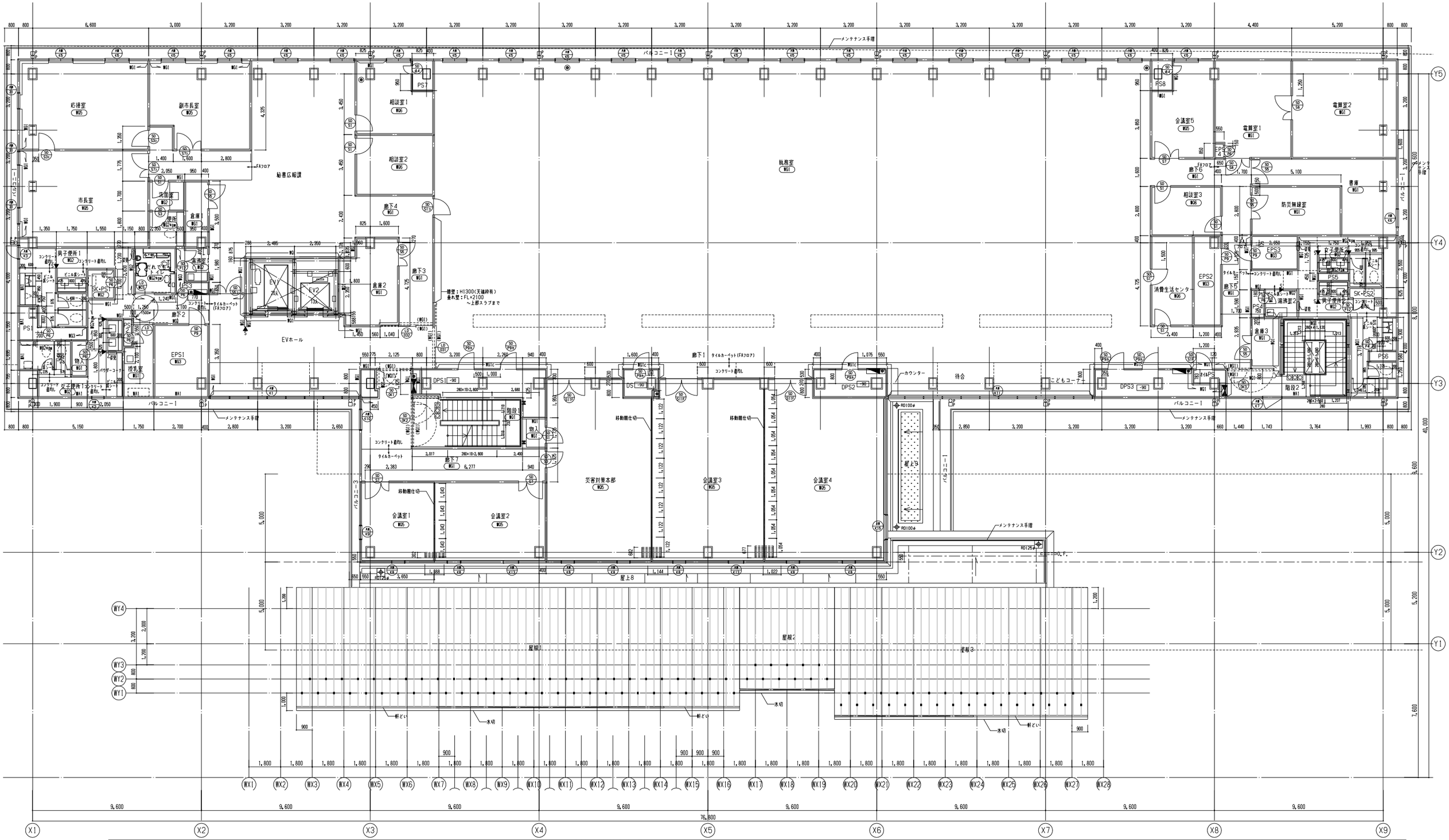
桶川市新庁舎建設工事

図面名称：2階平面図

縮尺：A1: 1/100 A3: 1/200

DTP. DWG 枚ノ内 図面番号 1105

区分：建築（総合）



■ 凡 例

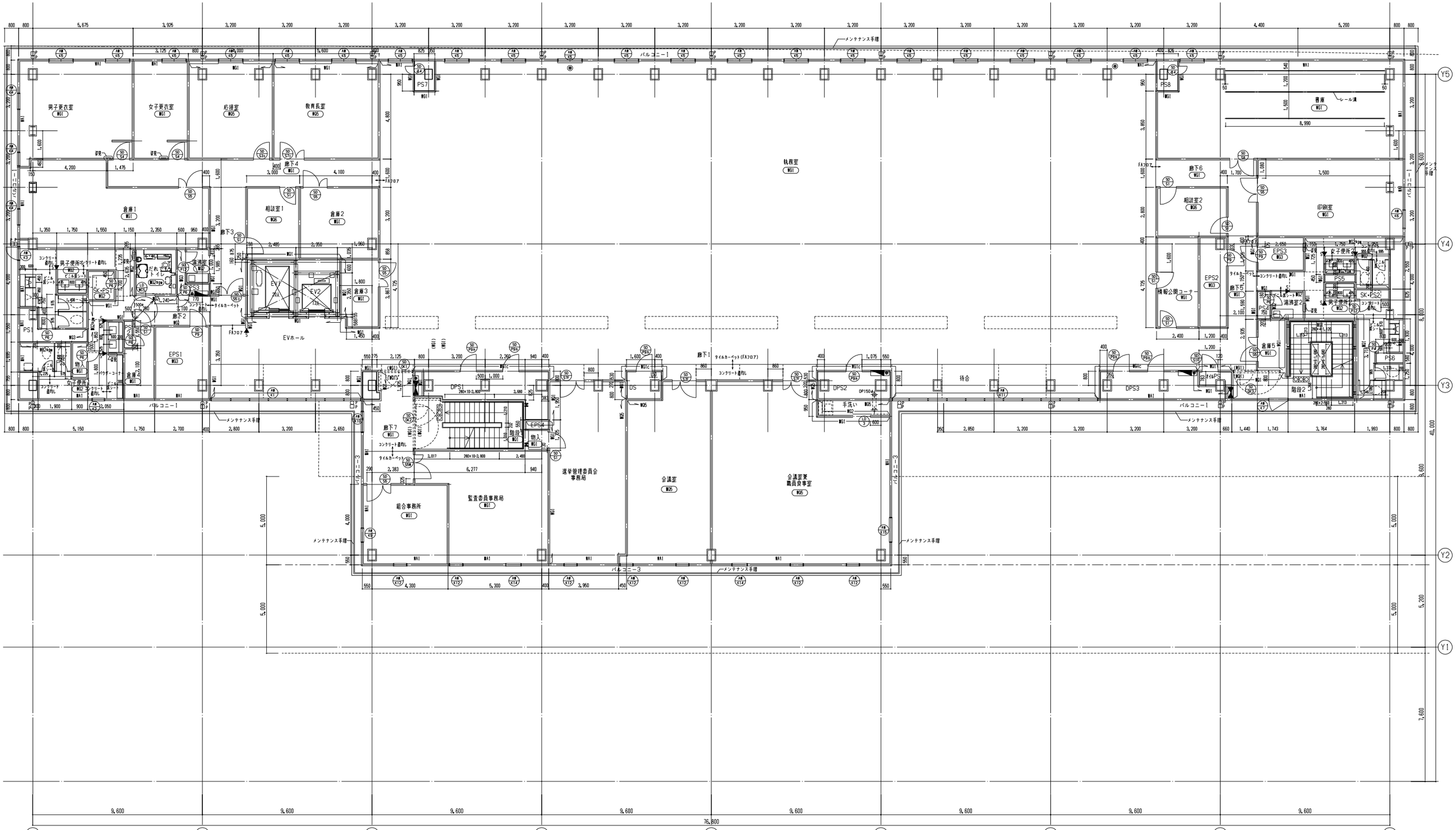
	コンクリート		化粧マンホール，特記なき限り600□		雨水第一桝（450□）	P ○	水抜きパイプφ30（亀ビ製　1階） 水抜きパイプφ30(SUS製　免震層) 水抜きパイプφ60(SUS製　バルコニー)		屋内消火栓箱 （設備工事　扉は本工事）		置型消火器（別途工事）	安全柵	自動扉安全柵		屋上緑化		EXP.J
	ALCパネル		マンホール，特記なき限り600φ		側溝　文字末尾がK：化粧スリット型側溝	P ⊂=====⊃	水抜きパイプφ50(SUS製　免震層)　縞引き		屋内消火栓箱（消火器一体型） （設備工事　扉は本工事）	SH SS	SH ：スチールシャッター SS ：防火シャッター・防火防煙シャッター		複雑障害者用床タイル（ステンレス鋲点状突起）	W×D×H	縞模基礎		伸縮目地
			上部マンホール		側溝　文字末尾がT：鋼製グレーチング側溝 S：SUSグレーチング側溝	O.F.⊂=====⊃	オーバーフロー管		連結送水放水口収納箱（消火器一体型）　兼　屋内消火栓 （設備工事　扉は本工事）	●	コーナープロテクター（駐車場）	配線ピット	配線ピット　特記なき限り:W=150　H=150		排水桝：450×450×H600		外構目地
	FL±0		タラップA（防護柵付）		ルーフドレイン（RD）（竪型） （特記なき限り125φ）	RD	竪樋 （St. 100×100×4.5　溶融亜鉛メッキ）		連結送水放水口収納箱（消火器一体型）　兼　屋内消火栓 （設備工事　扉は本工事）	S ▼	一方枠　S：スチール製（H＝2,100まで）		床沖暖房敷設範囲（冷温水パイピングプレート式）		流し台ユニット		誘発目地
	650		タラップB（防護柵無し）		ルーフドレイン（RD）（縦型）点検口付 （特記なき限り125φ）	RD	水勾配（デッキ下等の水勾配は破線表記）		連結送水放水口収納箱　兼　屋内消火栓 （設備工事　扉は本工事）		自立型除幕パネル（空調換気設備工事）		床沖暖房敷設範囲（冷温水埋設式）	150	建具位置 特記なき限り，壁面から150	■	雪止め　50×50×6　L=100
			化粧木柱　165×165		竪樋（特記なき限り125φ） （外部：建築工事，内部：給排水設備工事）	DP	メンテナンス金物		消火器置き場（壁埋込型）		床見切　SUS304　6×12		床仕上切替ライン				延焼のおそれのある部分

16.02.25

日本設計	/16.02.16	竣工図	保管 / . .	承認 / . .	訂正	特記	設計 1級建築士登録 第206250号　大坪 泰 印
	検図 /16.02.12		確認	/ . .			設計 1級建築士登録 第286712号　篠崎康志 印
	製図 /16.02.05		作成（詳細図）	/ . .			設計 1級建築士登録 第354901号　長友直子 印

桶川市新庁舎建設工事

図面名称	3階平面図	DTP.DWG	
尺度	A1: 1/100　A3: 1/200	枚ノ内 / 図面番号	1106
		区分	建築(総合)



■ 凡 例

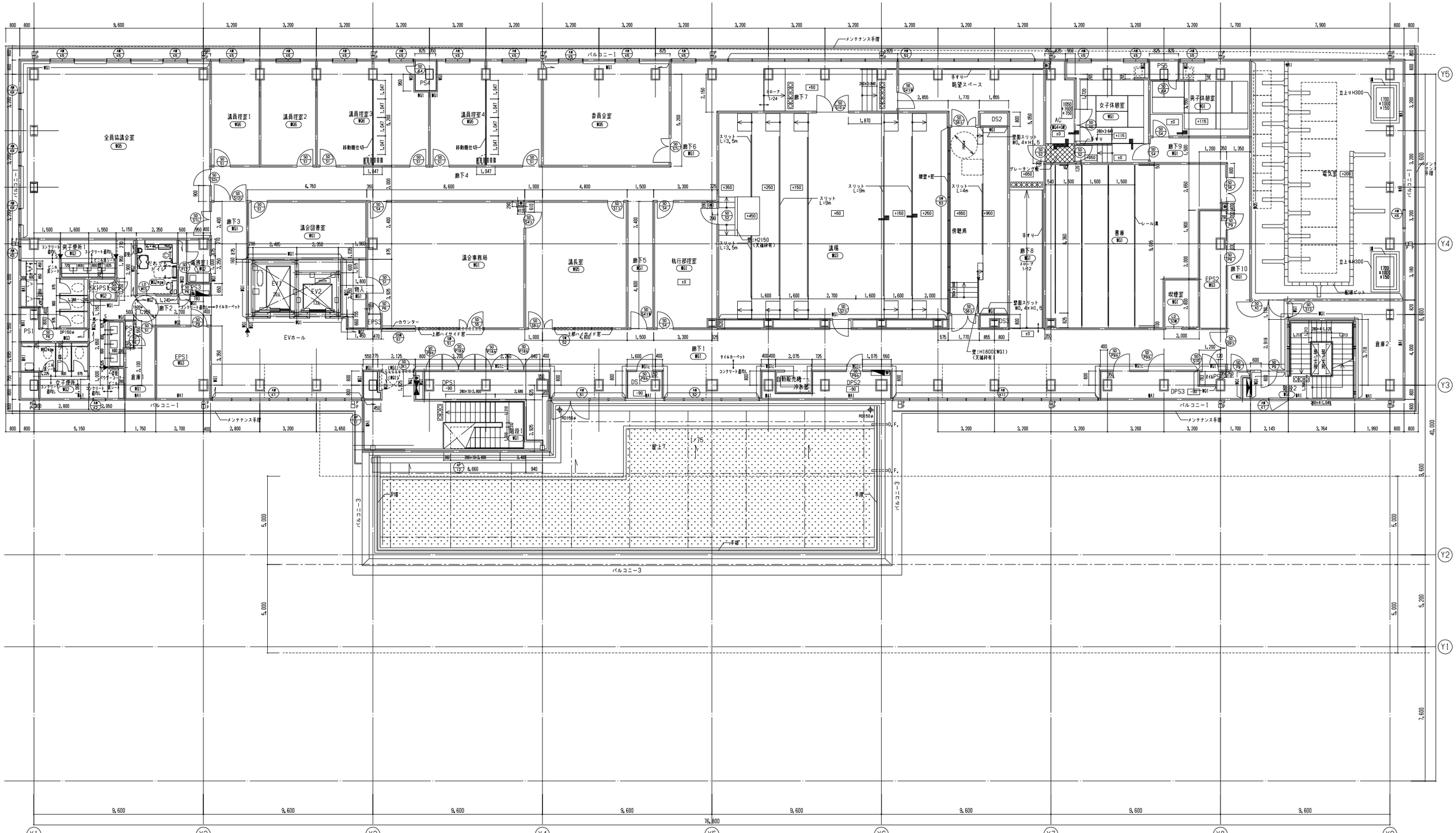
	コンクリート		化粧マンホール、特記なき限り600□		雨水第一桝(450□)	P○	水抜きパイプφ30(亀ビ製 1階) 水抜きパイプφ30(SUS製 免震層) 水抜きパイプφ60(SUS製 バルコニー)		屋内消火栓箱 (設備工事 扉は本工事)		普型消火器(別途工事)	安全網	自動扉安全網		屋上緑化		EXP.J
	ALCパネル		マンホール、特記なき限り600φ		側溝 文字末尾がK:化粧スリット型側溝	P ⊂====⊃	水抜きパイプφ50(SUS製 免震層)補引き		屋内消火栓箱(消火器一体型) (設備工事 扉は本工事)	SH SS	SH:スチールシャッター SS:防火シャッター・防火防煙シャッター		視覚障害者用床タイル(ステンレス鋲点状突起)	W×D×H	機械基礎		伸縮目地
			上部マンホール		側溝 文字末尾がT:調製グレーチング側溝 S:SUSグレーチング側溝	O.F.⊂====⊃	オーバーフロー管		連結送水放水口収納箱(設備工事 扉は本工事)	●	コーナープロテクター(駐車場)	配線ピット 配線ピット 特記なき限り W=150 H=150	床冷暖房敷設範囲(冷温水パイピングプレート式)		排水桝:450×450×H600		外構目地
	FL±0 床仕上高(特記なき限り±0とする)		タラップA(防護柵付)		ルーフドレイン(RD)(壁型) (特記なき限り125φ)		竪樋 (St.100×100×4.5 溶融亜鉛メッキ)		連結送水放水口収納箱(消火器一体型) 兼 屋内消火栓 (設備工事 扉は本工事)	S ▼	一方枠 S:スチール製(H=2,100まで)		床冷暖房敷設範囲(冷温水パイピングプレート式)		流し台ユニット		誘発目地
	650 外構仕上レベル ▽設計GL=TP+9.89 1FL=設計GL+720		タラップB(防護柵無し)		ルーフドレイン(RD)(縦型)点検口付 (特記なき限り125φ)		水勾配(デッキ下等の水勾配は破線表記)		連結送水放水口収納箱 兼 屋内消火栓 (設備工事 扉は本工事)		自立型放射パネル(空調換気設備工事)		床冷暖房敷設範囲(冷温水埋設式)	150	建具位置 特記なき限り、壁面から150	■	雪止め 50×50×6 L=100
	水抜き用受けプレート		化粧木柱 165×165		竪樋(特記なき限り125φ) (外部:建築工事、内部:給排水設備工事)	▼	メンテナンス金物		消火器置き場(壁埋込型)		床見切 SUS304 6×12		床仕上切替ライン				延焼のおそれのある部分

16.02.25

竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	設計	1級建築士登録 第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 4階平面図
	/16.02.16			設計	1級建築士登録 第286712号 篠崎康志 印		
検図	/16.02.12 確認 / . .			設計	1級建築士登録 第354901号 長友直子 印		尺縮 A1: 1/100 A3: 1/200
製図	/16.02.05 作成(消費者) / . .						区分 建築(総合)

NIHON SEKKEI 日本設計

DTP.DWG 図面番号 1107 枚ノ内



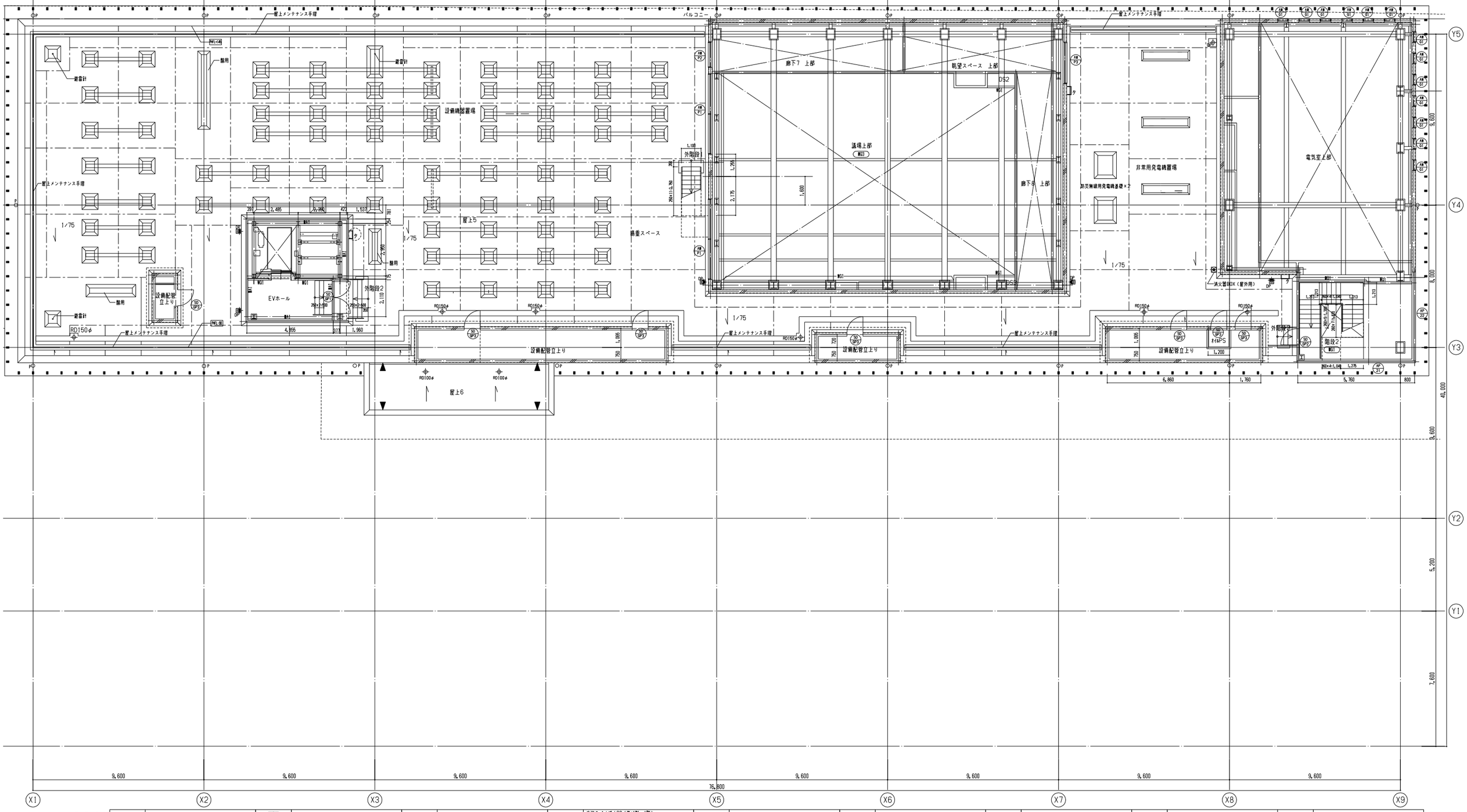
■ 凡 例

	コンクリート		化粧マンホール，特記なき限り600□		雨水第一桝（450□）	P ○	水抜きパイプφ30（亀ビ製 1階） 水抜きパイプφ30（SUS製 免震層） 水抜きパイプφ60（SUS製 バルコニー）		屋内消火栓箱 （設備工事 扉は本工事）		置型消火器（別途工事）	安全網	自動扉安全網		屋上緑化		EXP.J
	ALCパネル		マンホール，特記なき限り600φ	W300	側溝 文字末尾がK：化粧スリット型側溝	P ⊂====⊃	水抜きパイプφ50（SUS製 免震層）縞引き		屋内消火栓箱（消火器一体型） （設備工事 扉は本工事）	SH SS	SH ：スチールシャッター SS ：防火シャッター・防火防煙シャッター		複雑輝度者用床タイル（ステンレス鋲点状突起）		機械基礎		伸縮目地
			上部マンホール	200L/G	側溝 文字末尾がT：鋼製グレーチング側溝 S：SUSグレーチング側溝	O.F.⊂====⊃	オーバーフロー管		連結送水放水口収納箱（消火器一体型） （設備工事 扉は本工事）	●	コーナープロテクター（駐車場）	配線ピット	配線ピット 特記なき限り W=150 H=150		排水桝：450×450×H600		外構目地
	FL±0		タラップA（防護柵付）	RD	ルーフドレイン（RD）（壁型） （特記なき限り125φ）	DP	壁桝 （St，100×100×4.5 溶融亜鉛メッキ）		連結送水放水口収納箱（消火器一体型） 兼 屋内消火栓 （設備工事 扉は本工事）	S ▼	一方枠 S：スチール製（H＝2,100まで）		床冷暖房敷設範囲（冷温水パイピングプレート式）		流し台ユニット		誘発目地
	650		タラップB（防護柵無し）	RD	ルーフドレイン（RD）（桝型）点検口付 （特記なき限り125φ）		水勾配（デッキ下等の水勾配は破線表記）		連結送水放水口収納箱 兼 屋内消火栓 （設備工事 扉は本工事）		自立型放射パネル（空調換気設備工事）		床冷暖房敷設範囲（冷温水埋設式）	150	建具位置 特記なき限り，壁面から150	■	雪止め 50×50×6 L=100
			化粧木柱 165×165	DP	壁桝（特記なき限り125φ） （外部：建築工事，内部：給排水設備工事）		メンテナンス金物		消火器置き場（壁埋込型）		床受切 SUS304 6×12		床仕上切替ライン				延焼のおそれのある部分

16.02.25

日本設計	竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	設計 1級建築士登録 第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 5階平面図
		/16.02.16			設計 1級建築士登録 第286712号 篠崎康志 印		
	検図	/16.02.12			設計 1級建築士登録 第354901号 長友直子 印		尺度 A1: 1/100 A3: 1/200
	製図	/16.02.05					区分 建築（総合）

DTP.DWG 図面番号 1108 枚ノ内



■ 凡 例

	コンクリート		化粧マンホール，特記なき限り600□		雨水第一桝（450□）	P ○	水抜きパイプφ30（亀ビ製 1階） 水抜きパイプφ30（SUS製 免震層） 水抜きパイプφ60（SUS製 バルコニー）		屋内消火栓箱 （設備工事 扉は本工事）		置型消火器（別途工事）	安全柵	自動扉安全柵		屋上緑化		EXP.J
	ALCパネル		マンホール，特記なき限り600φ	■300K	側溝 文字末尾がK：化粧スリット型側溝	P ⊂====⊃	水抜きパイプφ50（SUS製 免震層）補引き		屋内消火栓箱（消火器一体型） （設備工事 扉は本工事）	SH SS	SH ：スチールシャッター SS ：防火シャッター・防火防煙シャッター		複雑障害者用床タイル（ステンレス新点状突起）	W×D×H	機械基礎		伸縮目地
			上部マンホール	■200T/G	側溝 文字末尾がT：調製グレーチング側溝 S：SUSグレーチング側溝	O.F.⊂====⊃	オーバーフロー管		連結送水放水口収納箱（消火器一体型） 兼 屋内消火栓 （設備工事 扉は本工事）	●	コーナープロテクター（駐車場）	配線ピット 配線ピット	配線ピット 特記なき限り W:150 H:150		排水桝：450×450×H600		外構目地
	FL±0	床仕上高（特記なき限り±0とする）		タラップA（防護柵付）		RD	ルーフドレイン（RD）（壁型） （特記なき限り125φ）	DP	竪樋 （St，100×100×4.5 溶融亜鉛メッキ）		連結送水放水口収納箱（消火器一体型） 兼 屋内消火栓 （設備工事 扉は本工事）	S	一方枠 S：スチール製（H＝2,100まで）		床冷暖房敷設範囲（冷温水パイピングプレート式）		流し台ユニット		誘発目地
	650	外構仕上レベル ▽設計GL＝TP＋9.89 1FL＝設計GL＋720		タラップB（防護柵無し）		RD	ルーフドレイン（RD）（桶型）点検口付 （特記なき限り125φ）		連結送水放水口収納箱 兼 屋内消火栓 （設備工事 扉は本工事）		自立型陸屋パネル（空調換気設備工事）		床冷暖房敷設範囲（冷温水埋設式）	150	建具位置 特記なき限り，壁面から150	■	雪止め 50×50×6 L=100
		木抜き用受けプレート		化粧木柱 165×165		DP	竪樋（特記なき限り125φ） （外部：建築工事，内部：給排水設備工事）		メンテナンス金物		消火器置き場（壁埋込型）		床見切 SUS304 6×12		床仕上切替ライン		延焼のおそれのある部分

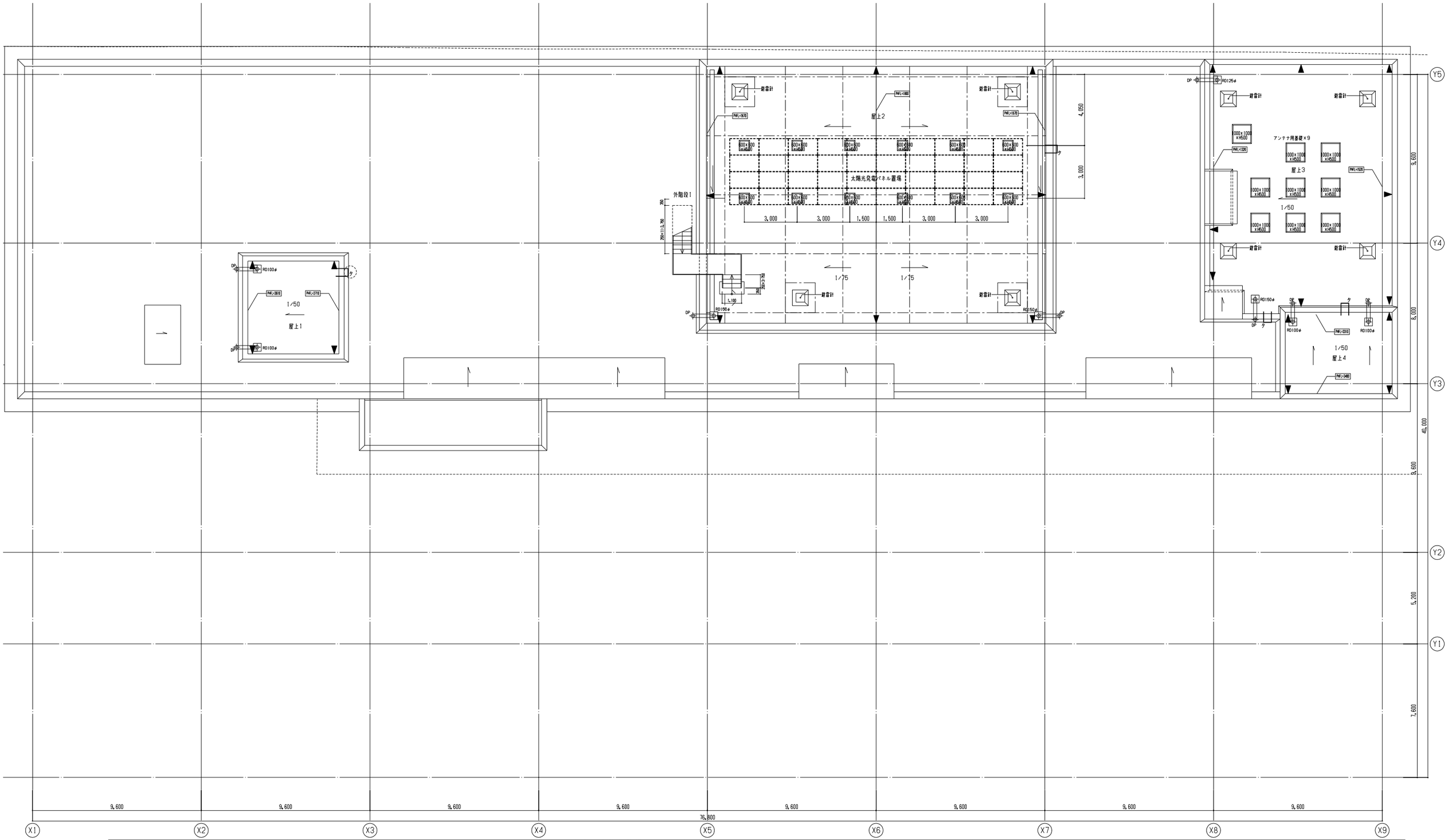
16.02.25

日本設計	/16.02.16	竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	設計 1級建築士登録 第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事
	検図 /16.02.12		確認 / . .			設計 1級建築士登録 第286712号 篠崎康志 印	図面名称 PH階平面図
	製図 /16.02.05		作成（消防等） / . .			設計 1級建築士登録 第354901号 長友直子 印	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200

DTP.DWG

枚ノ内 図面番号 1109

区分 建築（総合）



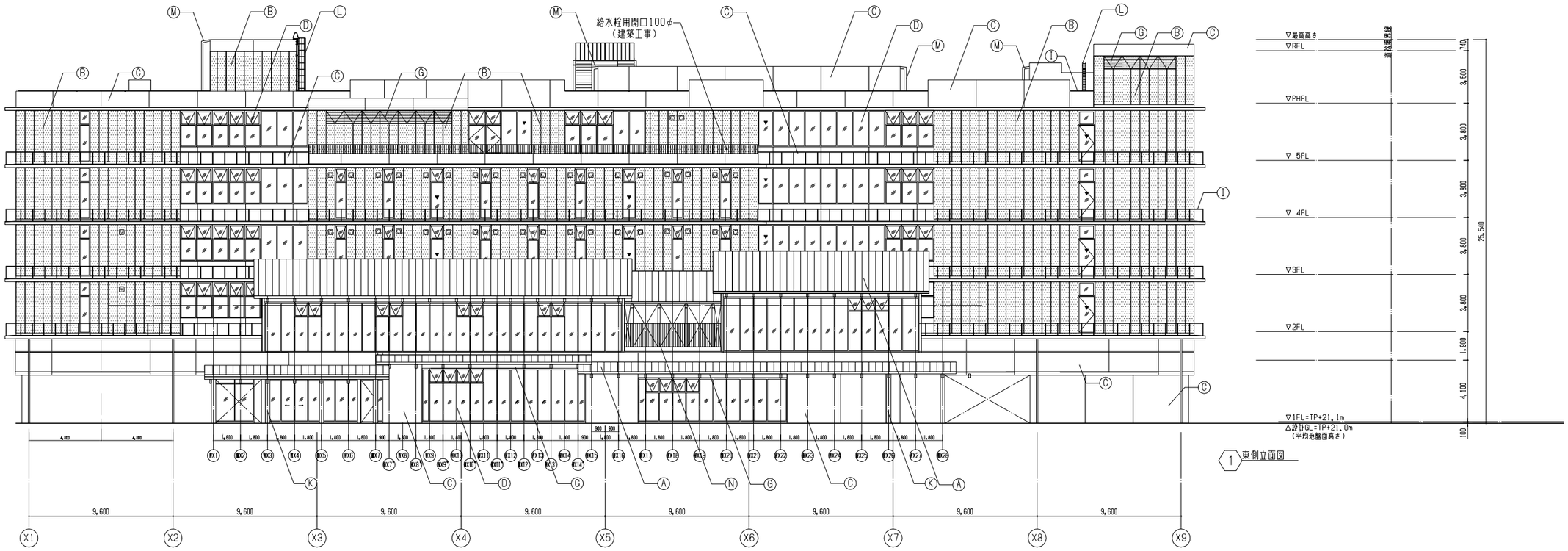
■ 凡 例

	コンクリート		化粧マンホール、特記なき限り600□		雨水第一桝（450□）	P ○	水抜きパイプφ30（亀ビ製　1階） 水抜きパイプφ30（SUS製　免震層） 水抜きパイプφ60（SUS製　バルコニー）		屋内消火栓箱 （設備工事　屋は本工事）		置型消火器（別途工事）	安全柵	自動扉安全柵		屋上緑化		EXP.J
	ALCパネル		マンホール、特記なき限り600φ		側溝　文字末尾がK：化粧スリット型側溝	P ⊂====⊃	水抜きパイプφ50（SUS製　免震層）補引き		屋内消火栓箱（消火器一体型） （設備工事　屋は本工事）	SH SS	SH：スチールシャッター SS：防火シャッター・防火防煙シャッター		視覚障害者用床タイル（ステンレス新点状突起）	W×D×H	機械基礎		伸縮目地
			上部マンホール		側溝　文字末尾がT：調製グレーチング側溝 S：SUSグレーチング側溝	O.F.⊂====⊃	オーバーフロー管		連結送水放水口収納箱 （設備工事　屋は本工事）	●	コーナープロテクター（駐車場）	配線ピット	配線ピット　特記なき限り W:150　H:150		排水桝：450×450×H600		外構目地
	FL±0		タラップA（防護柵付）		ルーフドレイン（RD）（壁型） （特記なき限り125φ）		竪樋 （St. 100×100×4.5　溶融亜鉛メッキ）		連結送水放水口収納箱（消火器一体型）　兼　屋内消火栓 （設備工事　屋は本工事）	S	一方枠　S：スチール製（H＝2,100まで）		床冷暖房敷設範囲（冷温水パイピングプレート式）		流し台ユニット		誘発目地
	650		タラップB（防護柵無し）		ルーフドレイン（RD）（桶型）点検口付 （特記なき限り125φ）		水勾配（デッキ下等の水勾配は破線表記）		連結送水放水口収納箱　兼　屋内消火栓 （設備工事　屋は本工事）		自立型除煙パネル（空調換気設備工事）		床冷暖房敷設範囲（冷温水埋設式）	150	建具位置 特記なき限り、壁面から150	■	雪止め　50×50×6　L=100
	水抜き用受け プレート		化粧本柱　165×165		竪樋（特記なき限り125φ） （外部：建築工事、内部：給排水設備工事）		メンテナンス金物		消火器置き場（壁埋込型）		床見切　SUS304　6×12		床仕上切替ライン		床仕上切替ライン		延焼のおそれのある部分

16.02.25

日本設計	/16.02.16	竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	設計	1級建築士登録 第206250号　大坪　泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称：屋根伏図
	検図 /16.02.12		確認 / . .			設計	1級建築士登録 第286712号　篠崎康志 印		
	製図 /16.02.05		作成（消防等） / . .			設計	1級建築士登録 第354901号　長友直子 印		縮尺：A1: 1/100　A3: 1/200

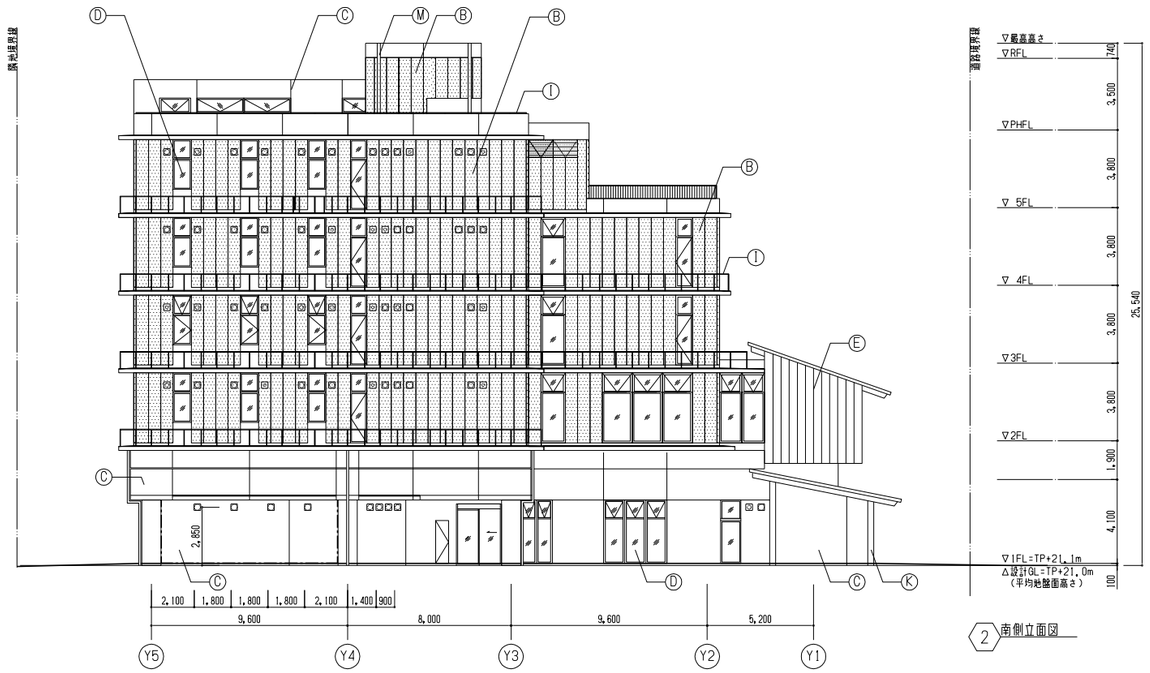
DTP.DWG　枚ノ内　図面番号 1110　区分：建築（総合）



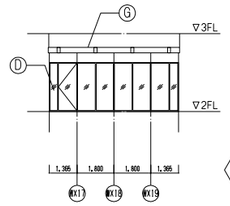
1 東側立面図

【凡例】

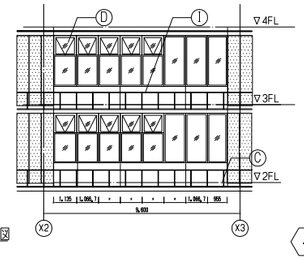
Ⓐ	フッ素ガルバリウム鋼板(特殊かん合式平滑葺き)
Ⓑ	ALC 複層仕上塗材
Ⓒ	コンクリート化粧打放し仕上げ フッ素樹脂塗装(カラークリア)
Ⓓ	アルミサッシュ B-1
Ⓔ	金属サイディング フッ素樹脂塗装
Ⓕ	アルミガラリ B-2
Ⓖ	アルミパネル B-FU
Ⓗ	ベントキャップ（設備工事）(ALC開口300φは建築工事)
Ⓘ	外部手すり：ST 溶融亜鉛メッキ
Ⓚ	鉄骨柱：二重鋼管 溶融亜鉛メッキ リン酸処理
Ⓛ	タラップ スチール溶融亜鉛めっき
Ⓜ	雨樋 配管用鋼管 溶融亜鉛めっき
Ⓝ	鉄骨柱：耐火材左官仕上の上複層仕上塗材
—·—	耐震スリット
——	誘発目地
▼	代替進入口



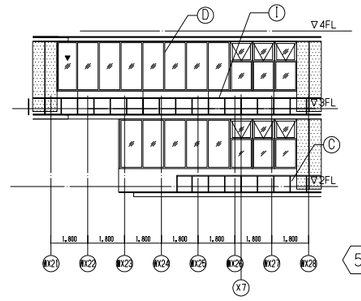
2 南側立面図



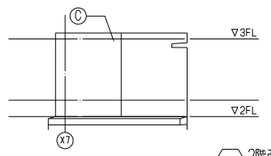
3 2階東側立面図



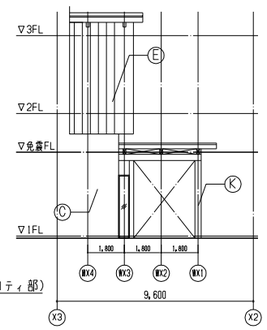
4 2階東側立面図



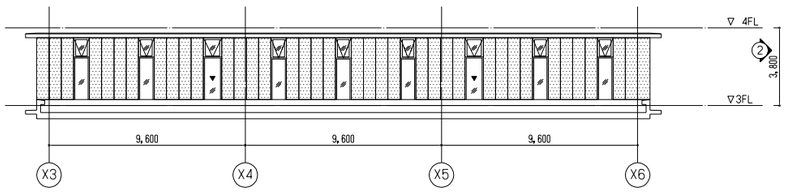
5 2階東側立面図



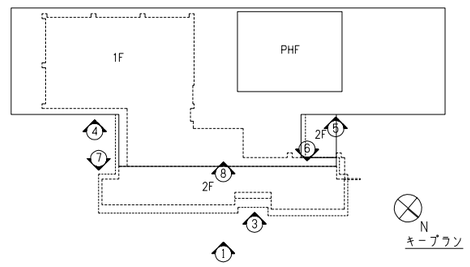
6 2階西側立面図



7 2階西側立面図（ピロティ部）



8 3階東側立面図



16.02.25

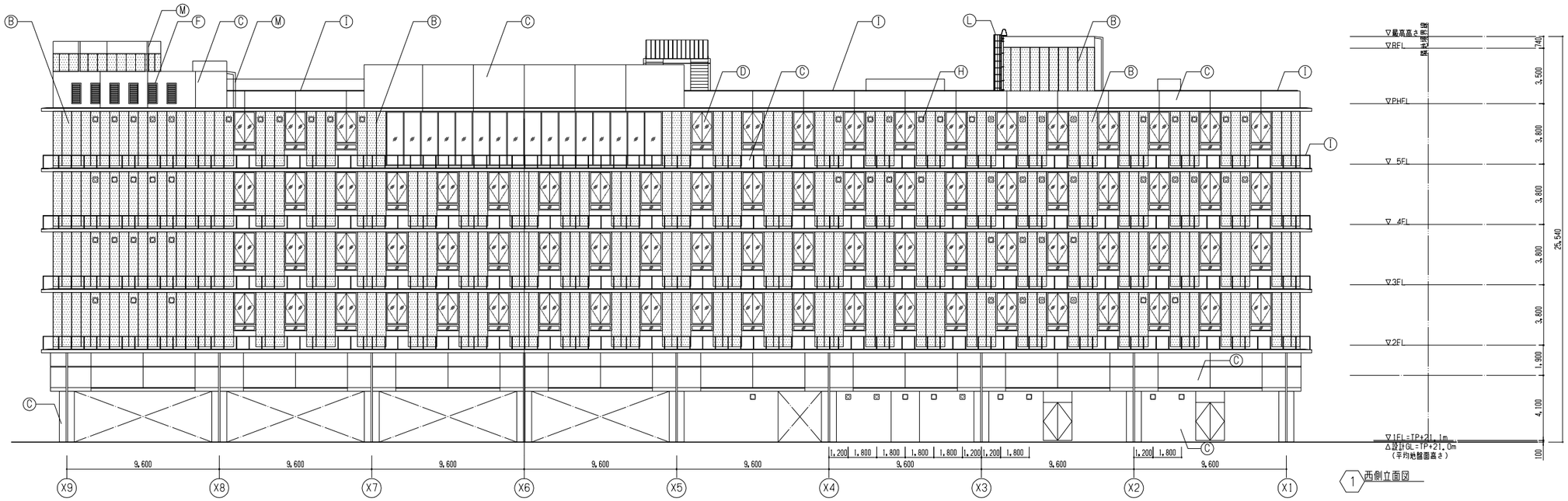
日本設計	竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正
	検図	/16.02.12 確認 / . .	特記
	製図	/16.02.05 作成（消去者） / . .	

設計	1級建築士登録第206250号	大坪 泰 印
設計	1級建築士登録第286712号	篠崎康志 印
設計	1級建築士登録第354901号	長友直子 印

桶川市新庁舎建設工事

図面名称	東・南立面図
尺度	A1: 1/150 A3: 1/300

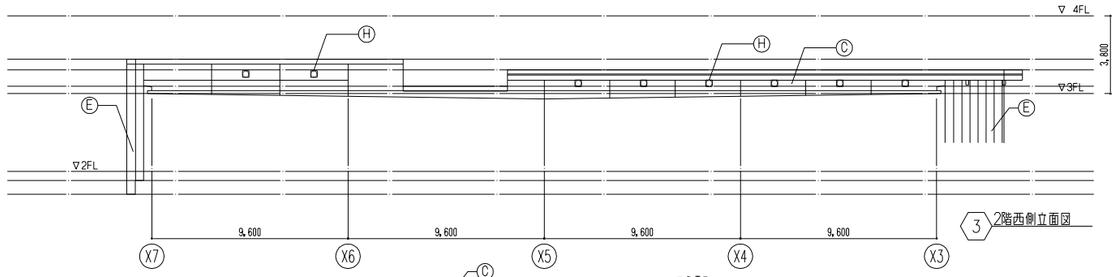
ELE.DWG	
枚ノ内	図面番号 1111
区分	建築(総合)



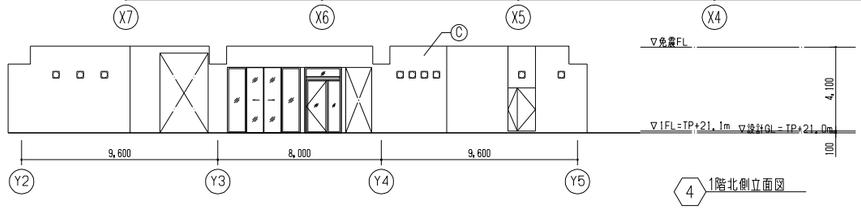
1 西側立面図

【凡例】

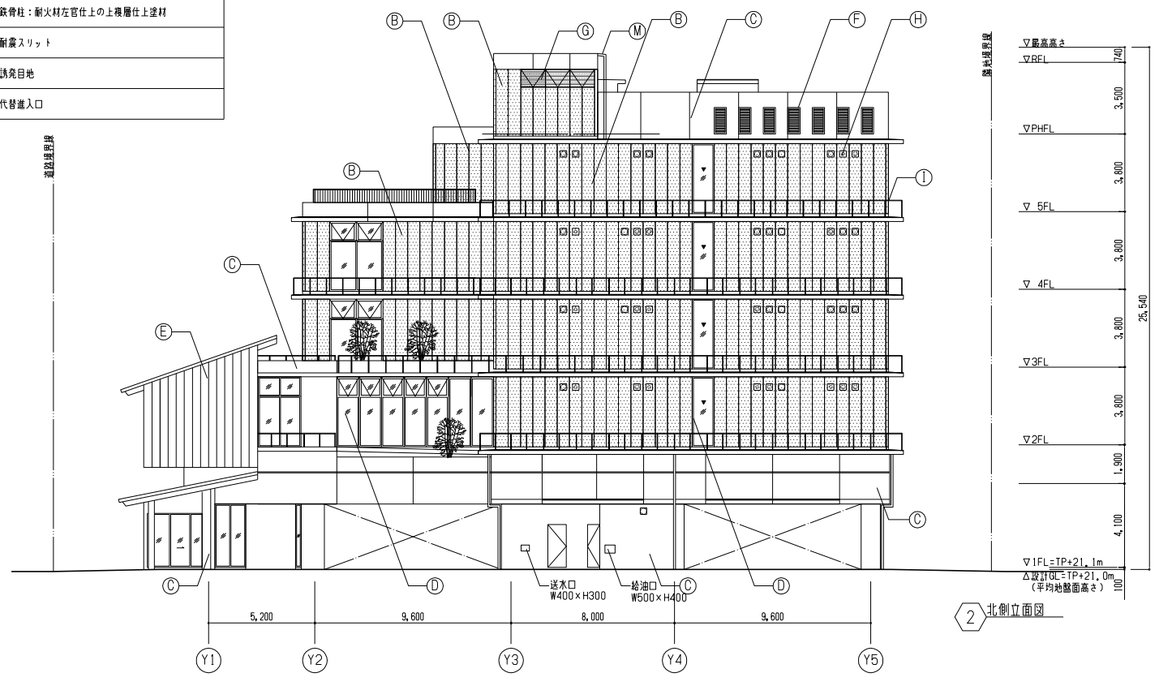
Ⓐ	フッ素ガルバリウム鋼板(特殊かん合式平滑葺き)
Ⓑ	ALC 複層仕上塗材
Ⓒ	コンクリート化粧打放し仕上げ フッ素樹脂塗装(カラークリア)
Ⓓ	アルミサッシュ B-1
Ⓔ	金属サイディング フッ素樹脂塗装
Ⓕ	アルミガラリ B-2
Ⓖ	アルミパネル B-FU
Ⓗ	ベントキャップ(設備工事)(ALC開口300φは建築工事)
Ⓘ	外部手すり:ST 溶融亜鉛メッキ
Ⓚ	鉄骨柱:二重鋼管 溶融亜鉛メッキ リン酸処理
Ⓛ	タラップ スチール溶融亜鉛めっき
Ⓜ	雨樋 配管用鋼管 溶融亜鉛めっき
Ⓝ	鉄骨柱:耐火材左官仕上の上複層仕上塗材
—·—	耐震スリット
——	誘発目地
▼	代替進入口



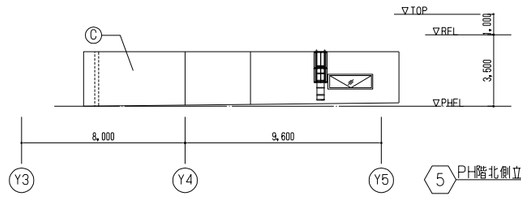
3 2階西側立面図



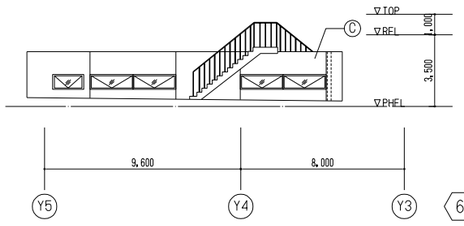
4 1階北側立面図



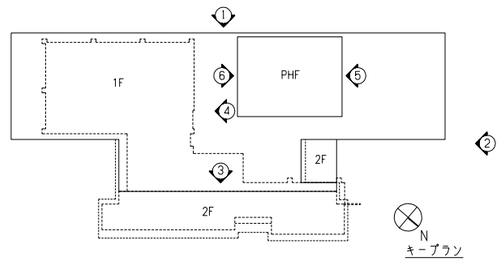
2 北側立面図



5 PH階北側立面図



6 PH階南側立面図



キープラン

*送水口及び給油口の周囲にダブルシール(20×15)を設置。

16.02.25

日本設計	竣工図 保管 / . . 承認 / . . 確認 / . . 作成(請負者)	訂正	特記
	検図 /16.02.12		
	製図 /16.02.05		
	/16.02.16		

設計	1級建築士登録第206250号	大坪 泰 印
設計	1級建築士登録第286712号	篠崎康志 印
設計	1級建築士登録第354901号	長友直子 印

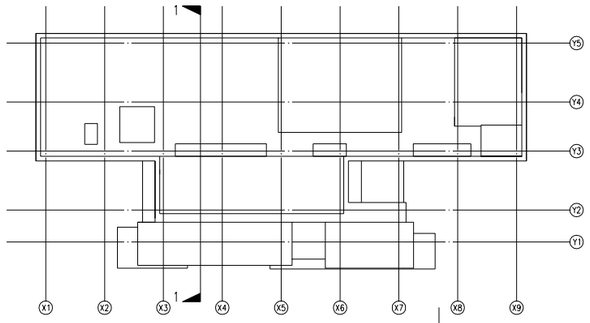
桶川市新庁舎建設工事

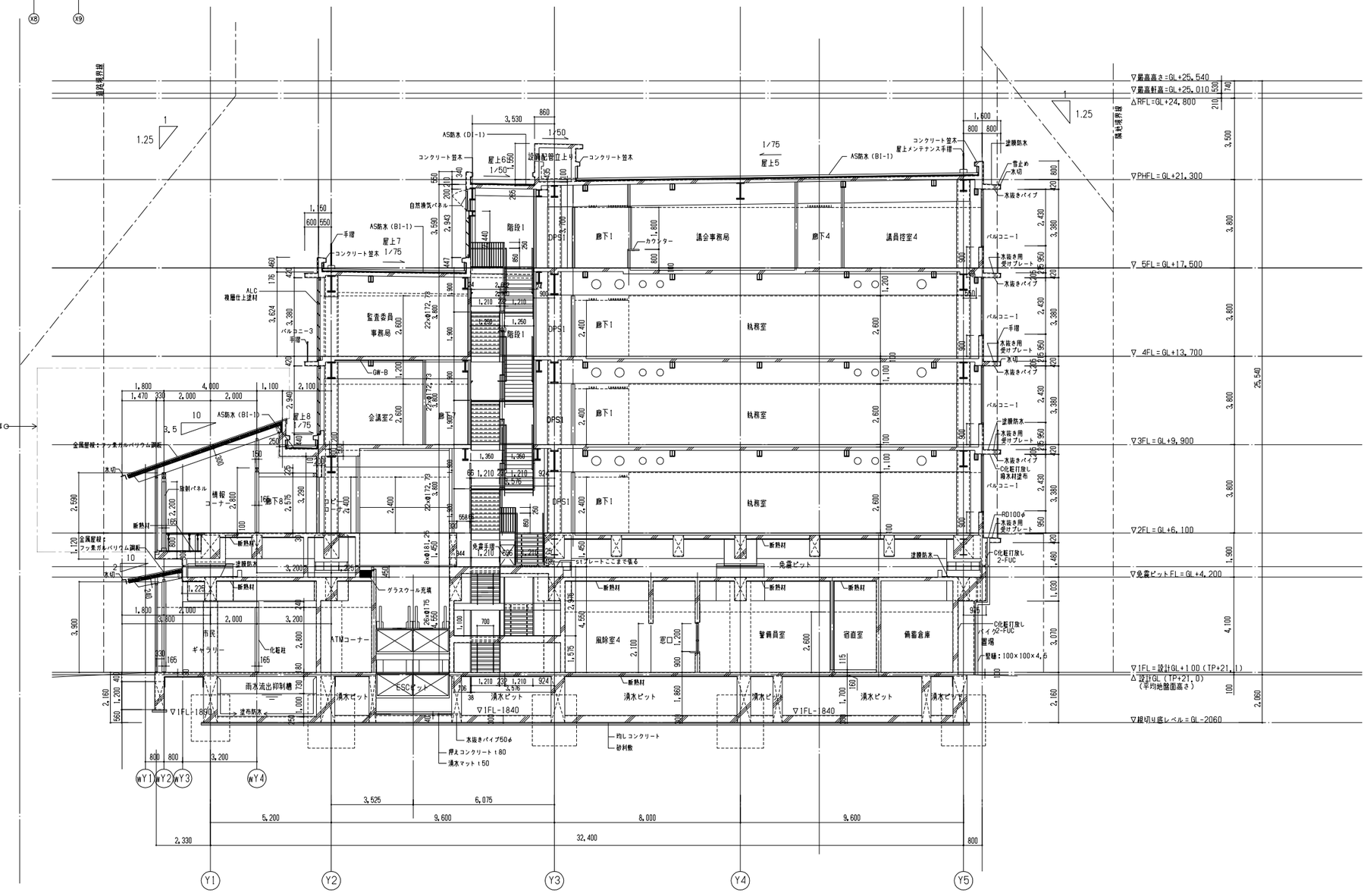
図面名称	西・北立面図
尺度	A1: 1/150 A3: 1/300

ELE.DWG

枚ノ内 図面番号 1112

区分 建築(総合)





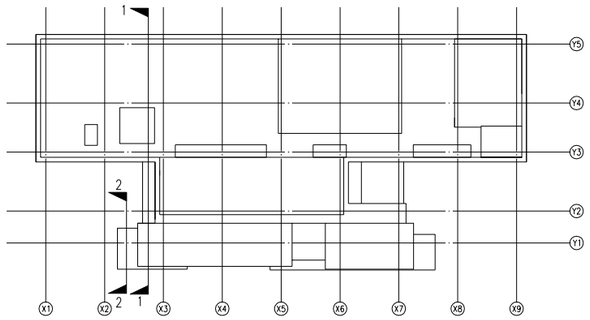
2 断面図
S=1/100

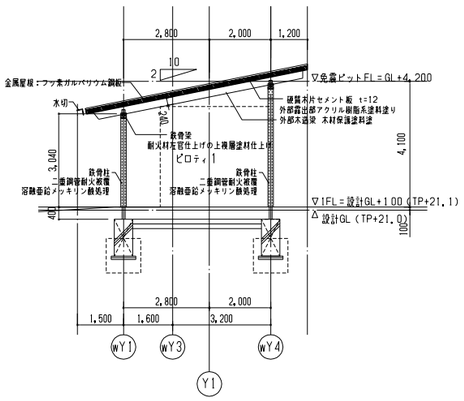
日本設計	/16.02.16	竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	設計	1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 断面図1
	検図 /16.02.12		確認 / . .			設計	1級建築士登録第286712号 鐘崎康志 印		縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200
	製図 /16.02.05		作成（消去者） / . .			設計	1級建築士登録第354901号 長友直子 印		区分 建築（総合）

16.02.25

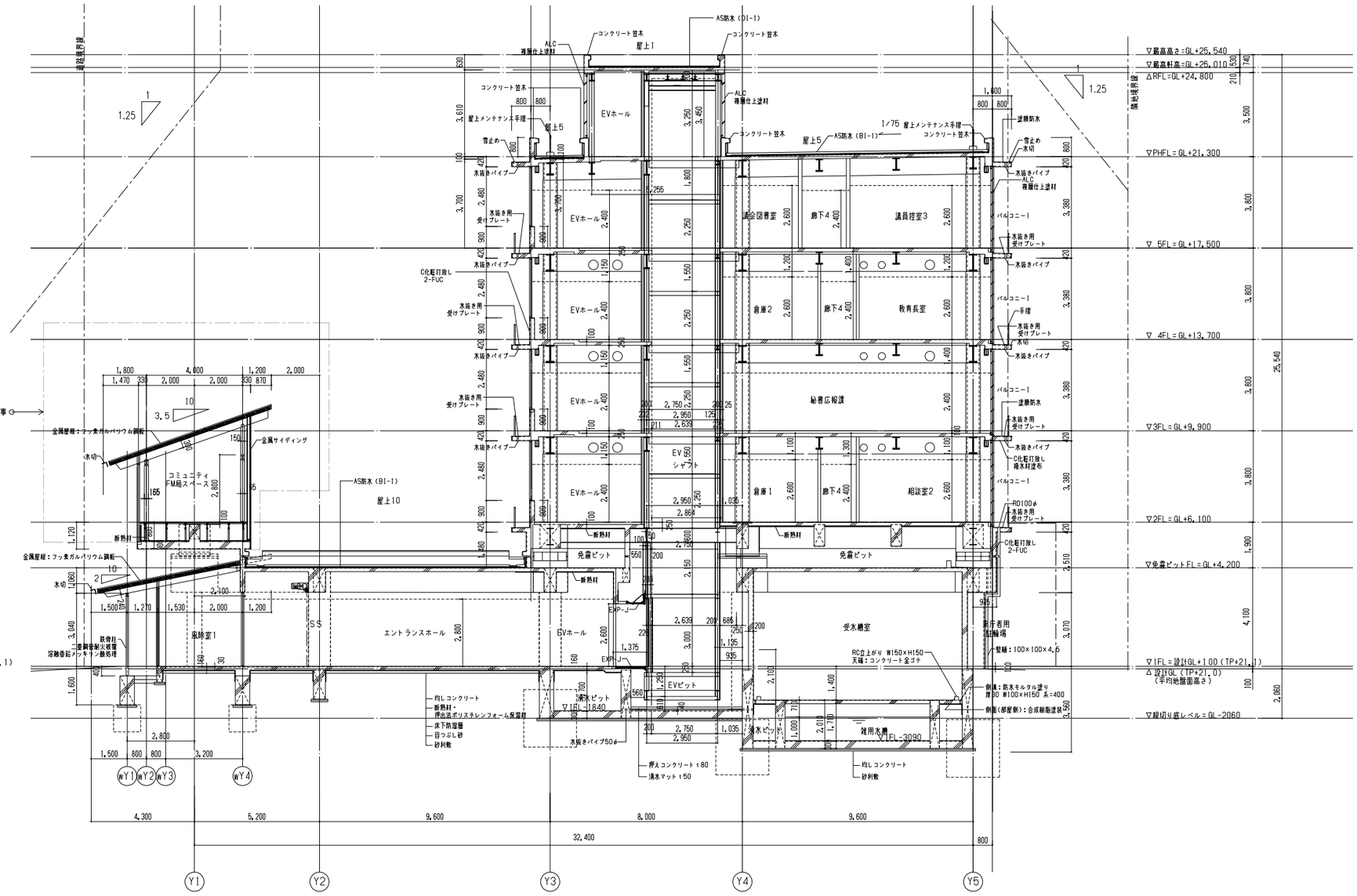
SECTION3.DWG

／ 枚ノ内 図面番号 1121





2 断面図 S=1/100



1 断面図 S=1/100

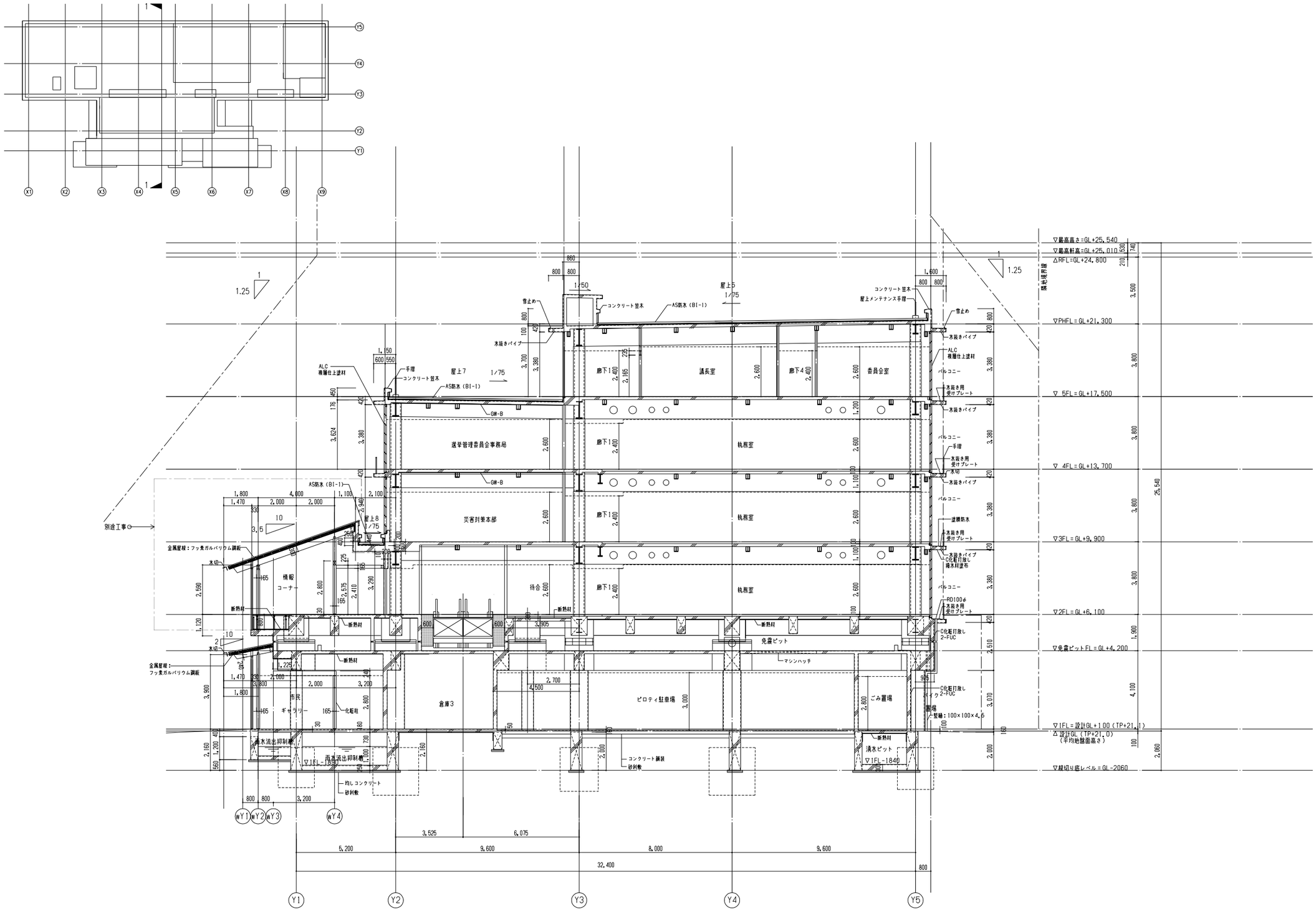
16.02.25

日本設計	/16.02.16	竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	設計	1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 断面図2
	検図 /16.02.12		確認 / . .			設計	1級建築士登録第286712号 篠崎康志 印		
	製図 /16.02.05		作成(設計者) / . .			設計	1級建築士登録第354901号 長友直子 印		縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200

SECTION3.DWG

/ 枚ノ内 図面番号 1122

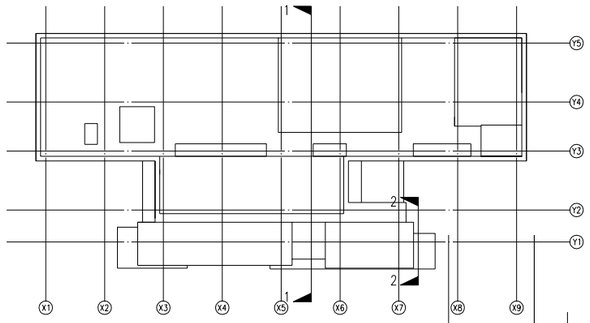
区分 建築(総合)

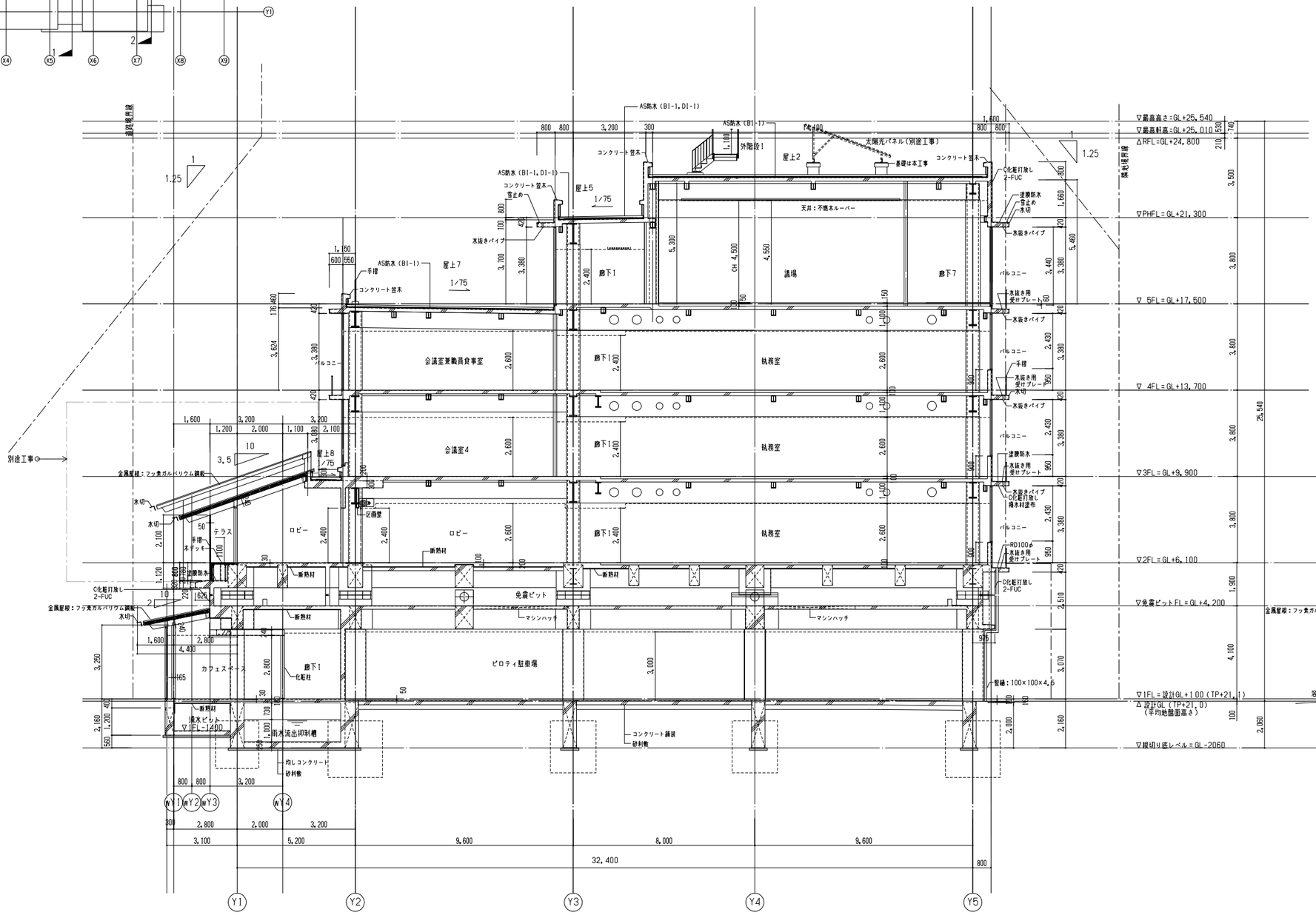


1 断面図
S=1/100

16.02.25

日本設計	竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	設計 1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 断面図3
	検図	/16.02.12 確認 / . .			設計 1級建築士登録第286712号 篠崎康志 印		縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200
	製図	/16.02.05 作成(原図者) / . .			設計 1級建築士登録第354901号 長友直子 印		図面番号 SECTION3.DWG 枚ノ内 1123
							区分 建築(総合)





1 断面図 S=1/100

2 断面図 S=1/100

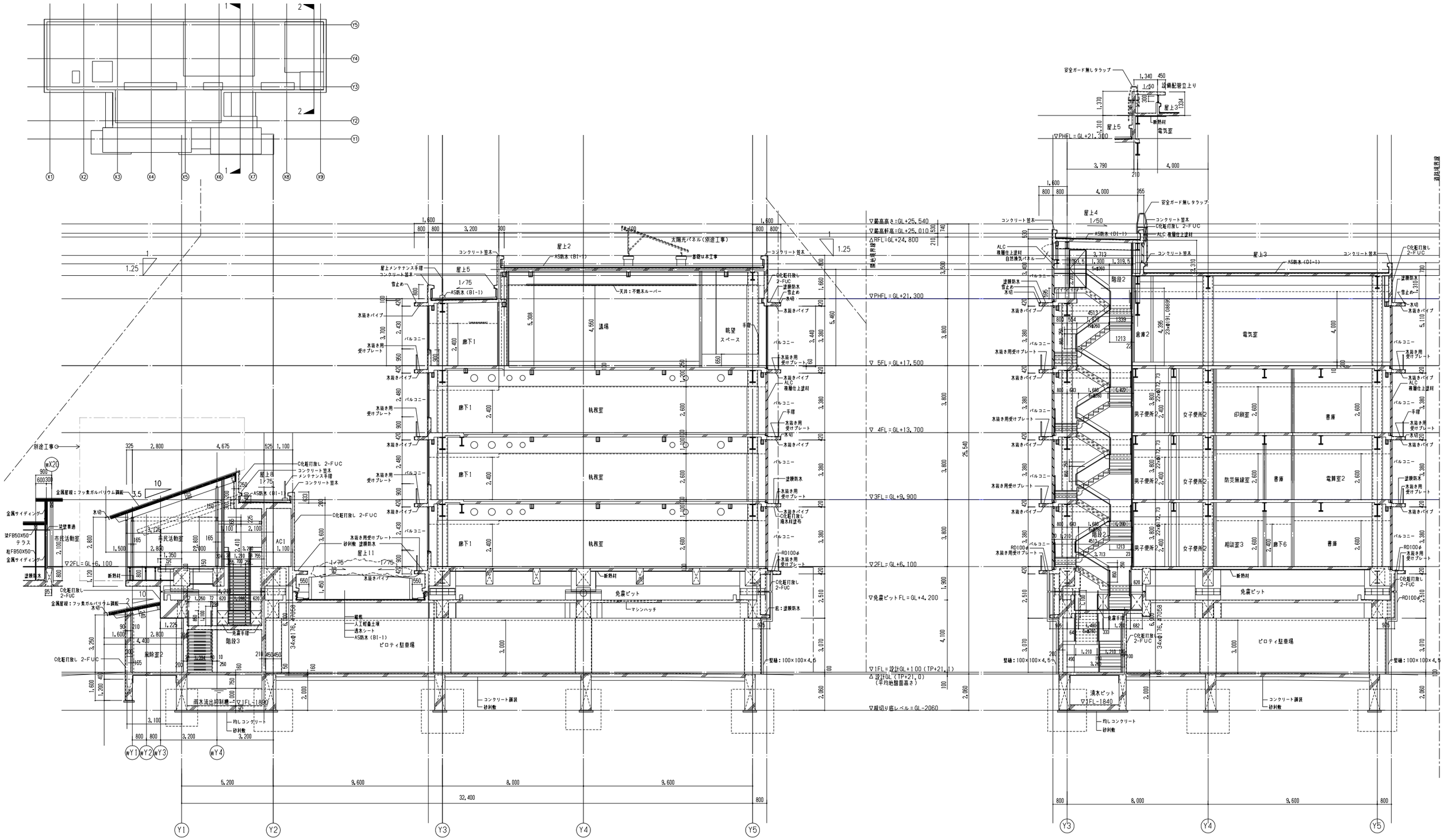
日本設計	/16.02.16	竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	設計	1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	断面図4
	検図 /16.02.12		確認 / . .			設計	1級建築士登録第286712号 篠崎康志 印		A1: 1/100 A3: 1/200
	製図 /16.02.05		作成 / . .			設計	1級建築士登録第354901号 長友直子 印		

16.02.25

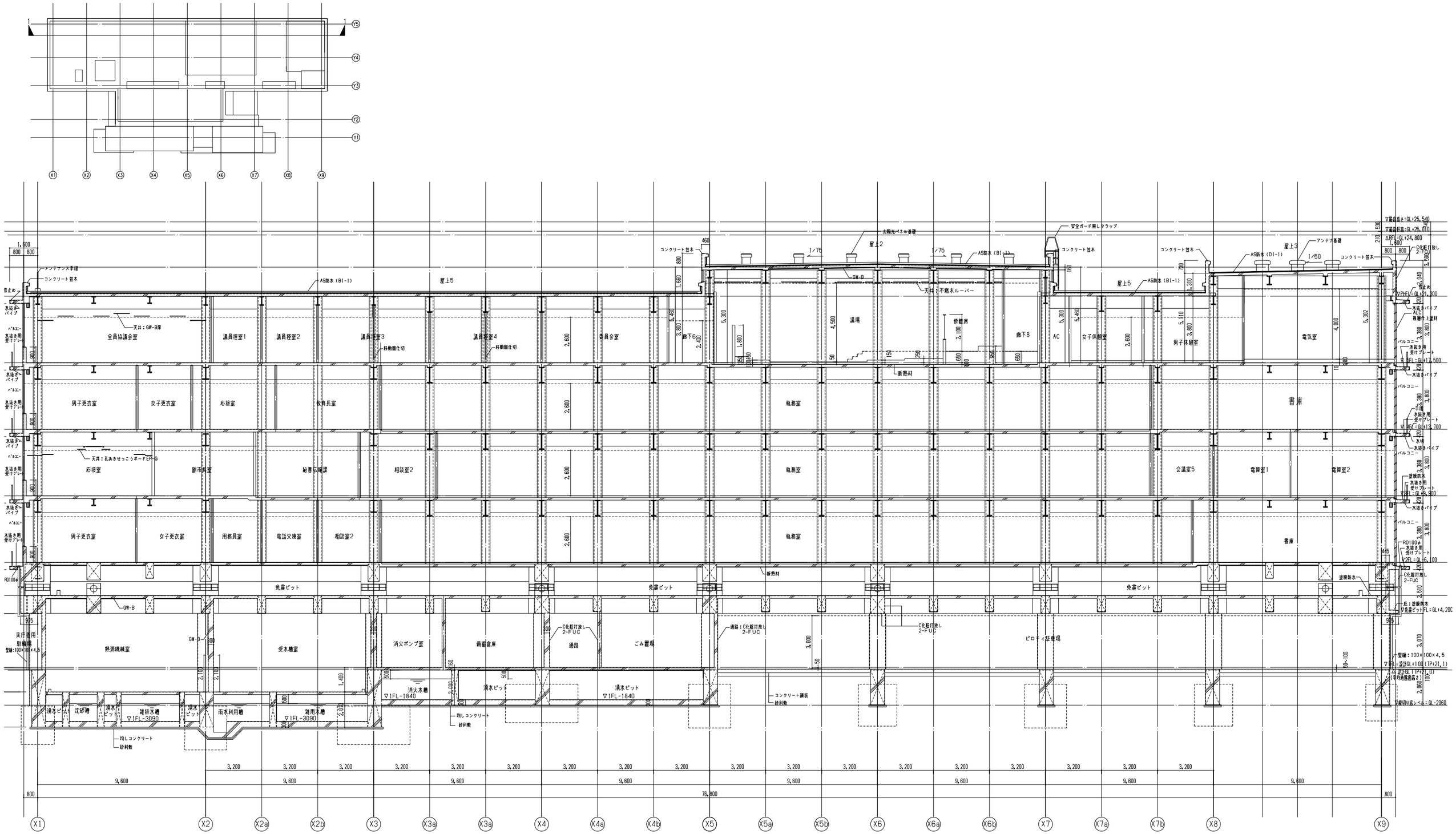
SECTION3.DWG

図面番号 1124 (枚ノ内)

区分 建築(総合)



日本設計	16.02.16	竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	設計 1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	断面図5	16.02.25 SECTION3.DWG
	16.02.12	検図	確認 / . .			設計 1級建築士登録第286712号 篠崎康志 印			枚ノ内 図面番号 1125
	16.02.05	製図	作成（原図者） / . .			設計 1級建築士登録第354901号 長友直子 印		A1: 1/100 A3: 1/200	区分 建築（総合）



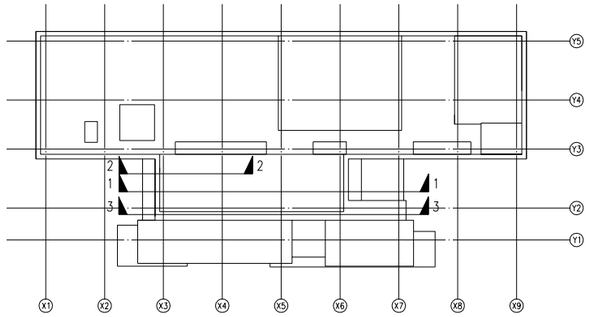
1 断面図
S=1/100

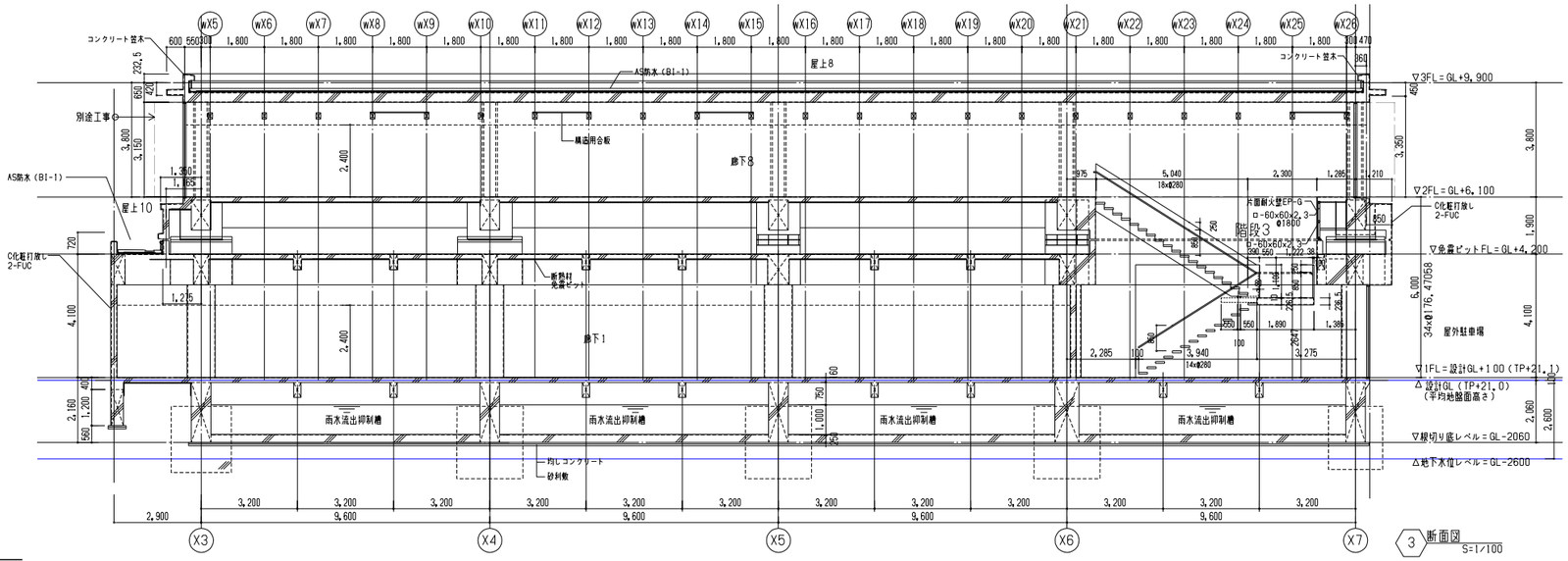
16.02.25

日本設計	/16.02.16	竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	設計	1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称 断面図6
	検図 /16.02.12		確認 / . .			設計	1級建築士登録第286712号 篠崎康志 印		縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200
	製図 /16.02.05		作成(設計者) / . .			設計	1級建築士登録第354901号 長友直子 印		区分 建築(総合)

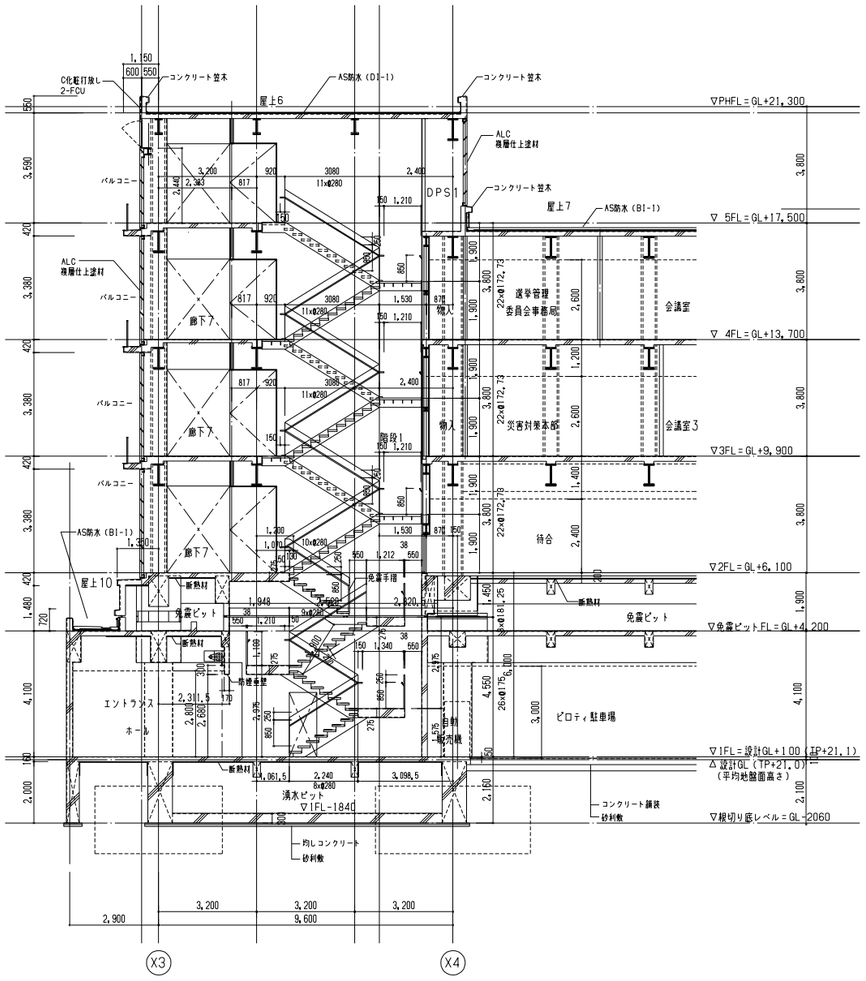
SECTION3.DWG

/ 枚ノ内 図面番号 1126

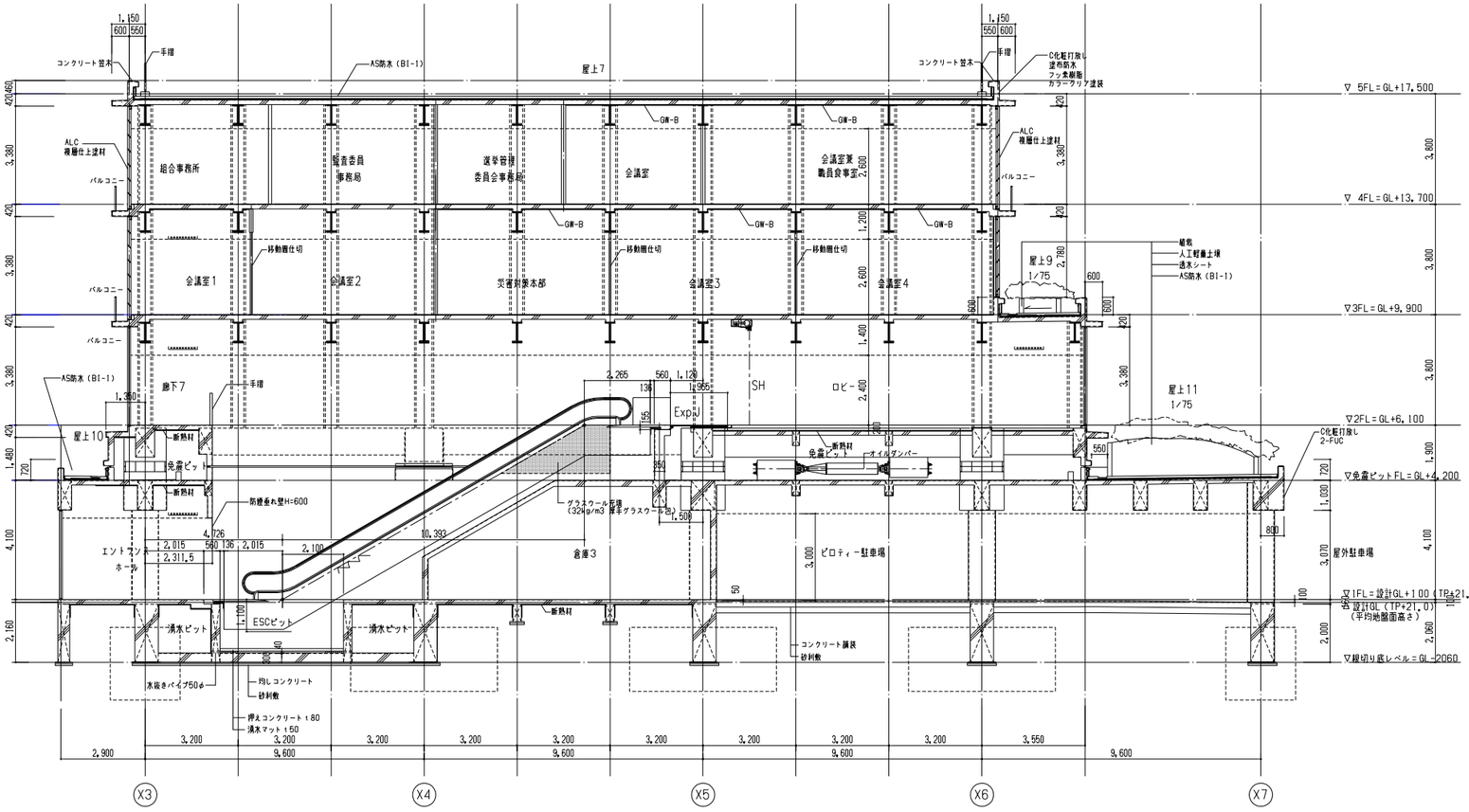




3 断面図 S=1/100



2 断面図 S=1/100



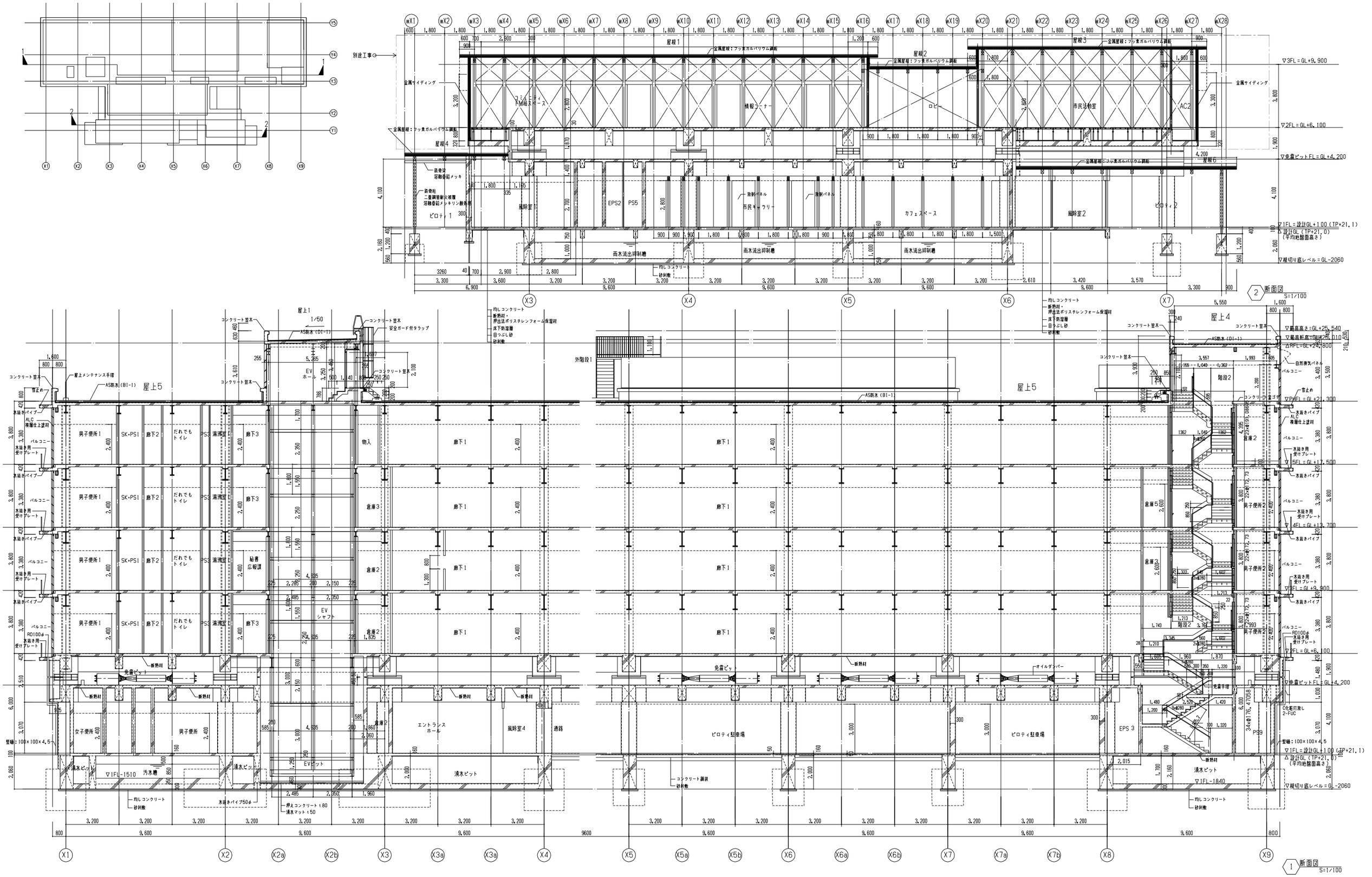
1 断面図 S=1/100

16.02.25

日本設計	/16.02.16	竣工図 保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	設計 1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印
	検図 /16.02.12	確認 / . .			設計 1級建築士登録第286712号 篠崎康志 印
	製図 /16.02.05	作成(設計者) / . .			設計 1級建築士登録第354901号 長友直子 印

桶川市新庁舎建設工事

表示内容	断面図7	SECTION3.DWG	
尺度	A1: 1/100 A3: 1/200	枚ノ内 / 図面番号	1127
		区分	建築(総合)



日本設計	検図	/16.02.12	竣工図 保管 / . . 承認 / . .
	製図	/16.02.05	確認 / . . 作成（原図者） / . .

訂正 / 特記

設計	1級建築士登録第206250号	大坪 泰 印
設計	1級建築士登録第286712号	篠崎康志 印
設計	1級建築士登録第354901号	長友直子 印

桶川市新庁舎建設工事

図面名称：断面図8

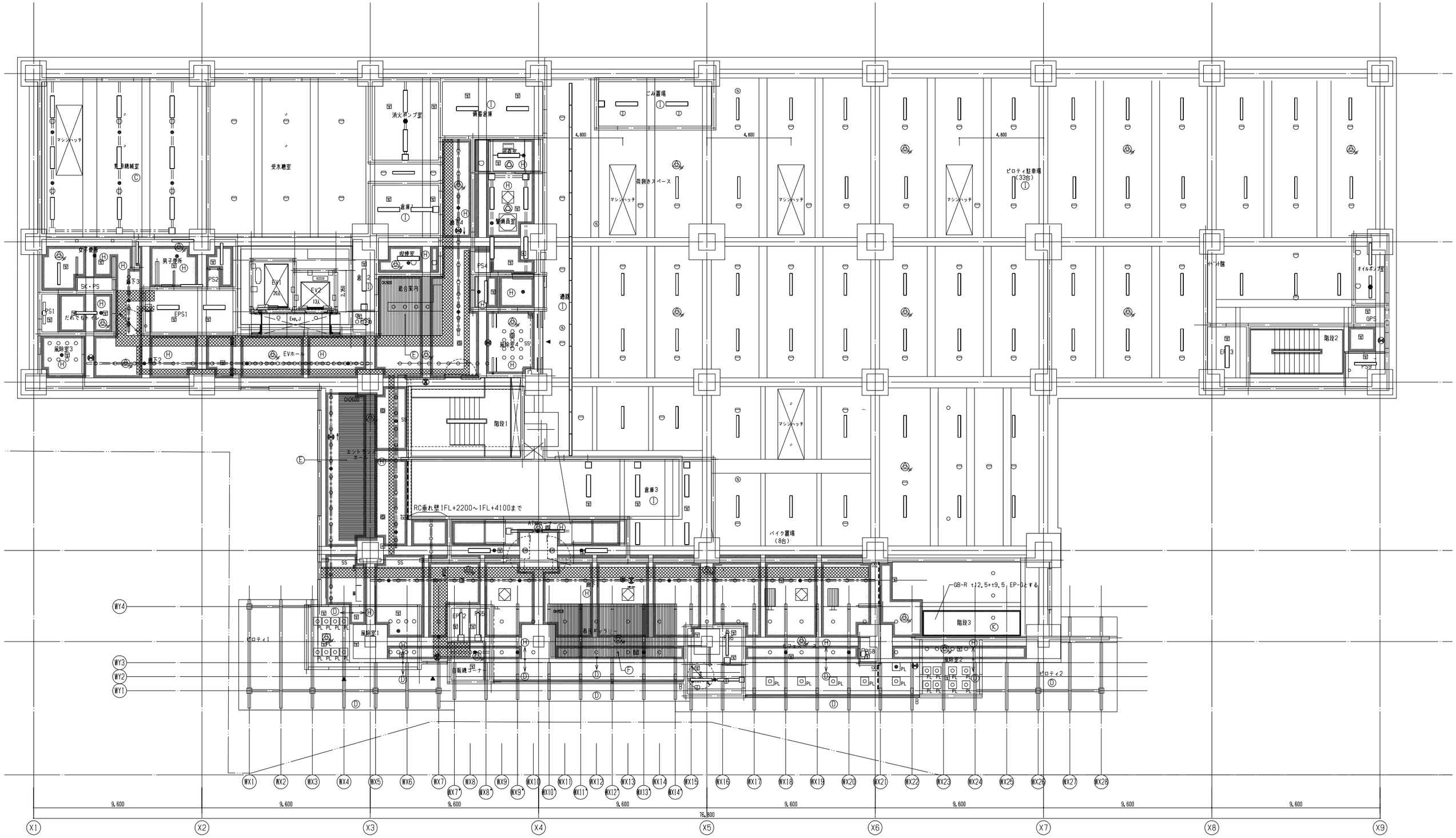
尺度：A1: 1/100 A3: 1/200

SECTION3.DWG

図面番号：1128

枚ノ内

区分：建築（総合）



仕上げ符号

Ⓐ	クロス張り	Ⓑ	孔あきせっこうボード EP-G	Ⓒ	GW-B	Ⓓ	硬質木片セメント板	Ⓔ	不燃木ルーバー	Ⓕ	木ルーバー	Ⓖ	構造用合板	Ⓗ	断熱材	Ⓘ	CH打放し（C）	Ⓙ	C化粧打放し	Ⓚ	EP-G	Ⓛ	GW-B厚

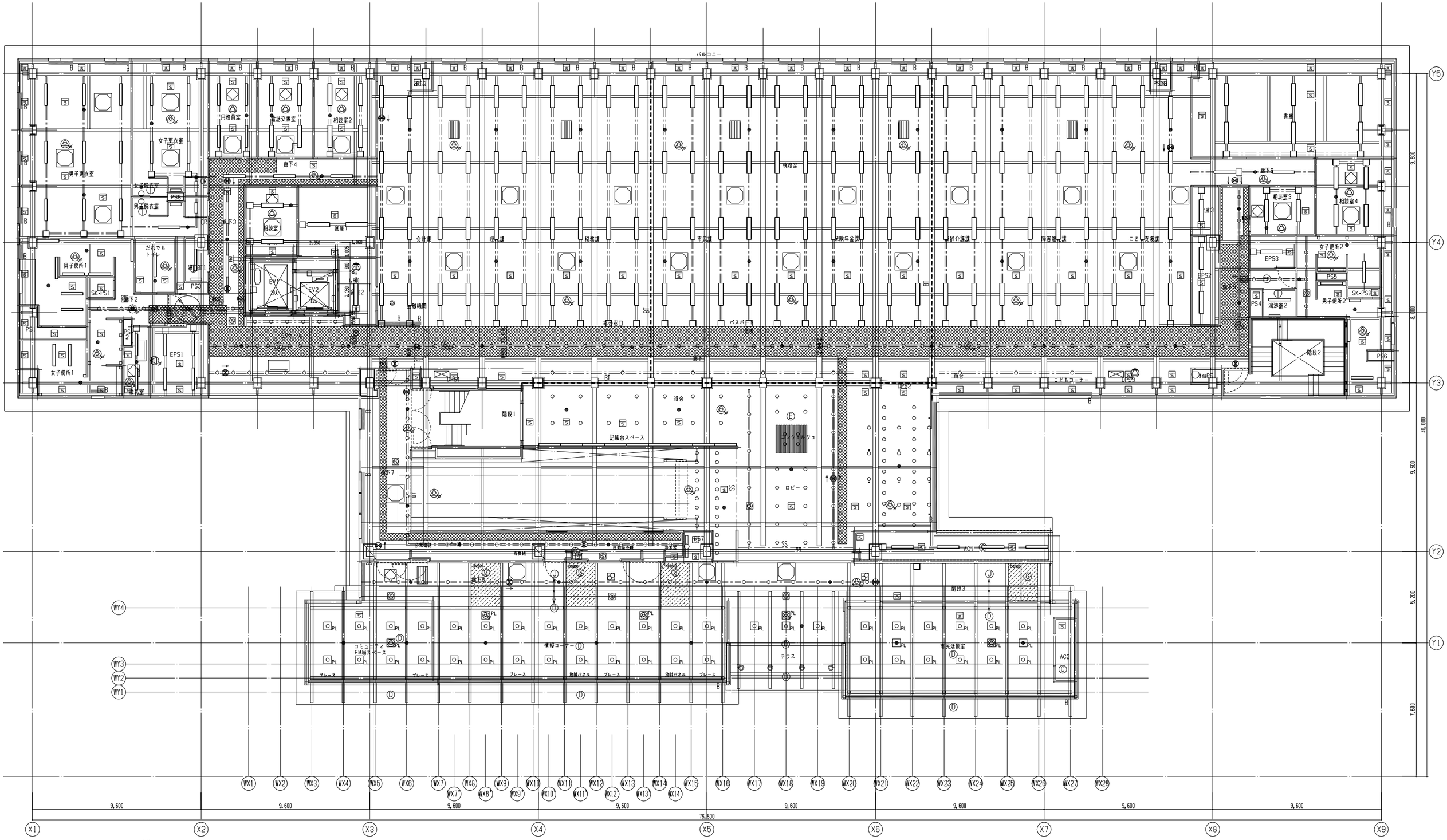
※スラブ面は特記なき限り、1階はコンクリート打放し、その他はデッキスラブ素地とする。
※梁型は特記なき限り、RC梁はコンクリート打放し、S梁は耐火被覆材とする。

【凡例】

○P	ペンダント照明（設備工事）	●	非常用照明φ60（設備工事）	○	照明器具（設備工事）		照明器具（設備工事）	BT	防煙垂壁（ガラス）		レースウェイ（設備工事）	CR	カーテンレール	S S S	煙感知器（設備工事）
	スピーカー（設備工事）		天井カセット型エアコン（設備工事）	PL	照明取付用プレート		室内機（設備工事）	SH・SS	シャッター		移動間仕切		ケーブルラック（設備工事）		
	点検口		排気ファン（設備工事）		全熱交換器（設備工事）		不燃木ルーバー	P	ピクチャーレール	B	ブラインド受け				

16.02.25

日本設計	竣工図	保管 / . .	承認 / . .	訂正	特記	設計	1級建築士登録第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称	1階天井伏図	FUS.DWG
		確認 / . .				設計	1級建築士登録第286712号 鐘崎康志 印				枚ノ内 図面番号 1141
	検図	/16.02.12				設計	1級建築士登録第354901号 長友直子 印		縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200	区分 建築（総合）
	製図	/16.02.05	作成（決裁者） / . .								



仕上げ符号

Ⓐ	クロス張り	Ⓑ	孔あきせっこうボード EP-G	Ⓒ	GW-B	Ⓓ	硬質木片セメント板	Ⓔ	不燃木ルーバー	Ⓕ	木ルーバー	Ⓖ	構造用合板	Ⓗ	断熱材	Ⓘ	CIT放し（C）	Ⓙ	C化粧打放し	Ⓚ	EP-G	Ⓛ	GW-B厚

※スラブ面は特記なき限り、1階はコンクリート打放し、その他はデッキスラブ素地とする。
※梁型は特記なき限り、RC梁はコンクリート打放し、S梁は耐火被覆材とする。

【凡例】

○P	ペンダント照明（設備工事）	●	非常用照明φ60（設備工事）	○	照明器具（設備工事）	▭	照明器具（設備工事）	RT	防煙垂壁(ガラス)	═	レースウェイ（設備工事）	CR	カーテンレール
◎ ◎L ◎R	スピーカー（設備工事）	▭ ◯	天井カセット型エアコン（設備工事）	PL	照明取付用プレート	▥	室内機（設備工事）	SH・SS	シャッター	SLW	移動間仕切	▨	ケーブルラック（設備工事）
▽	点検口	⊗	排気ファン（設備工事）	▨ ◇	全熱交換器（設備工事）	▥	不燃木ルーバー	P	ピクチャーレール	B	ブラインド受け		

S	S	S	⊖	煙感知器（設備工事）									

16.02.25

NIHON SEKKEI 日本設計

竣工図	保管 / . .	承認 / . .	
	確認	/ . .	
	作成（担当者）	/ . .	
検図	/16.02.12		
製図	/16.02.05		

訂正 . . . . . .

特記

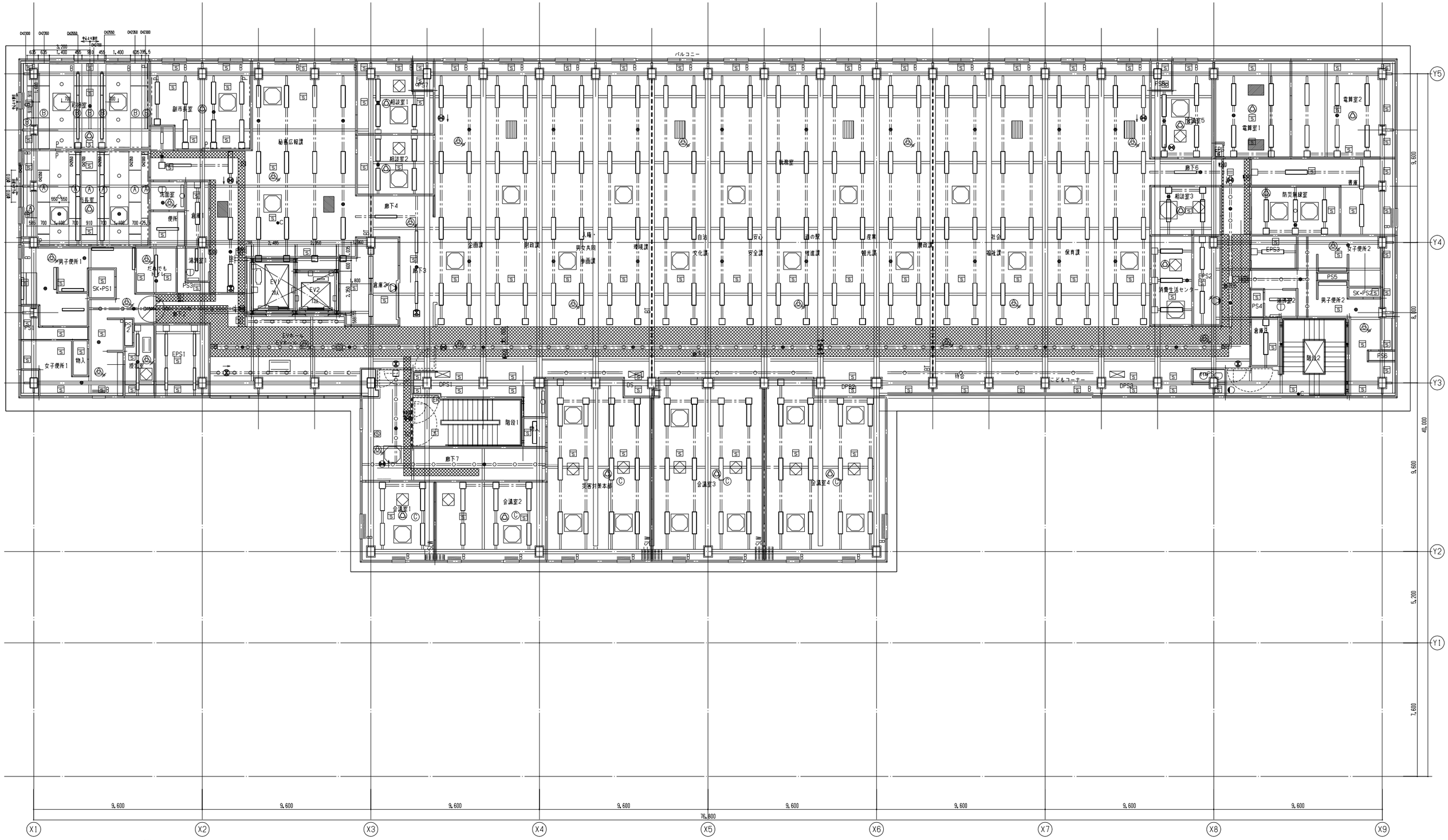
設計	1級建築士登録 第206250号	大坪 泰 印
設計	1級建築士登録 第286712号	篠崎康志 印
設計	1級建築士登録 第354901号	長友直子 印

桶川市新庁舎建設工事

図名	2階天井伏図
縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200

FUS.DWG

枚ノ内	図面番号 1142
区分	建築（総合）



仕上げ符号

Ⓐ	クロス張り	Ⓑ	孔あきせっこうボード EP-G	Ⓒ	GW-B	Ⓓ	硬質木片セメント板	Ⓔ	不燃木ルーバー	Ⓕ	木ルーバー	Ⓖ	構造用合板	Ⓗ	断熱材	Ⓘ	C打放し（C）	Ⓙ	C化粧打放し	Ⓚ	EP-G	Ⓛ	GW-B厚

※スラブ面は特記なき限り、1階はコンクリート打放し、その他はデッキスラブ素地とする。
※梁型は特記なき限り、RC梁はコンクリート打放し、S梁は耐火板覆材とする。

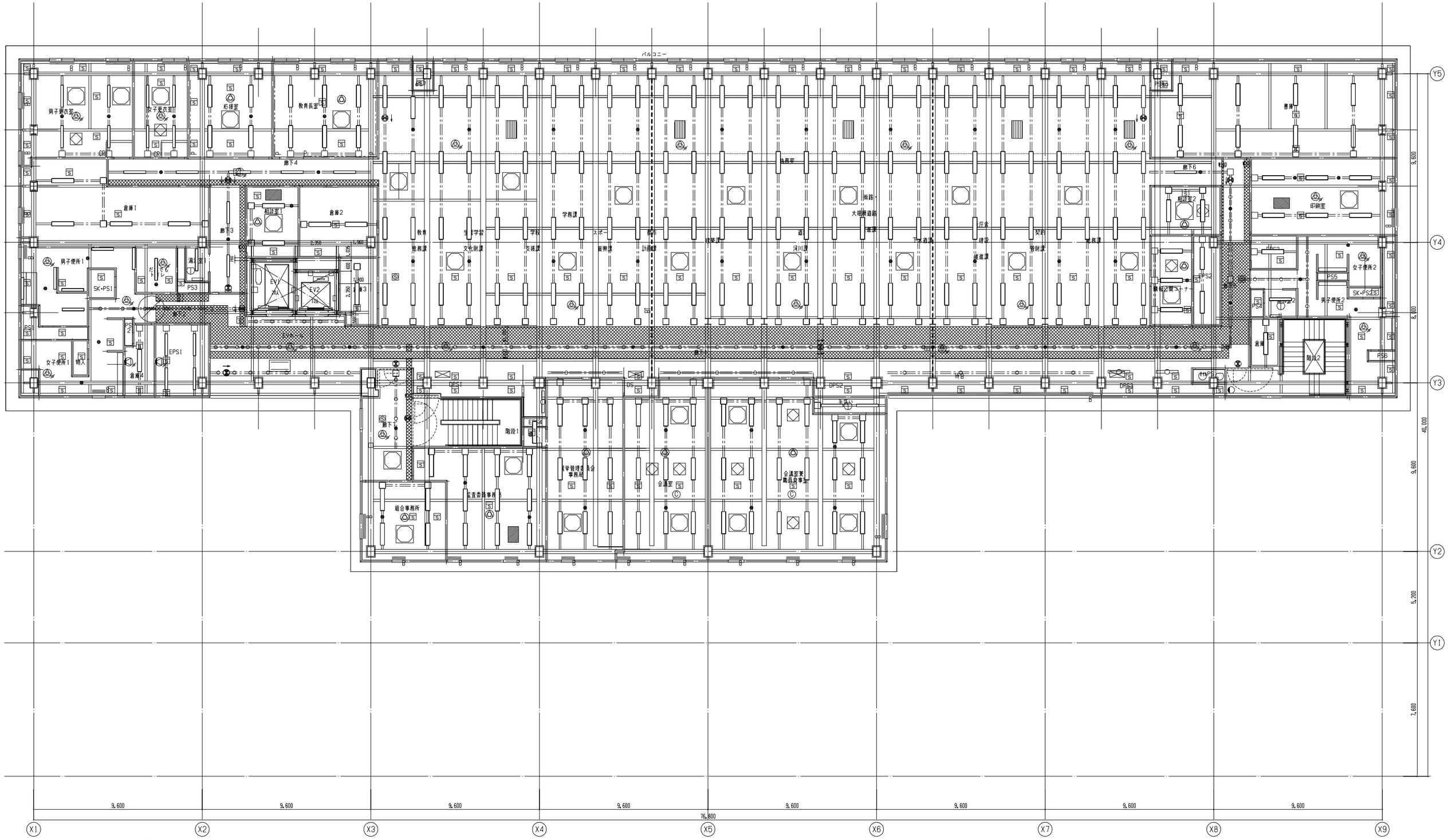
【凡例】

○P	ペンダント照明（設備工事）	●	非常用照明φ60（設備工事）	○	照明器具（設備工事）		照明器具（設備工事）	BT	防煙垂壁（ガラス）		レースウェイ（設備工事）	CR	カーテンレール	S S S	煙感知器（設備工事）
	スピーカー（設備工事）		天井カセット型エアコン（設備工事）	PL	照明取付用プレート		室内機（設備工事）	SH・SS	シャッター	SLW	移動間仕切		ケーブルラック（設備工事）		
	点検口		排気ファン（設備工事）		全熱交換器（設備工事）		不燃木ルーバー	P	ピクチャーレール	B	ブラインド受け				

16.02.25

NIHON SEKKEI 日本設計	竣工図	/16.02.16	保管 / . .	承認 / . .	訂正	.	特記	設計	1級建築士登録 第206250号	大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称	3階天井伏図
	検図	/16.02.12	確認 / . .			.		設計	1級建築士登録 第286712号	篠崎康志 印			
	製図	/16.02.05	作成（消費者） / . .			.		設計	1級建築士登録 第354901号	長友直子 印		縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200

FUS.DWG
／ 枚ノ内 図面番号 1143
区分 建築（総合）



仕上げ符号

Ⓐ	クロス張り	Ⓑ	孔あきせっこうボード EP-G	Ⓒ	GW-B	Ⓓ	硬質木片セメント板	Ⓔ	不燃木ルーバー	Ⓕ	木ルーバー	Ⓖ	構造用合板	Ⓗ	断熱材	Ⓘ	CIT放し（C）	Ⓙ	C化粧打放し	Ⓚ	EP-G	Ⓛ	GW-B厚

※スラブ面は特記なき限り、1階はコンクリート打放し、その他はデッキスラブ素地とする。
※梁型は特記なき限り、RC梁はコンクリート打放し、S梁は耐火被覆材とする。

【凡例】

	ペンダント照明（設備工事）		非常用照明φ60（設備工事）		照明器具（設備工事）		照明器具（設備工事）	BT	防煙垂壁（ガラス）		レースウェイ（設備工事）	CR	カーテンレール	S S S	煙感知器（設備工事）
	スピーカー（設備工事）		天井カセット型エアコン（設備工事）	PL	照明取付用プレート		室内機（設備工事）	SH・SS	シャッター	SLW	移動間仕切		ケーブルラック（設備工事）		
	点検口		排気ファン（設備工事）		全熱交換器（設備工事）		不燃木ルーバー	P	ピクチャーレール	B	ブラインド受け				

16.02.25

NIHON SEKKEI 日本設計

検図	/16.02.12	竣工図	保管 / . . 承認 / . .
製図	/16.02.05		確認 / . .
			作成（原図者） / . .

訂正

特記

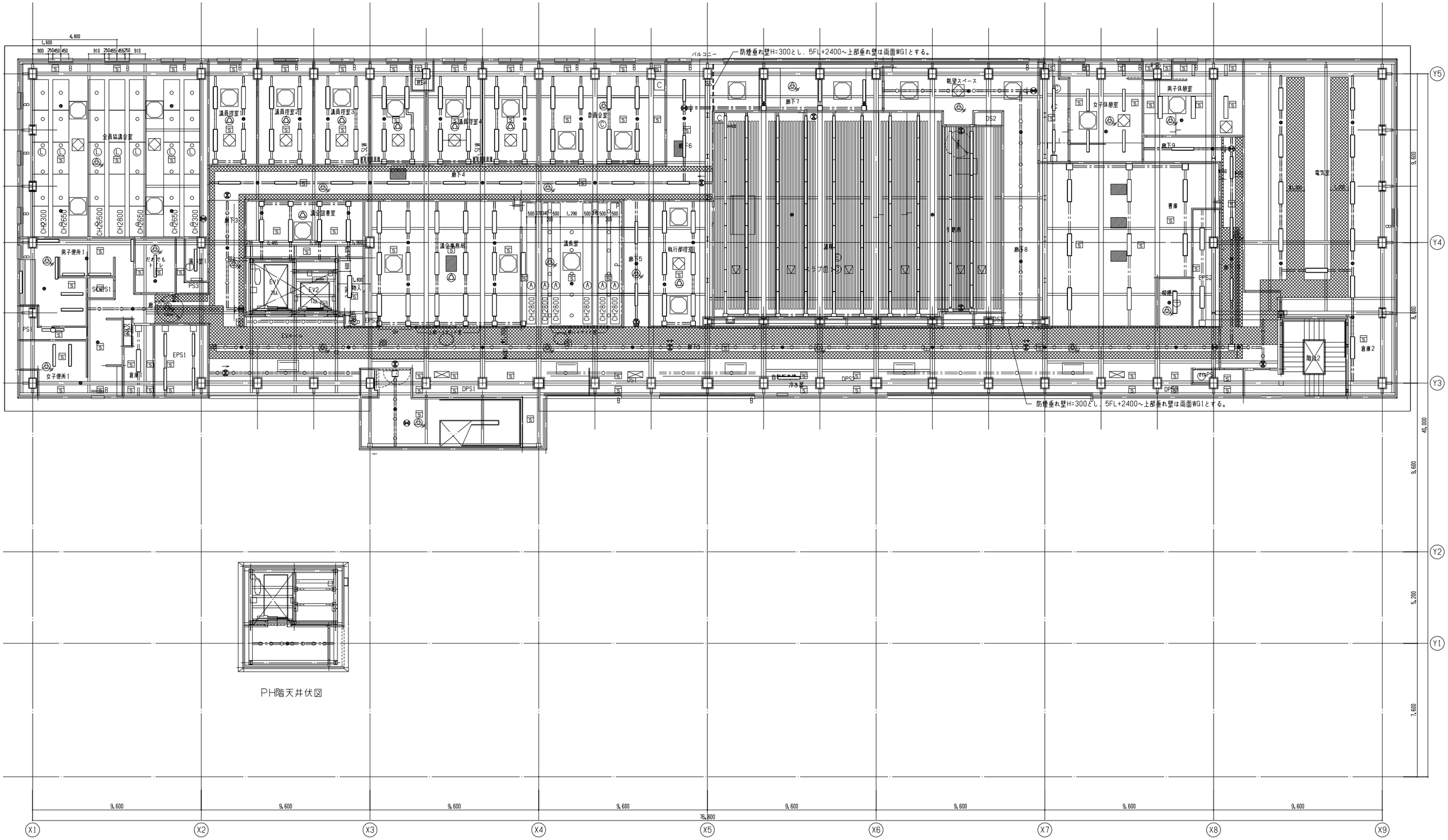
設計	1級建築士登録第206250号	大坪 泰 印
設計	1級建築士登録第286712号	鐘崎康志 印
設計	1級建築士登録第354901号	長友直子 印

桶川市新庁舎建設工事

表示図面	4階天井伏図
尺度	A1: 1/100 A3: 1/200

FUS.DWG

枚ノ内	図面番号 1144
区分	建築（総合）



PH階天井伏図

仕上げ符号

Ⓐ	クロス張り	Ⓑ	孔あきせっこうボード EP-G	Ⓒ	GW-B	Ⓓ	硬質木片セメント板	Ⓔ	不燃木ルーバー	Ⓕ	木ルーバー	Ⓖ	構造用合板	Ⓗ	断熱材	Ⓘ	C打放し（C）	Ⓙ	C化粧打放し	Ⓚ	EP-G	Ⓛ	GW-B厚

※スラブ面は特記なき限り、1階はコンクリート打放し、その他はデッキスラブ素地とする。
※梁型は特記なき限り、RC梁はコンクリート打放し、S梁は耐火板覆材とする。

【凡例】

○P	ペンダント照明（設備工事）	●	非常用照明φ60（設備工事）	○	照明器具（設備工事）		照明器具（設備工事）	BT	防煙垂壁（ガラス）		レースウェイ（設備工事）	CR	カーテンレール	S S S	煙感知器（設備工事）
	スピーカー（設備工事）		天井カセット型エアコン（設備工事）	PL	照明取付用プレート		室内機（設備工事）	SH・SS	シャッター	SLW	移動間仕切		ケーブルラック（設備工事）		
	点検口		排気ファン（設備工事）		全熱交換器（設備工事）		不燃木ルーバー	P	ピクチャーレール	B	ブラインド受け				

16.02.25

NIHON SEKKEI 日本設計	/16.02.16	竣工図	保管 / . . 承認 / . .	訂正	特記	設計	1級建築士登録 第206250号 大坪 泰 印	桶川市新庁舎建設工事	図面名称	5階天井伏図	FUS.DWG
	検図 /16.02.12		確認 / . .			設計	1級建築士登録 第286712号 篠崎康志 印				枚ノ内 図面番号 1145
	製図 /16.02.05		作成（消防等） / . .			設計	1級建築士登録 第354901号 長友直子 印		縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200	区分 建築（総合）